

令和5年5月2日
地域研→宮崎市に提出

令和5年度 宮崎市地域まちづくりに関する市民意識調査
＜結果報告書案＞（第1稿）

令和5年5月
宮崎市 地域コミュニティ課

目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の方法	1
3. 調査の時期	1
4. 調査票の回収率、回収数	1
5. 留意事項.....	2
II 市民意識調査の結果.....	3
<回答者の属性>	3
1 地域のまちづくりの仕組み「地域自治区制度」について.....	6
1-1 地域自治区制度の認知度.....	6
1-2 所属する地域自治区	7
2 地域協議会について	9
2-1 地域協議会の認知度.....	9
2-2 「地域魅力発信プラン」(地域まちづくりの計画)の認知度.....	10
2-3 地域協議会の会議内容や決定事項などを知る方法・手段	11
3 地域まちづくり推進委員会について	13
3-1 地域まちづくり推進委員会の認知度.....	13
3-2 地域まちづくり推進委員会が行う行事などへの参加状況.....	14
3-3 地域まちづくり推進委員会が発行する広報誌やチラシの閲覧状況	15
4 住んでいる地域の地域コミュニティや活動について	17
4-1 居住地域への「愛着」の状況	17
4-2 自分と地域(近所)の人との望ましい人間関係	18
4-3 地域コミュニティの現状や課題の認識について	20
4-4 地域の自治会への加入状況.....	23
4-5 自治会に加入していない理由	24
4-6 地域で活動する地域団体等への加入状況	26
4-7 地域団体等が実施する活動への参加状況.....	28
4-8 地域活動に参加した動機やきっかけ	29
4-9 地域活動への参加の回数.....	31
4-10 地域活動に参加しない理由	34
4-11 自治会、地域まちづくり推進委員会等が行う活動・事業についての重要度、満足度.....	36
4-12 身近な地域課題に対応する「地域」と「行政」のあり方	40
III 中学生意識調査の結果	43
<回答者の属性>	43
1 住んでいる地域について.....	44
1-1 住んでいる地域への愛着	44
1-2 今の居住地に将来も住む希望の有無.....	44

2 住んでいる地域の活動	45
2-1 住んでいる地域の活動団体・組織の認知状況	45
2-2 地域活動への参加状況	46
2-3 ボランティア活動の運営に参加した経験の有無	47
2-4 ボランティア活動の運営に参加したきっかけは何か	47
IV 大学生意識調査の結果	48
<回答者の属性>	48
1 宮崎市への愛着の程度について	49
2 地域の活動について	49
2-1 地域の自治会の認知状況	49
2-2 地域活動への参加状況	50
2-3 ボランティア活動の運営に参加した経験の有無	51
2-4 ボランティア活動の運営に参加したきっかけは何か	51
V 地域まちづくり推進委員会意識調査の結果	52
<回答者の属性>	52
1 地域まちづくり推進委員会の活動等について	53
1-1 所属する地区	53
1-2 地域づくり推進委員会に所属している年数	54
1-3 所属している部会等	54
1-4 地域自治区制度についての認識	55
1-5 地域自治区制度が地域に及ぼした効果	55
1-6 地域まちづくり推進委員会の適切な活動範囲	56
1-7 地域まちづくり推進委員会以外の地域団体等への所属の有無	56
1-8 積極的に関わっている団体	57
1-9 地域まちづくり推進委員会の活動に関するやりがいの程度	57
1-10 地域まちづくり推進委員会に加入したきっかけは何か	58
1-11 地域の友人に地域まちづくり推進委員会の活動を促すか否か	58
1-12	59
1-13 地域まちづくり推進委員会の活動の課題	59
2 地域活動の全般について	61
2-1 地域まちづくり推進委員会等が行う活動・事業についての重要度、満足度	61
2-2 身近な地域課題に対応する「地域」と「行政」のあり方	62
VI クロス集計・分析	63
1 地域活動への「参加」と「不参加」	63
2 地域活動の重要度、満足度の比較	64
3 身近な地域課題への地域・行政の対応のあり方	65

I 調査の概要

1. 調査の目的

地域と行政による地域課題の解決に向けた協働の取組が重要なため、地域活動の実情や行政に期待する取組等を把握し、地域まちづくりのあり方の検討に向けた基礎データの収集と分析を行うことを目的に調査を実施した。

2. 調査の方法

(1) 調査対象者、人数

- ① 市民意識調査: 宮崎市に1年以上在住し、かつ、18歳以上の人(3,000人)
- ② 中生意識調査: 宮崎市立中学校に通う中学生(3,137人)
- ③ 大学生意識調査: 宮崎大学、宮崎公立大学に通う大学生(225人)
- ④ 地域まちづくり推進委員会意識調査: 宮崎市の地域まちづくり推進委員会に所属する委員(2,046人)

(2) 調査対象者の抽出方法

- ① 市民意識調査: 宮崎市が住民基本台帳から無作為抽出
- ② 中生意識調査: 宮崎市が各中学校に依頼して抽出
- ③ 大学生意識調査: 宮崎市が各大学に依頼して抽出
- ④ 地域まちづくり推進委員会意識調査: 宮崎市が各地域まちづくり推進委員会に依頼して抽出

(3) 調査票の配布、回収方法

- ① 市民意識調査: 調査票の配布は郵送方式。回収は郵送方式またはWEB方式。
- ② 中生意識調査: 調査票は学校を通して配布。回収はWEB方式。
- ③ 大学生意識調査: 調査票は学校を通して配布。回収はWEB方式。
- ④ 地域まちづくり推進委員会意識調査: 宮崎市(各地域自治区事務所)を通じて、各地域まちづくり推進委員会事務局が配布。回収は宮崎市への直接提出方式またはWEB方式。

3. 調査の時期

- ① 市民意識調査: 令和5年3月
- ② 中生意識調査: 令和5年2月
- ③ 大学生意識調査: 令和5年2月
- ④ 地域まちづくり推進委員会意識調査: 令和5年2～3月

4. 調査票の回収率、回収数

- ① 市民意識調査: 41.2% (配布: 3,000人、回収: 1,250人)
- ② 中生意識調査: 75.9% (配布: 3,137人、回収: 2,382人)
- ③ 大学生意識調査: 225人 ※授業に出席した学生に対して調査票を配布。
- ④ 地域まちづくり推進委員会意識調査: 45.9% (配布: 3,137人、回収: 939人)

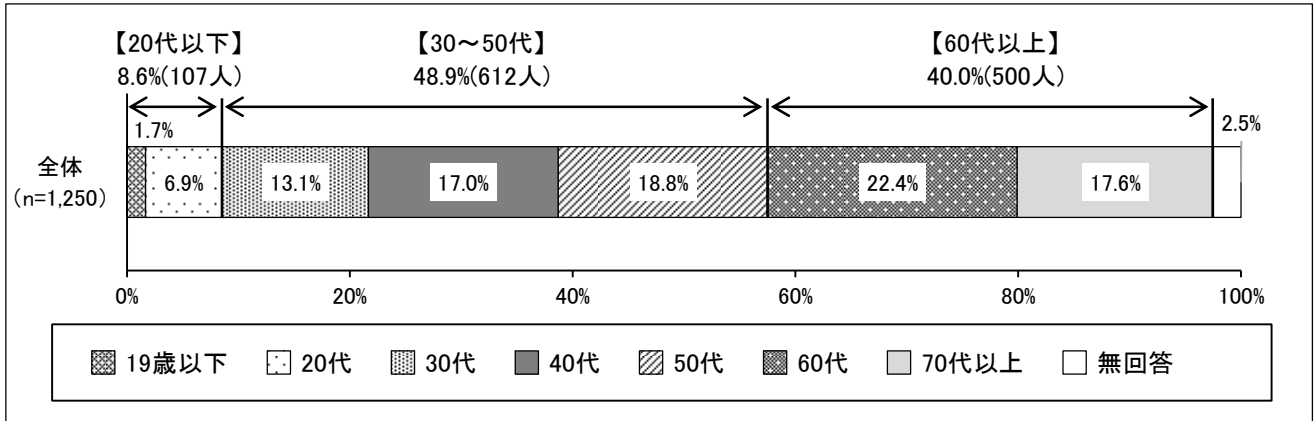
5. 留意事項

- ・百分率は小数点第2位で四捨五入し、小数点第1位までを示しているため、単一回答の回答比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・複数回答の設問は、回答比率の合計が100.0%を超える。
- ・各設問の集計母数(回答者数)は「n=」で示す。
- ・市民意識調査の結果では、性別の合計1,174人(男性:414人、女性:760人の計)は、「答えたくない」(47人)と「無回答」(29人)を含めていないため、全体(1,250人)と一致しない。(P6ほか)
- 年代別の合計1,219人(20代以下:107人、30～50代:612人、60代以上:500人の計)は、「無回答」(31人)を含めていないため、全体(1,250人)と一致しない。(P6ほか)

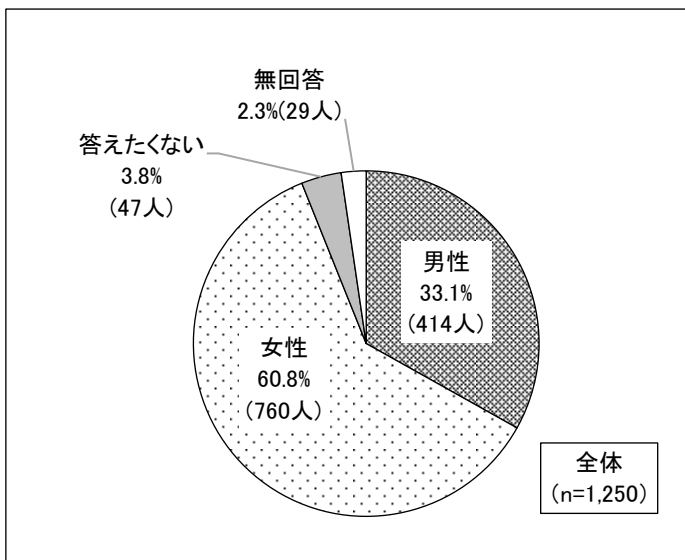
II 市民意識調査の結果

<回答者の属性>

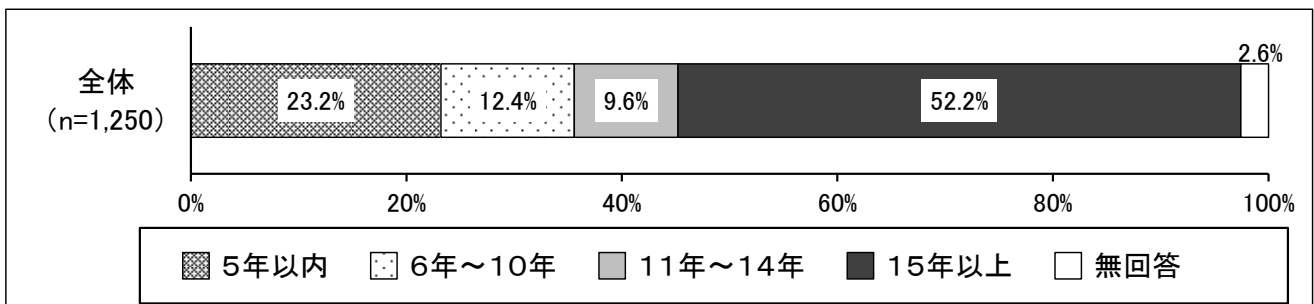
(1)年代(問23)



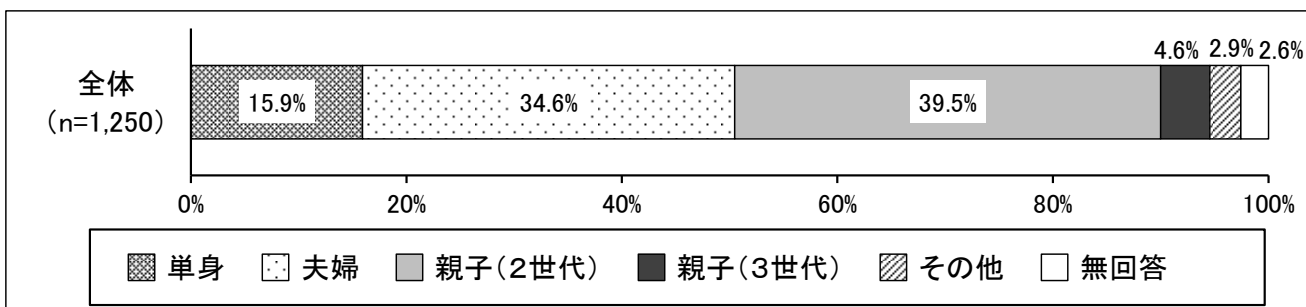
(2)性別(問24)



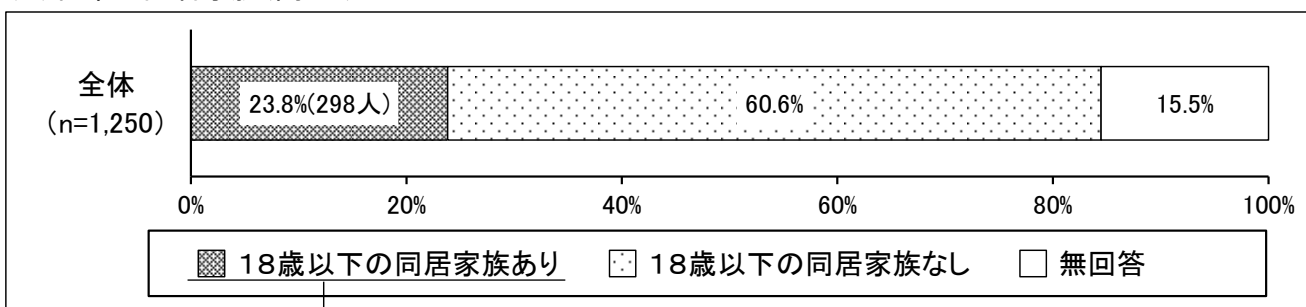
(3)現住所での居住年数(問25)



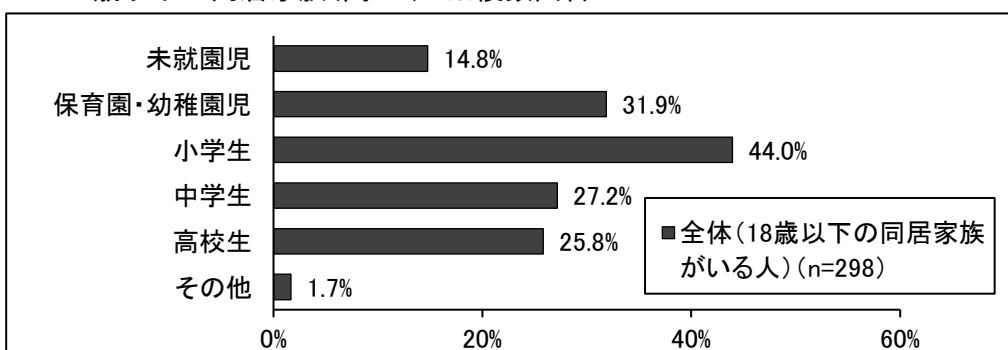
(4) 家族構成(問26)



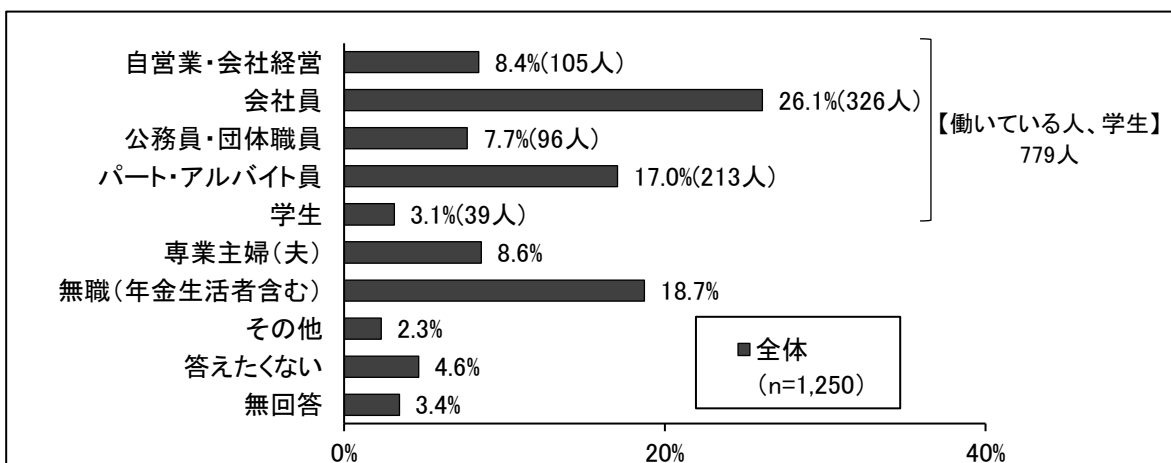
(5) 世帯の同居家族(問27)



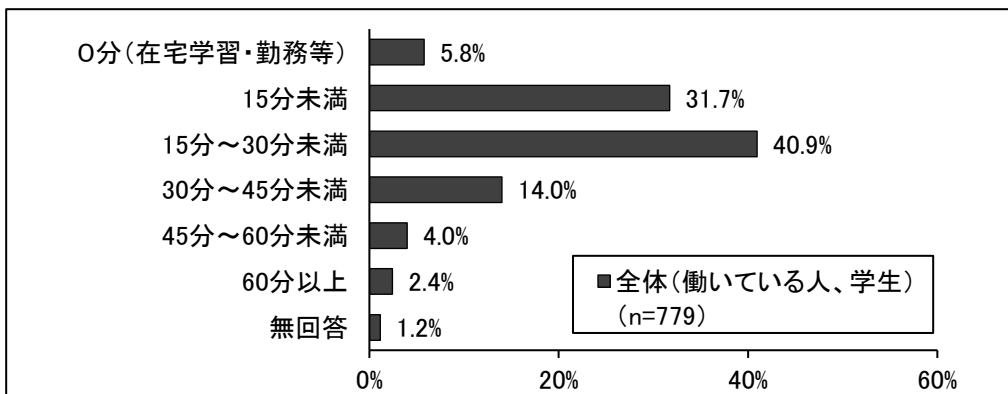
SQ. 18歳以下の同居家族(問28) ※複数回答



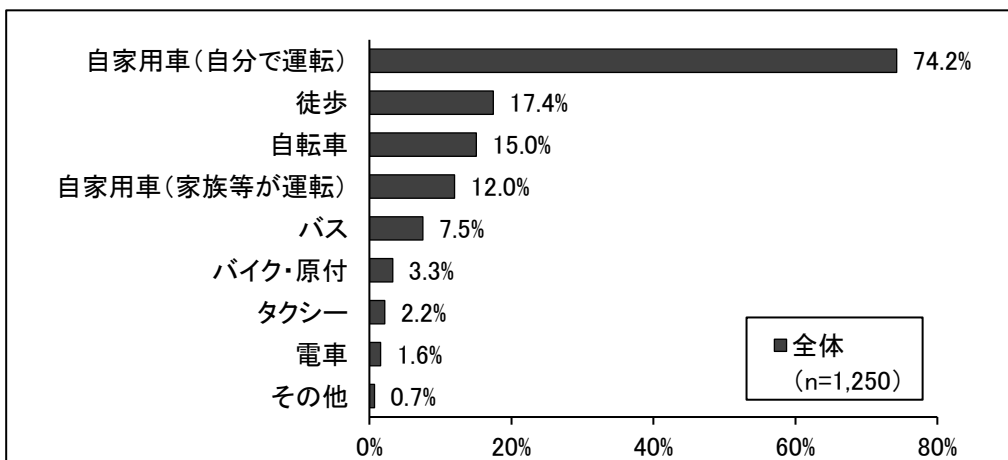
(6) 職業(問29)



(7)通勤・通学時間(問30)



(8)日常生活で主に利用する移動手段(問31) ※複数回答(3つ以内)



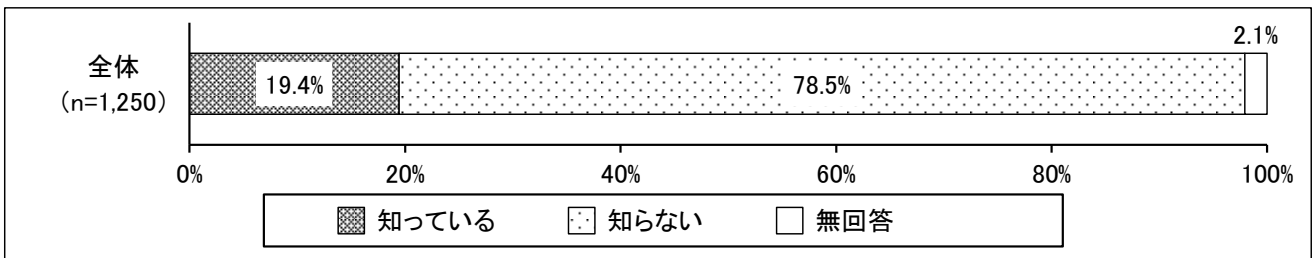
1 地域のまちづくりの仕組み「地域自治区制度」について

1-1 地域自治区制度の認知度

- ◇「知っている」の割合は5人に1人
- ◇認知度に男女の差はない
- ◇年代が高くなるほど認知度が高い

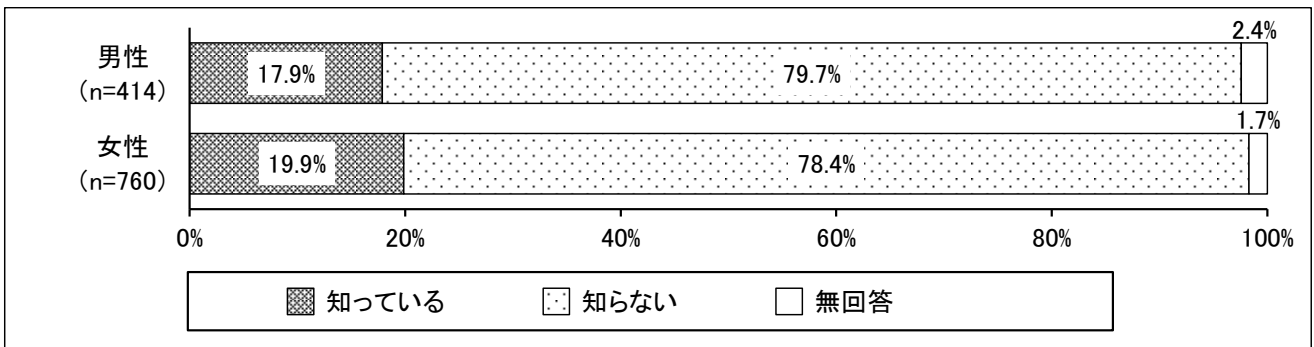
問1 あなたは、平成18年1月から宮崎市が導入している「地域自治区制度」(地域住民の声を市政に反映させる仕組み)をご存知ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表1-1-1 地域自治区制度の認知度>(全体)



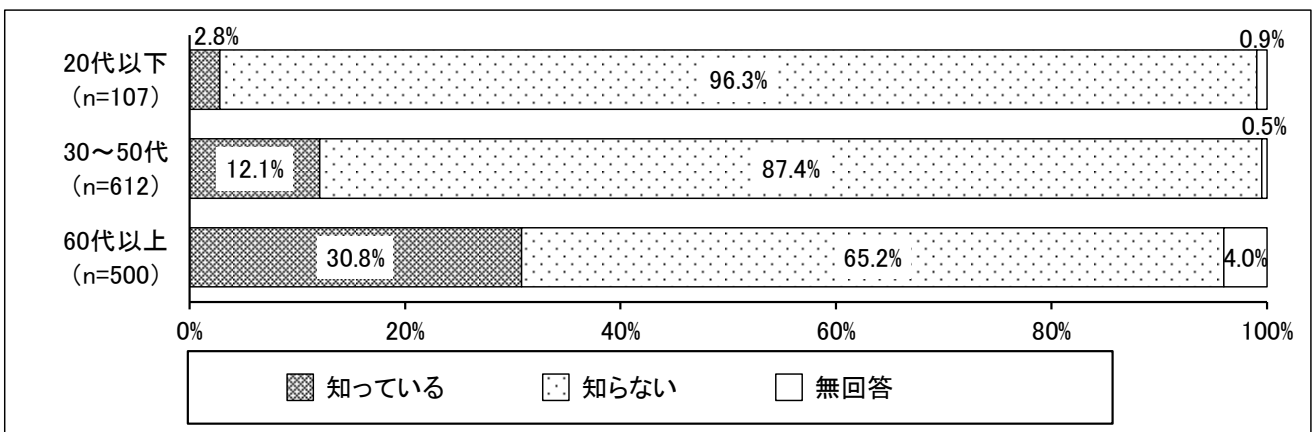
・「知っている」の割合は19.4% (5人に1人)で、「知らない」(78.5%)を大きく下回っている。

<図表1-1-2 地域自治区制度の認知度>(性別)



・認知度に男女の差はなく、全体とほぼ同じ傾向となっている。

<図表1-1-3 地域自治区制度の認知度>(年代別)



・年代が高くなるほど認知度が高まっている。(「知っている」の割合…20代以下:2.8%、30~50代:12.1%、60代以上:30.8%)

1-2 所属する地域自治区

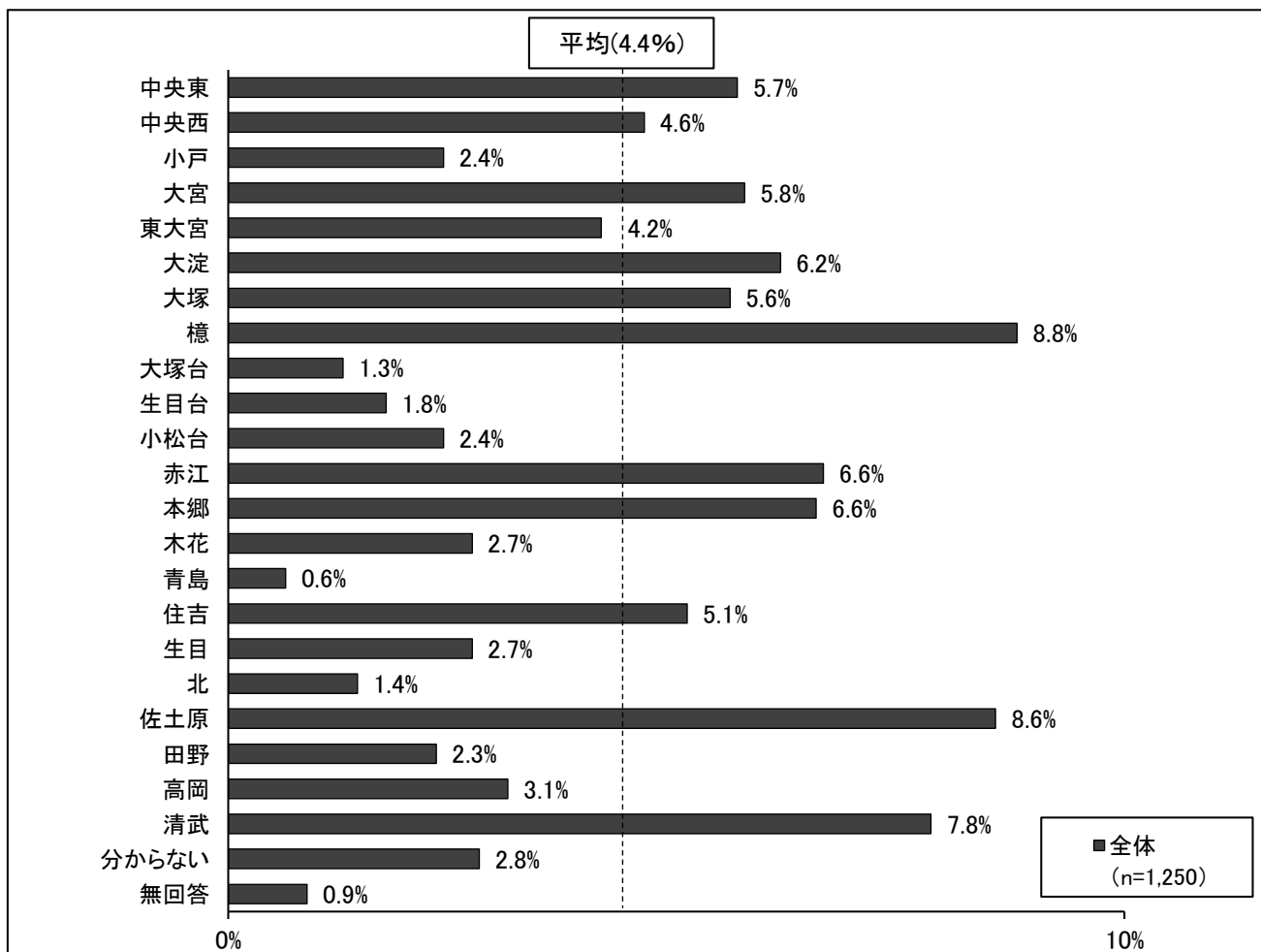
◇1地区平均54人(4.4%)から回答

◇性別・地区別の回答数は、ほとんどの地区で女性>男性

◇年代別・地区別の回答数は、「30～50代」(14地区)が半数以上

問2 あなたは、どちらの地域自治区にお住まいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表1-2-1 所属する地域自治区>(全体)



・全自治区(22自治区)から1,204人(「分からない」「無回答」[46人]を除く)から回答があった。(1自治区平均54人: 4.4%)

→平均を上回る自治区の数11自治区。

<図表1-2-2 所属する地域自治区>(性別・地区別)

	男性	女性	合計
中央東(n=70)	28.6%	71.4%	100.0%
中央西(n=56)	35.7%	64.3%	100.0%
小戸(n=27)	37.0%	63.0%	100.0%
大宮(n=69)	33.3%	66.7%	100.0%
東大宮(n=49)	34.7%	65.3%	100.0%
大淀(n=71)	31.0%	69.0%	100.0%
大塚(n=63)	31.7%	68.3%	100.0%
櫛(n=103)	38.8%	61.2%	100.0%
大塚台(n=15)	13.3%	86.7%	100.0%
生目台(n=21)	33.3%	66.7%	100.0%
小松台(n=29)	34.5%	65.5%	100.0%
赤江(n=76)	38.2%	61.8%	100.0%
本郷(n=78)	42.3%	57.7%	100.0%
木花(n=32)	25.0%	75.0%	100.0%
青島(n=8)	0.0%	100.0%	100.0%
住吉(n=61)	29.5%	70.5%	100.0%
生目(n=31)	51.6%	48.4%	100.0%
北(n=18)	44.4%	55.6%	100.0%
佐土原(n=102)	30.4%	69.6%	100.0%
田野(n=27)	33.3%	66.7%	100.0%
高岡(n=36)	47.2%	52.8%	100.0%
清武(n=91)	37.4%	62.6%	100.0%

・性別・地区別の回答数は、「生目」を除く地域自治区では女性が男性を上回っている。

<図表1-2-3 所属する地域自治区>(年代別・地区別)

	20代以下	30~50代	60代以上	合計
中央東(n=71)	4.2%	52.1%	43.7%	100.0%
中央西(n=56)	12.5%	48.2%	39.3%	100.0%
小戸(n=30)	13.3%	60.0%	26.7%	100.0%
大宮(n=70)	5.7%	54.3%	40.0%	100.0%
東大宮(n=52)	11.5%	55.8%	32.7%	100.0%
大淀(n=75)	6.7%	49.3%	44.0%	100.0%
大塚(n=67)	13.4%	52.2%	34.3%	100.0%
櫛(n=108)	9.3%	53.7%	37.0%	100.0%
大塚台(n=16)	12.5%	43.8%	43.8%	100.0%
生目台(n=22)	13.6%	22.7%	63.6%	100.0%
小松台(n=29)	10.3%	48.3%	41.4%	100.0%
赤江(n=80)	8.8%	55.0%	36.3%	100.0%
本郷(n=82)	8.5%	51.2%	40.2%	100.0%
木花(n=33)	15.2%	39.4%	45.5%	100.0%
青島(n=8)	25.0%	37.5%	37.5%	100.0%
住吉(n=62)	4.8%	46.8%	48.4%	100.0%
生目(n=34)	5.9%	41.2%	52.9%	100.0%
北(n=18)	0.0%	55.6%	44.4%	100.0%
佐土原(n=104)	2.9%	51.0%	46.2%	100.0%
田野(n=27)	3.7%	44.4%	51.9%	100.0%
高岡(n=37)	10.8%	40.5%	48.6%	100.0%
清武(n=95)	12.6%	51.6%	35.8%	100.0%

・年代別・地区別の回答数は、「30~50代」は14自治区、「60代以上」は6自治区で最も多くなっている。

2 地域協議会について

2-1 地域協議会の認知度

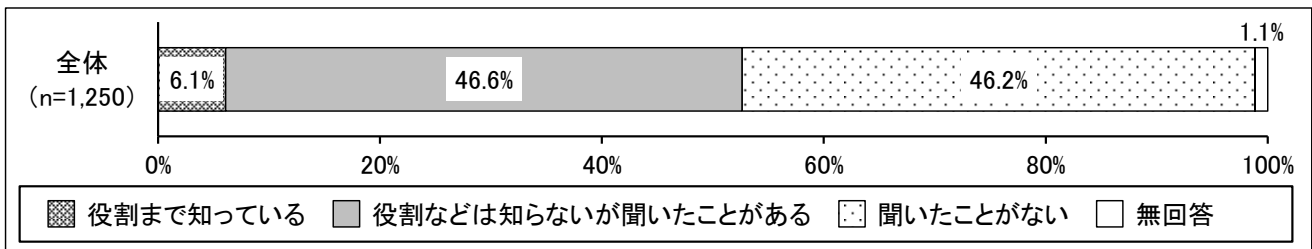
◇「聞いたことがない」の割合は2人に1人

◇男女とも「役割まで知っている」の割合は6%前後

◇年代が高まるほど「役割などは知らないが聞いたことがある」の割合は上昇

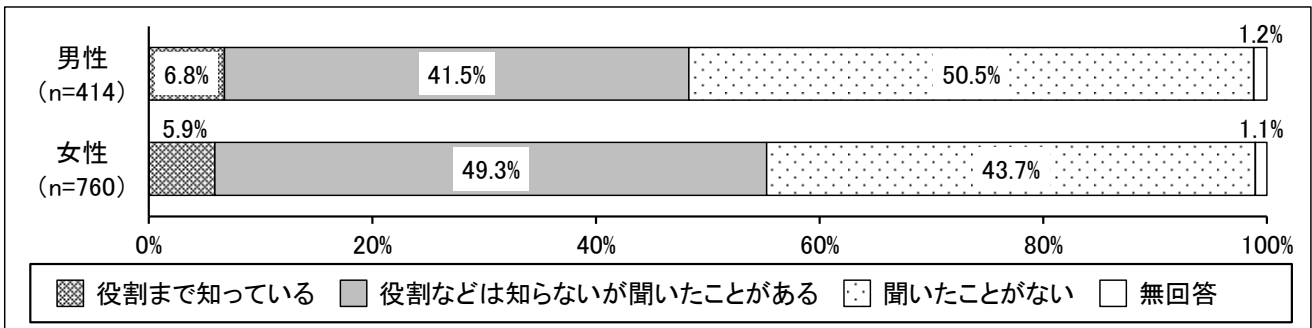
問3 各地域自治区には、地域住民の意見を市政に反映させるための協議組織である「地域協議会」が設置されています。あなたは、地域協議会をご存知ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表2-1-1 地域協議会の認知度> (全体)



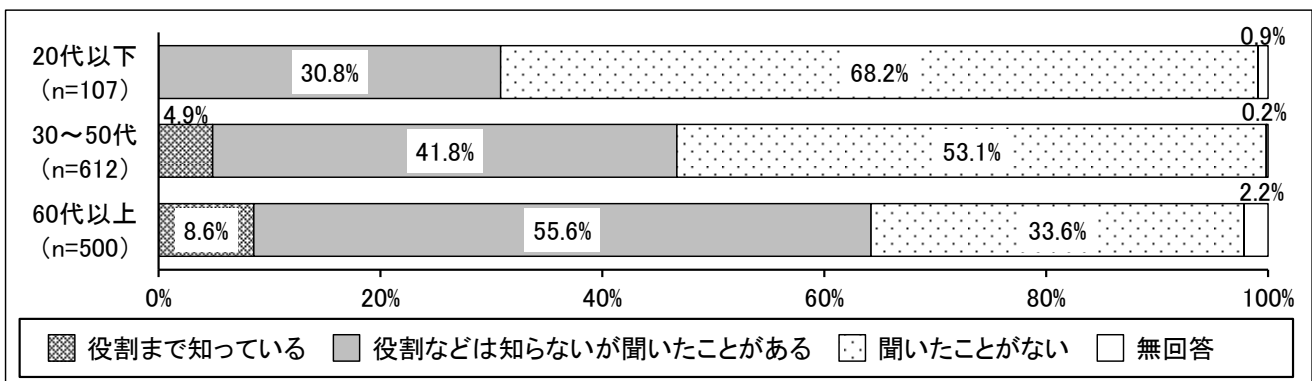
- ・「聞いたことがない」の割合(46.2%)が半数(2人に1人)となっている。
- ・「役割まで知っている」は極めて少ない(6.1%)。

<図表2-1-2 地域協議会の認知度> (性別)



- ・男女とも全体とほぼ同じ傾向で、「役割まで知っている」は6%前後となっている。

<図表2-1-3 地域協議会の認知度> (年代別)



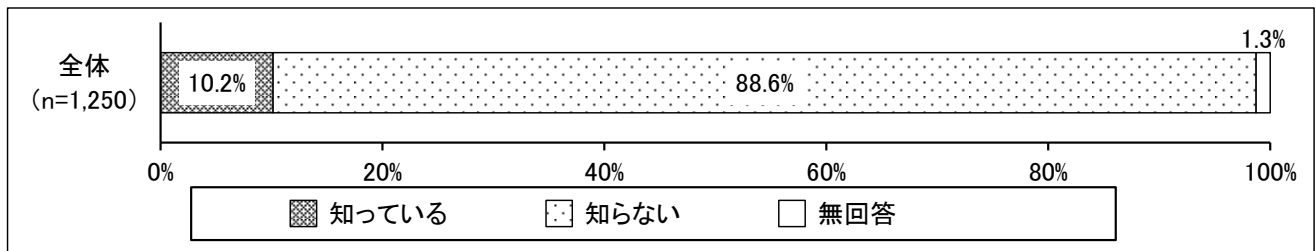
- ・「聞いたことがない」の割合は、年代が低いほど高く、認知度が低い状況にある。
- ・「役割などは知らないが聞いたことがある」は年代が高くなるほど上昇傾向にある。

2-2 「地域魅力発信プラン」(地域まちづくりの計画)の認知度

- ◇「知っている」の割合は10人に1人
- ◇男女とも認知度は同じ傾向(「知らない」が9割)
- ◇60代以上は「知っている」の割合が他の年代より高い

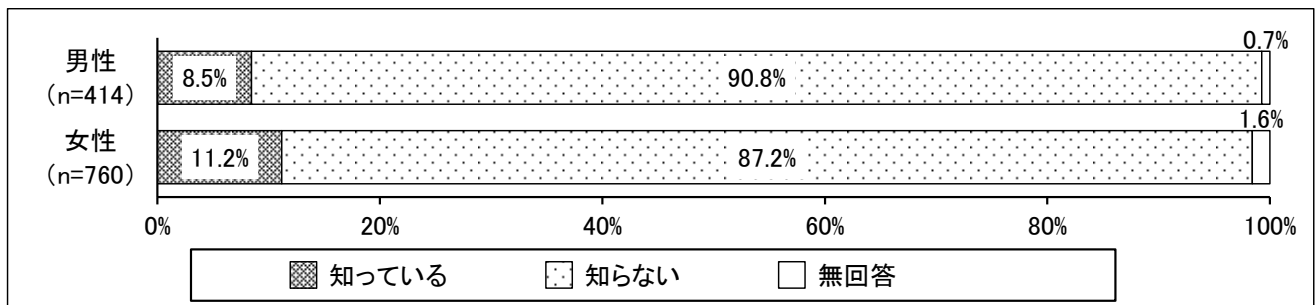
問4 各地域自治区では、地域協議会が主体となって、地域の将来像を明確にするため、「地域魅力発信プラン」(地域まちづくりの計画)を作成しています。あなたは、お住まいの地域の「地域魅力発信プラン」をご存知ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表2-2-1 地域協議会の認知度>(全体)



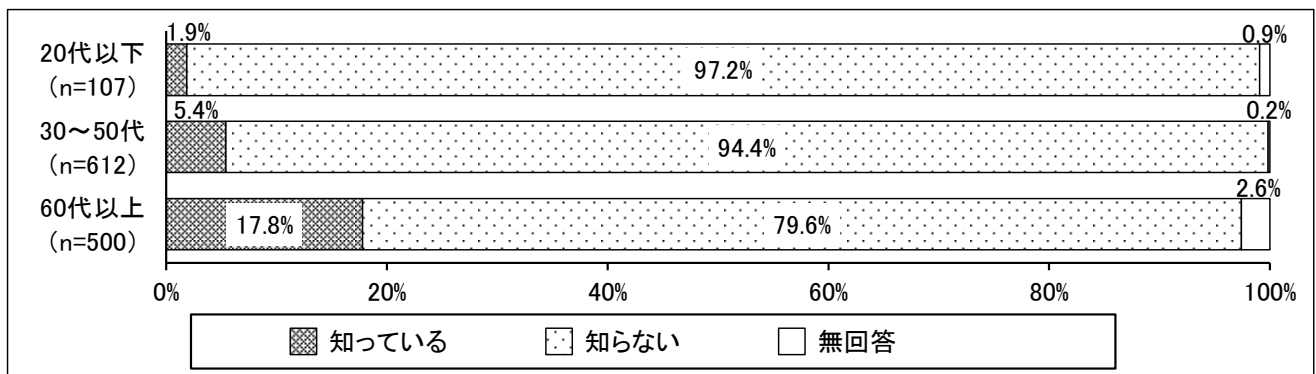
・「知っている」の割合は10.2%(10人に1人)となっている。

<図表2-2-2 地域協議会の認知度>(男女別)



・男女とも全体とほぼ同じ傾向を示している(「知らない」が9割)。

<図表2-2-3 地域協議会の認知度>(年代別)



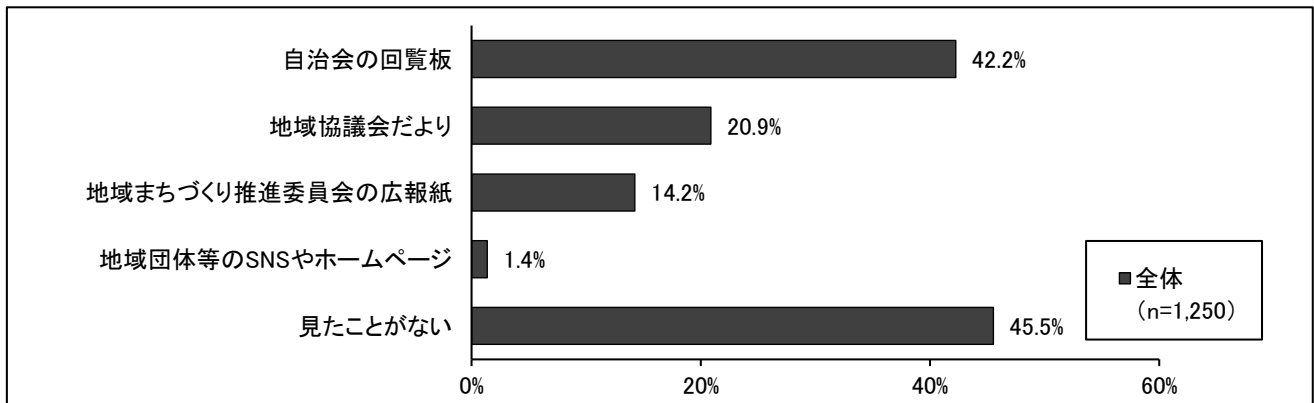
・「60代以上」は「知っている」の割合が17.8%で他の年代を大きく上回っている。

2-3 地域協議会の会議内容や決定事項などを知る方法・手段

- ◇「自治会の回覧板」の割合(42.2%)がトップ
- ◇「見たことがない」は男性が女性を10ポイント上回る
- ◇「地域協議会だより」は各年代とも第2位

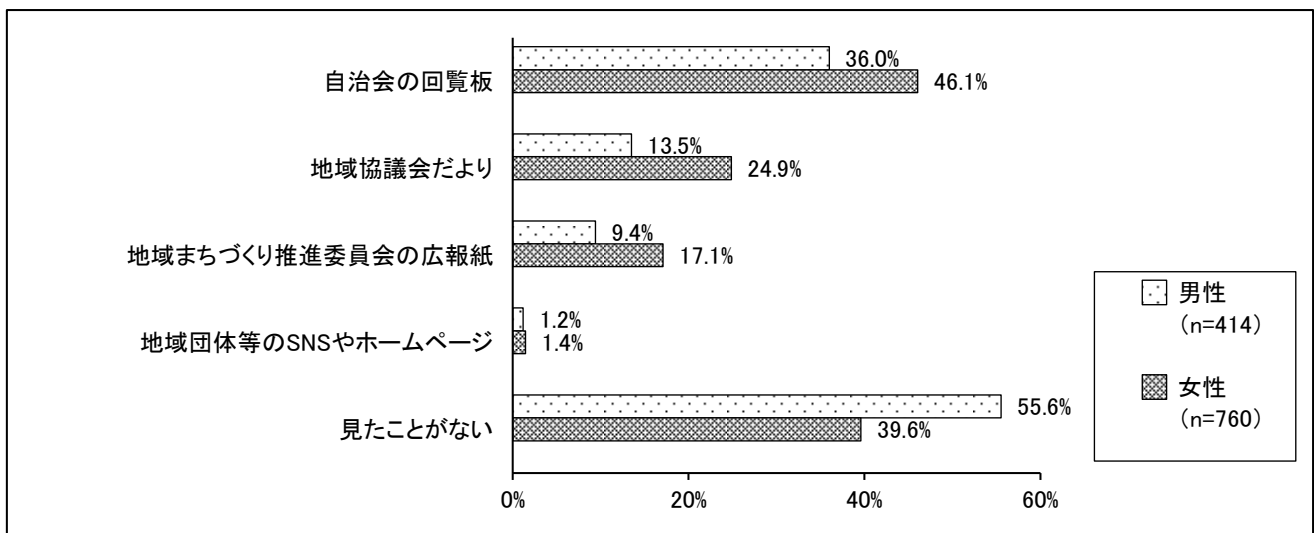
問5 地域協議会では、会議の内容や決定事項などを住民の方にお知らせしていますが、ご覧になったことがありますか。当てはまる番号全てに○をつけてください。

＜図表2-3-1 地域協議会の会議内容や決定事項などを知る方法・手段＞(全体) ※複数回答



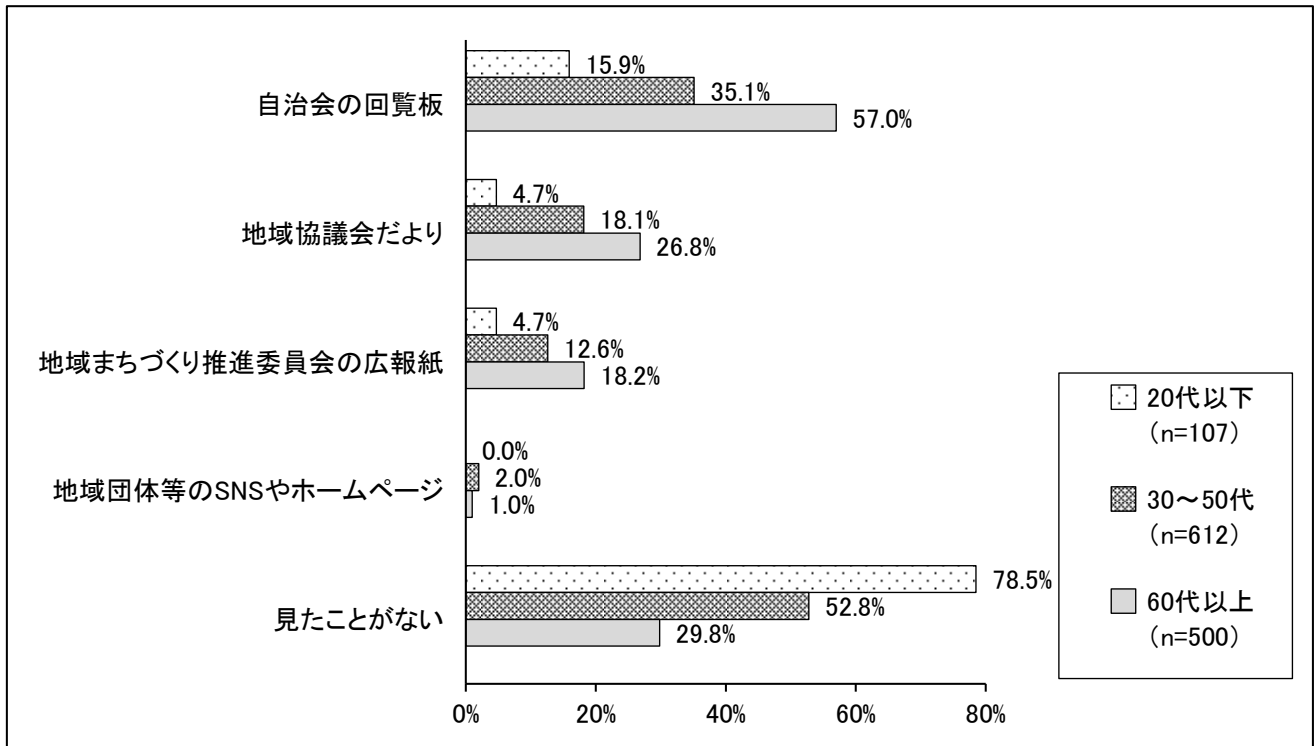
- ・知る方法・手段としては、「自治会の回覧板」の割合(42.2%)が最も高くなっている。
- ・しかし、「見たことがない」(45.5%)が約半数となっている。

＜図表2-3-2 地域協議会の会議内容や決定事項などを知る方法・手段＞(性別) ※複数回答



- ・「地域団体等のSNSやホームページ」を除く、他の方法・手段において女性が男性を10ポイント前後上回っている。
- ・「見たことがない」は男性(55.6%)が女性(39.6%)を16ポイント上回っている。

＜図表2-3-3 地域協議会の会議内容や決定事項などを知る方法・手段＞（年代別） ※複数回答



- ・「地域協議会だより」は、各年代とも第2位となっている。
- ・「見たことがない」の割合は年代が低くなるほど高くなっている。

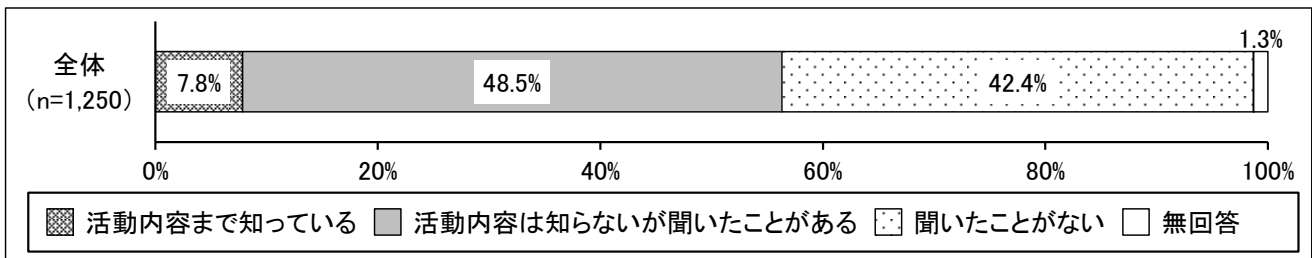
3 地域まちづくり推進委員会について

3-1 地域まちづくり推進委員会の認知度

- ◇「活動内容は知らないが聞いたことがある」は約半数
- ◇「聞いたことがない」は女性より男性が多い
- ◇「活動内容まで知っている」は60代以上が最も高い(約1割)

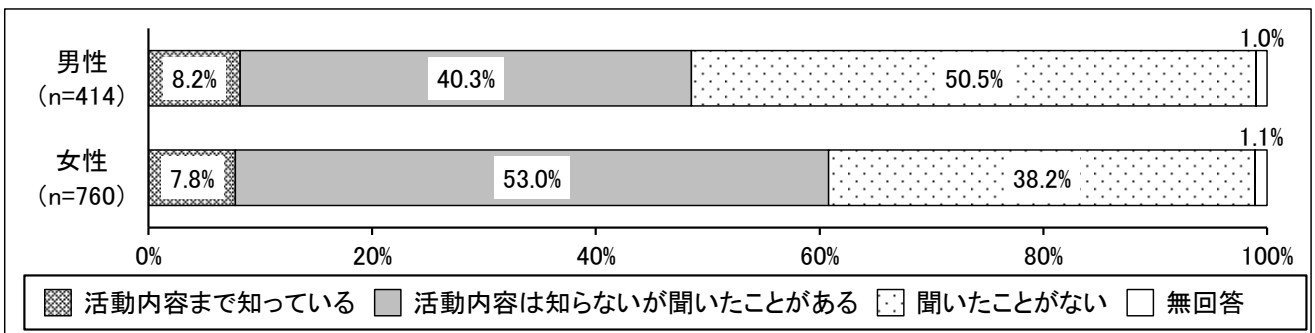
問6 各地域自治区には、地域協議会と連携してまちづくり活動に取り組む「地域まちづくり推進委員会」が組織されています。あなたは、地域まちづくり推進委員会をご存知ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

＜図表3-1-1 地域まちづくり推進委員会の認知度＞（全体）



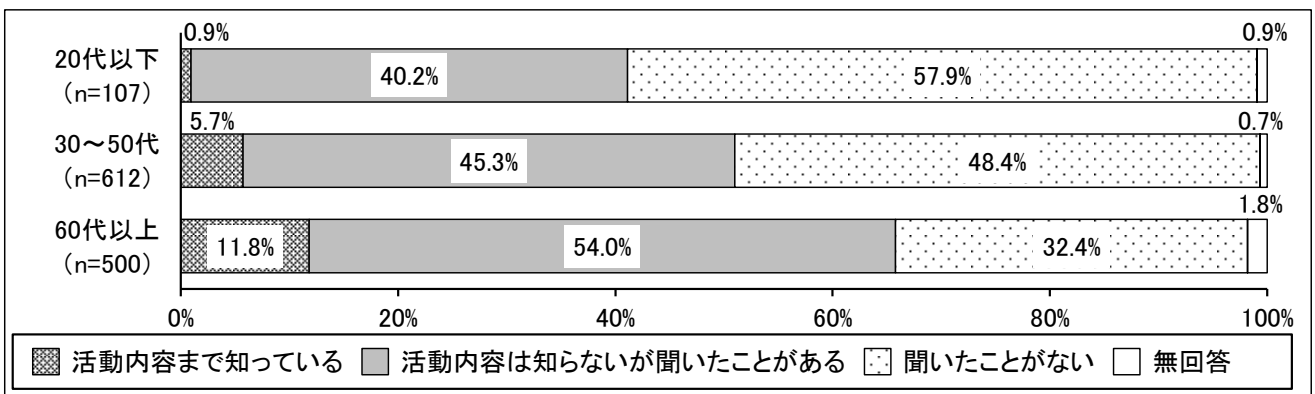
- ・「活動内容は知らないが聞いたことがある」の割合(48.5%)は約半数(2人に1人)となっている。
- ・「聞いたことがない」(42.4%)は4割となっている。

＜図表3-1-2 地域まちづくり推進委員会の認知度＞（性別）



- ・「活動内容は知らないが聞いたことがある」の割合は女性(53.0%)が男性(40.3%)を12.7ポイント上回っている。
- ・「聞いたことがない」の割合は男性(50.5%)が女性(38.2%)を12.3ポイント上回っている。

＜図表3-1-3 地域まちづくり推進委員会の認知度＞（年代別）



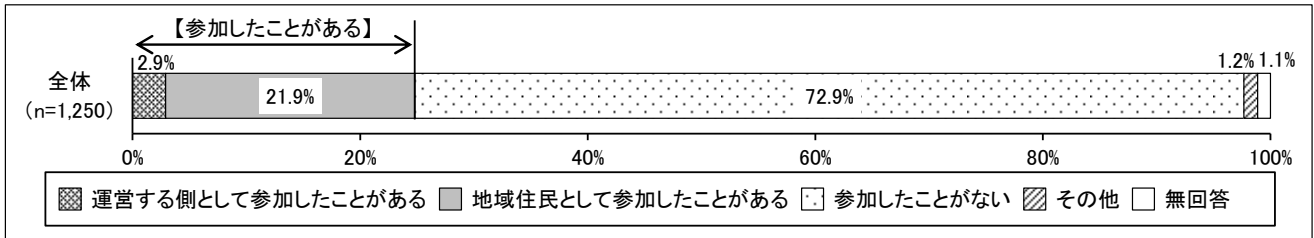
- ・「活動内容まで知っている」の割合は「60代以上」(11.8%)が最も高くなっている。
- ・「聞いたことはない」の割合は年代が低くなるほど高くなっている。

3-2 地域まちづくり推進委員会が行う行事などへの参加状況

- ◇「参加したことがある」は4人に1人
- ◇「参加したことがある」は男性より女性が多い
- ◇「参加したことがある」は60代以上が3人に1人

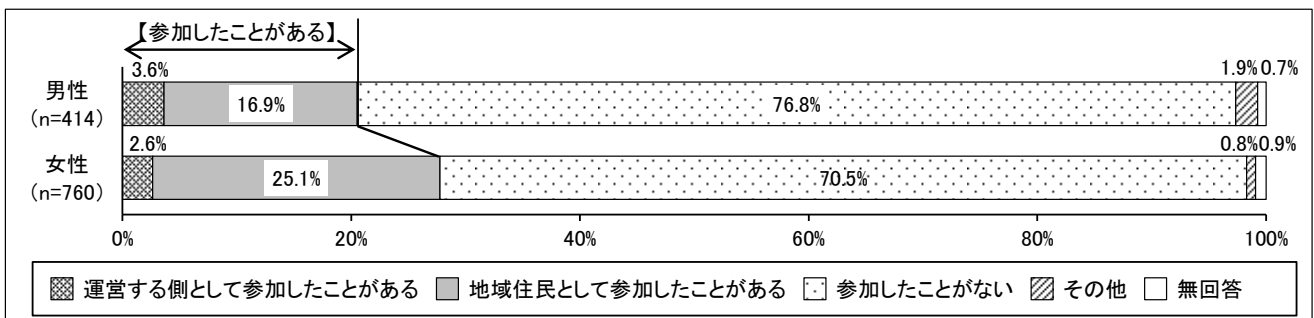
問7 あなたは、地域まちづくり推進委員会が行う行事などに参加したことがありますか。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

＜図表3-2-1 地域まちづくり推進委員会が行う行事などへの参加状況＞（全体）



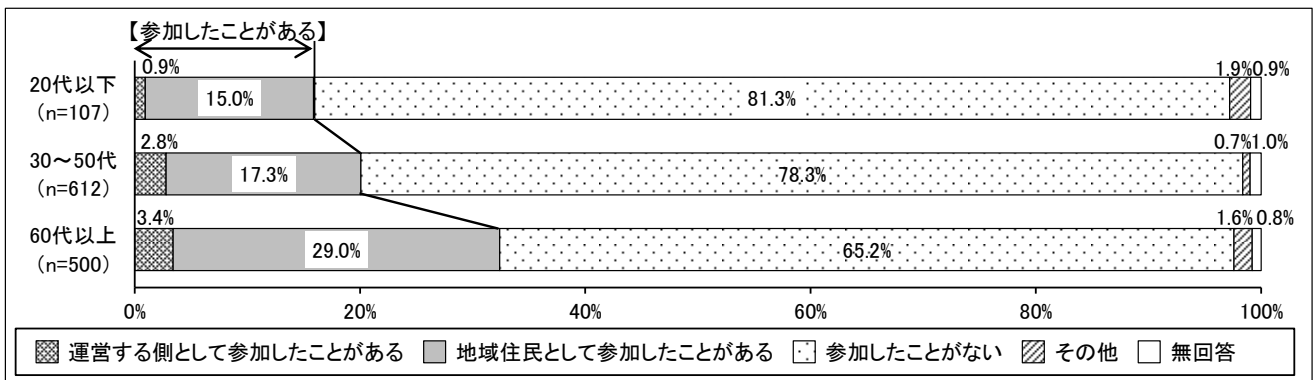
・「参加したことがある」（「運営する側として参加したことがある」と「地域住民として参加したことがある」の計：以下同じ）の割合は24.8%（4人に1人）となっている。

＜図表3-2-2 地域まちづくり推進委員会が行う行事などへの参加状況＞（性別）



・「参加したことがある」の割合は女性（27.7%）が男性（20.5%）を7.2ポイント上回っている。

＜図表3-2-3 地域まちづくり推進委員会が行う行事などへの参加状況＞（年代別）



・「参加したことがある」の割合は「60代以上」（32.4%）は3人に1人となっている。

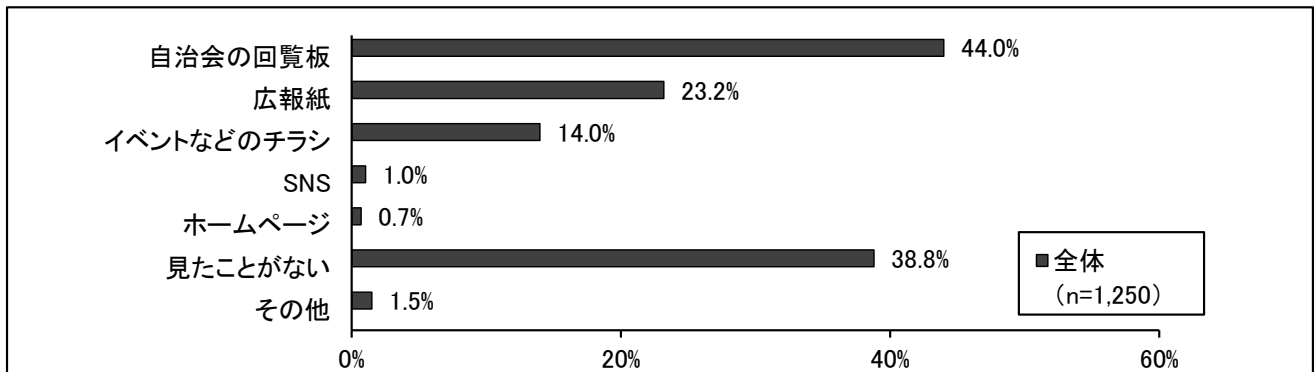
・「参加したことがない」の割合は年代が低くなるほど高くなっている。

3-3 地域まちづくり推進委員会が発行する広報誌やチラシの閲覧状況

- ◇「自治会の回覧板」は4割以上が見る
- ◇「見たことがない」は女性より男性が多い
- ◇年代が高くなるほど広報誌等を見る割合が高い

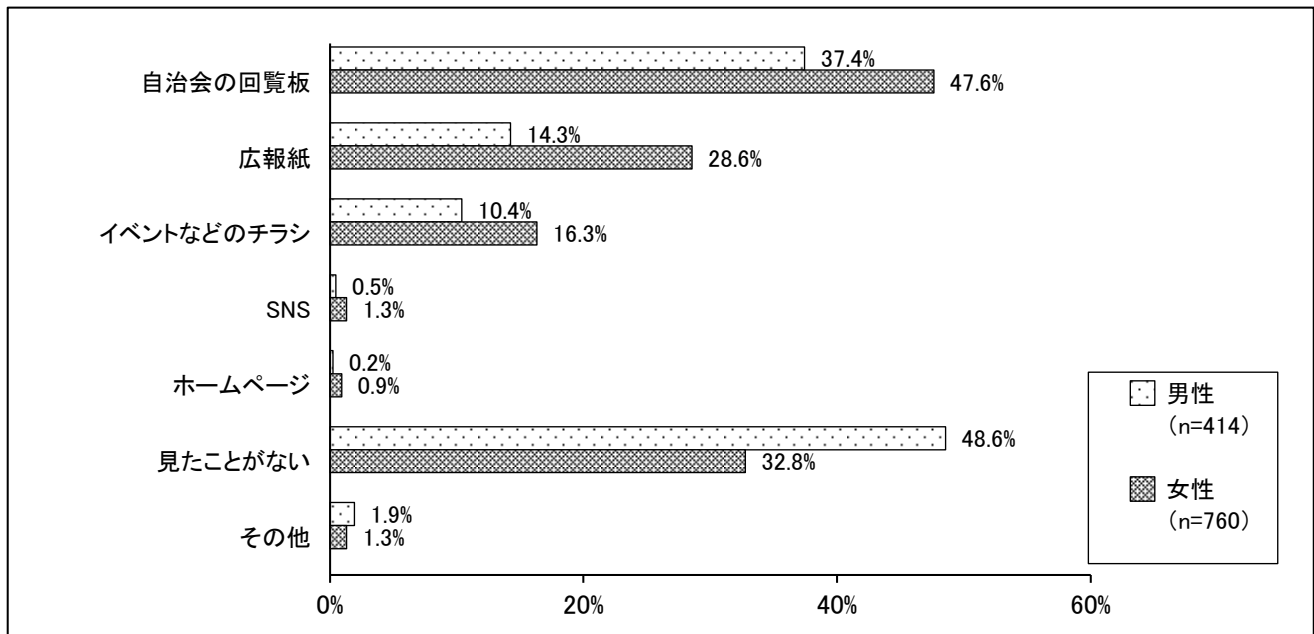
問8 あなたは、地域まちづくり推進委員会が発行する広報紙やチラシなどをご覧になったことがありますか。ご覧になったことがある番号全てに○をつけてください。

＜図表3-3-1 地域まちづくり推進委員会が発行する広報誌やチラシの閲覧状況＞（全体） ※複数回答



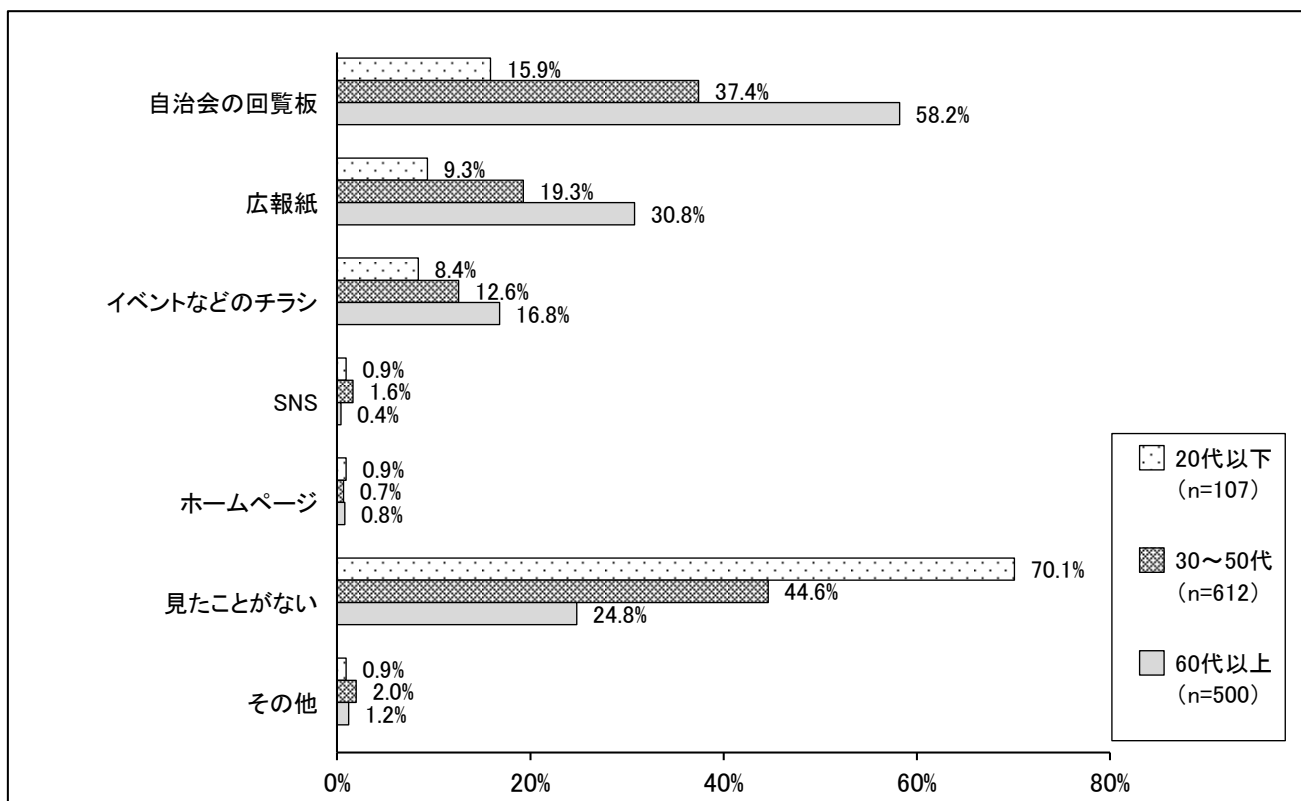
- ・「自治会の回覧板」の割合(44.0%)が最も高くなっている。
- ・「SNS」「ホームページ」は1%以下となっている。
- ・「見たことがない」(38.8%)が約4割となっている。

＜図表3-3-2 地域まちづくり推進委員会が発行する広報誌やチラシの閲覧状況＞（性別） ※複数回答



- ・男女とも全体とほぼ同じ傾向となっている。その中で、「見たことがない」の割合は男性(48.6%)が女性(32.8%)を15.8ポイント上回っている。

＜図表3-3-3 地域まちづくり推進委員会が発行する広報誌やチラシの閲覧状況＞（年代別） ※複数回答



- ・広報媒体の閲覧は年代が高くなるほど高まる傾向となっている。
- ・「見たことがない」の割合は年代が低くなるほど高くなっている。

4 住んでいる地域の地域コミュニティや活動について

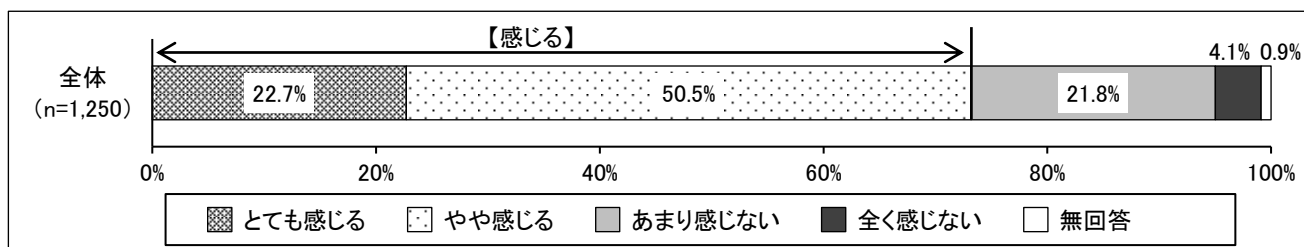
<住んでいる地域の状況について>

4-1 居住地域への「愛着」の状況

- ◇愛着を「感じる」は4人に3人
- ◇愛着を「感じる」は男性より女性が多い
- ◇愛着を「感じる」は各年代で7割以上

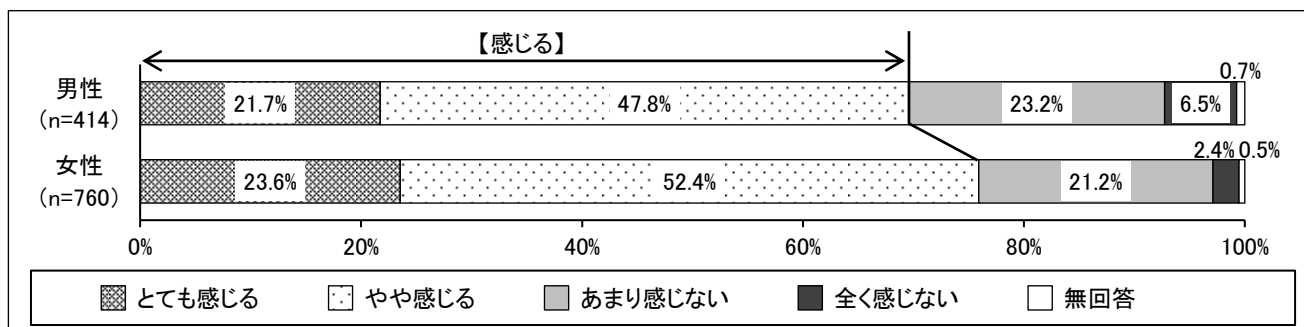
問9 あなたは、お住まいの地域に愛着を感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表4-1-1 居住地域への「愛着」の状況>(全体)



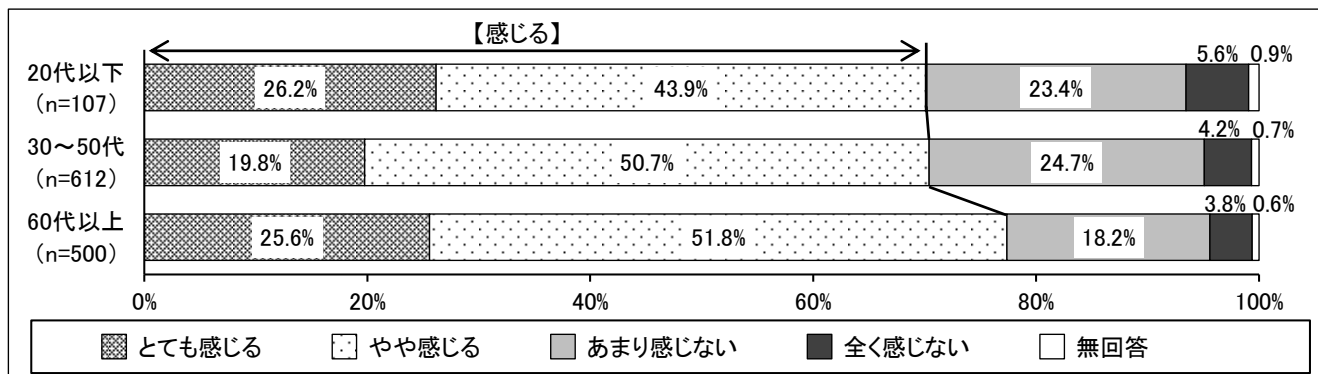
・「感じる」(「とても感じる」と「やや感じる」の計:以下同じ)の割合は73.2%(4人に3人)となっている。

<図表4-1-2 居住地域への「愛着」の状況>(性別)



・「感じる」の割合は女性(76.0%)が男性(69.5%)を6.5ポイント上回っている。

<図表4-1-3 居住地域への「愛着」の状況>(年代別)



・「感じる」の割合は各年代とも7割以上(20代以下:70.1%、30~50代:70.5%、60代以上:77.4%)となっている。

4-2 自分と地域(近所)の人との望ましい人間関係

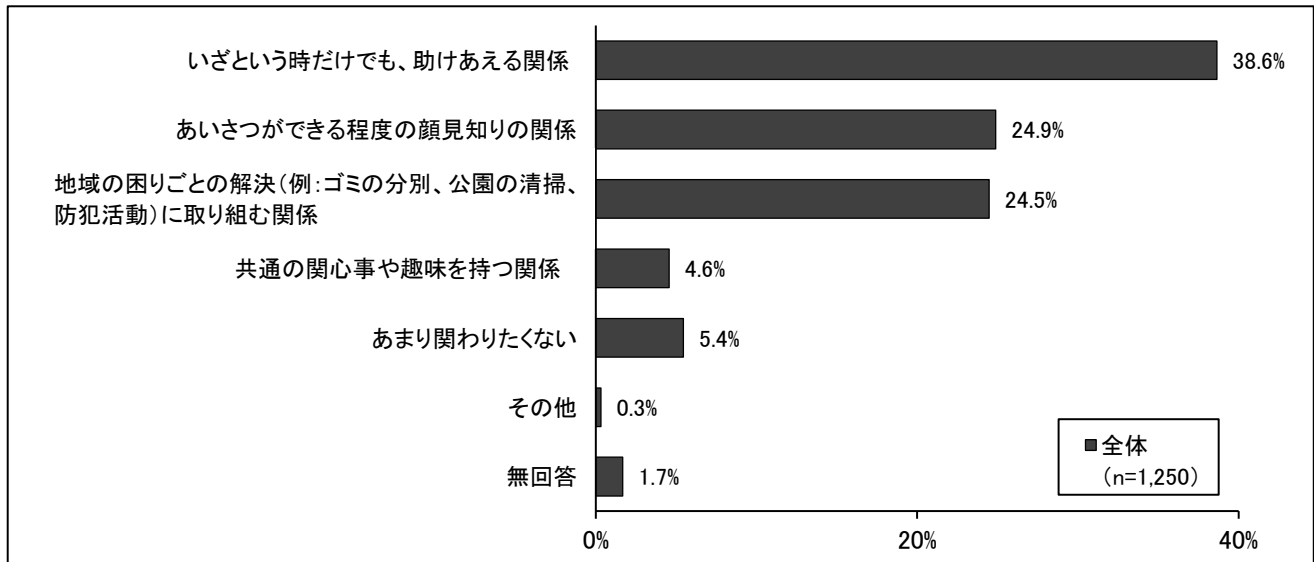
◇「いざという時だけでも、助けあえる関係」が4割

◇「あいさつができる程度の顔見知りの関係」は各年代とも4人に1人

問10 あなたは、ご自身と地域(近所)の人とどのような関係を築きたいと考えますか。

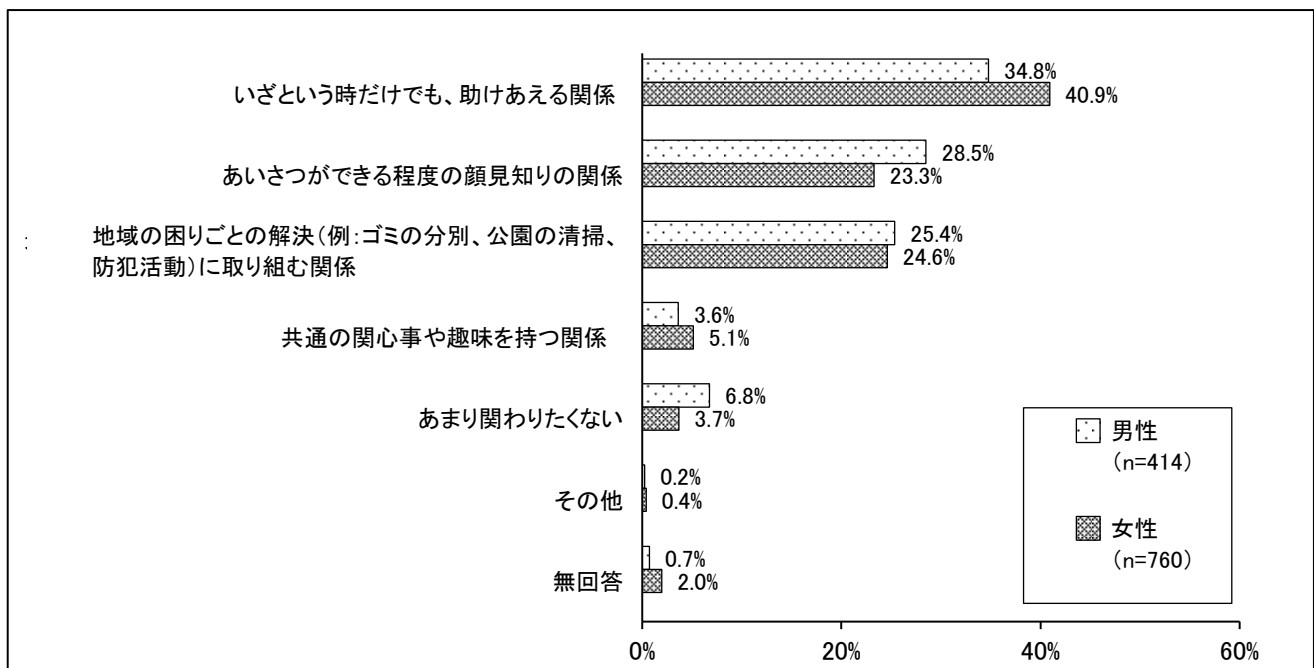
当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表4-2-1 自分と地域(近所)の人との望ましい人間関係>(全体)



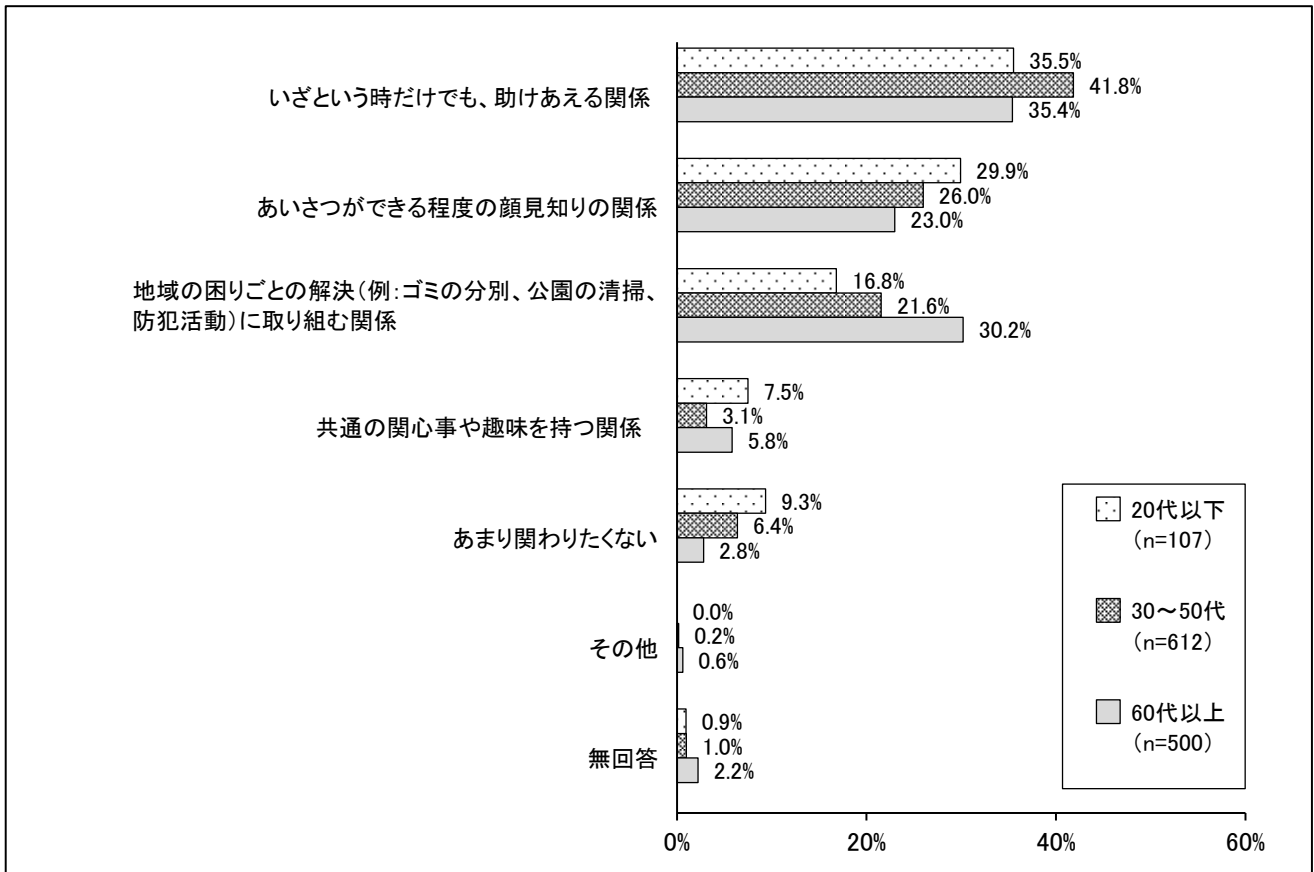
・「いざという時だけでも、助けあえる関係」の割合が約4割で最も高い。

<図表4-2-2 自分と地域(近所)の人との望ましい人間関係>(性別)



・男女とも全体とほぼ同じ傾向を示している。その中で、「いざという時だけでも、助けあえる関係」の割合は女性(40.9%)が男性(34.8%)を6.1ポイント上回っている。

＜図表4-2-3 自分と地域(近所)の人との望ましい人間関係＞(年代別)



・各年代とも全体とほぼ同じ傾向を示している。その中で、「あいさつができる程度の顔見知りの関係」の割合は各年代とも4人に1人となっている。

4-3 地域コミュニティの現状や課題の認識について

◇「そう思う」の割合は、「C 若い世代が地域コミュニティに関わりを持ちにくい」が最も高い

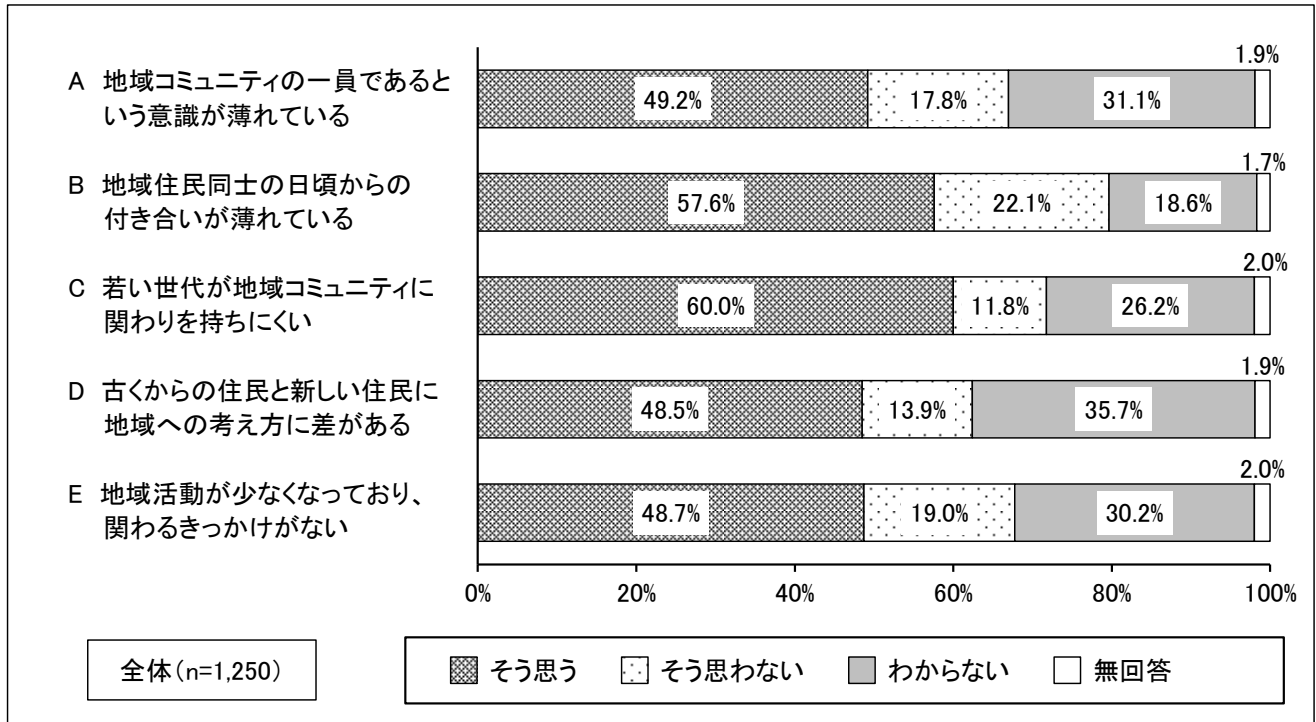
◇男女で認識の差が大きい項目は、「A 地域コミュニティの一員であるという意識が薄れている」

◇「そう思う」の割合は、ほとんどの項目で年代が高まるほど高くなる傾向

問11 あなたは、地域コミュニティの現状や課題をどのように認識していますか。

A～Eのそれぞれの項目で当てはまる番号1つに○をつけてください。

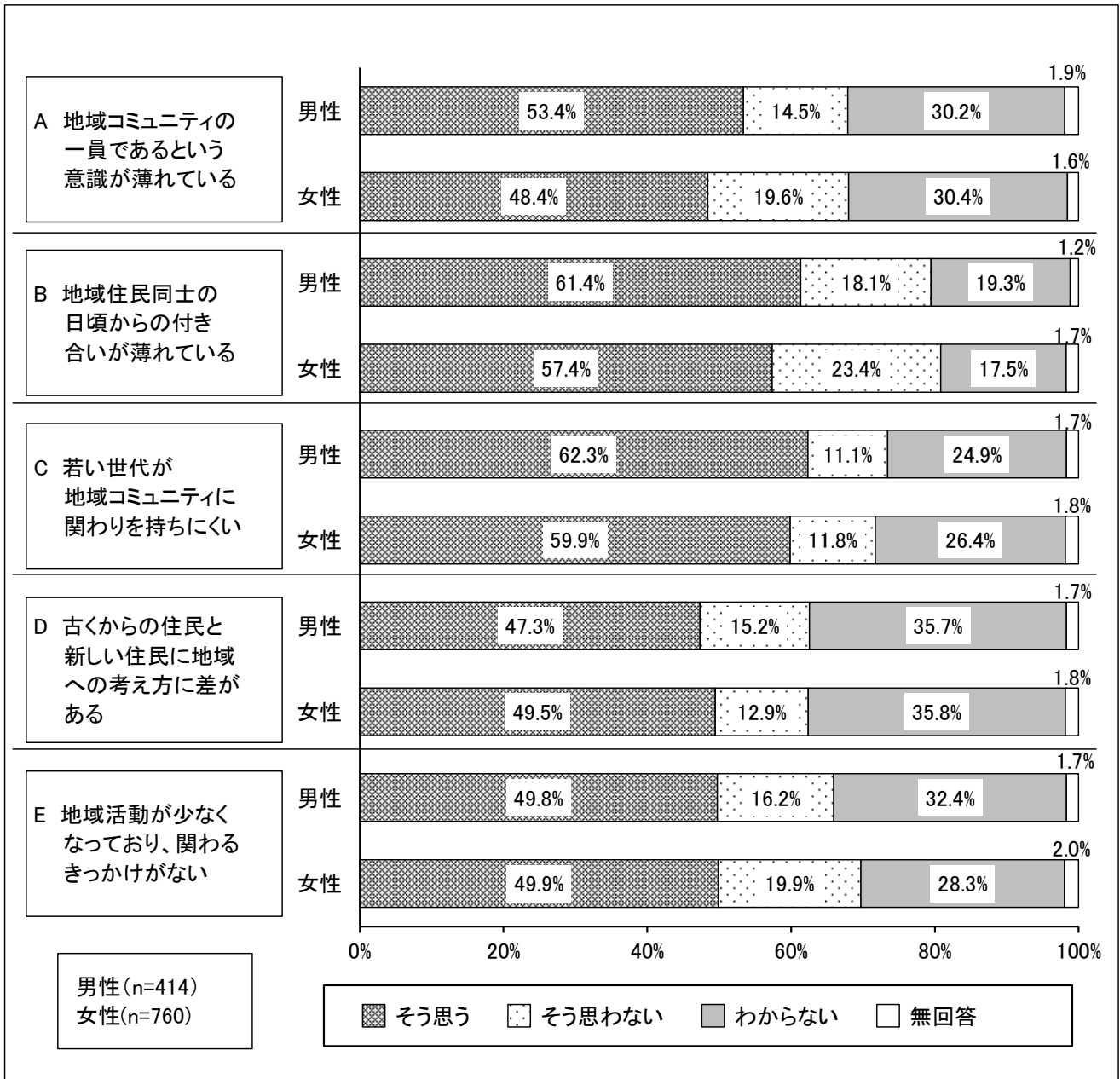
<図表4-3-1 地域コミュニティの現状や課題の認識について> (全体)



・「そう思う」と回答した割合は、「そう思わない」を大きく上回っている。その中で、「C 若い世代が地域コミュニティに関わりを持ちにくい」(60.0%)で最も高くなっている。

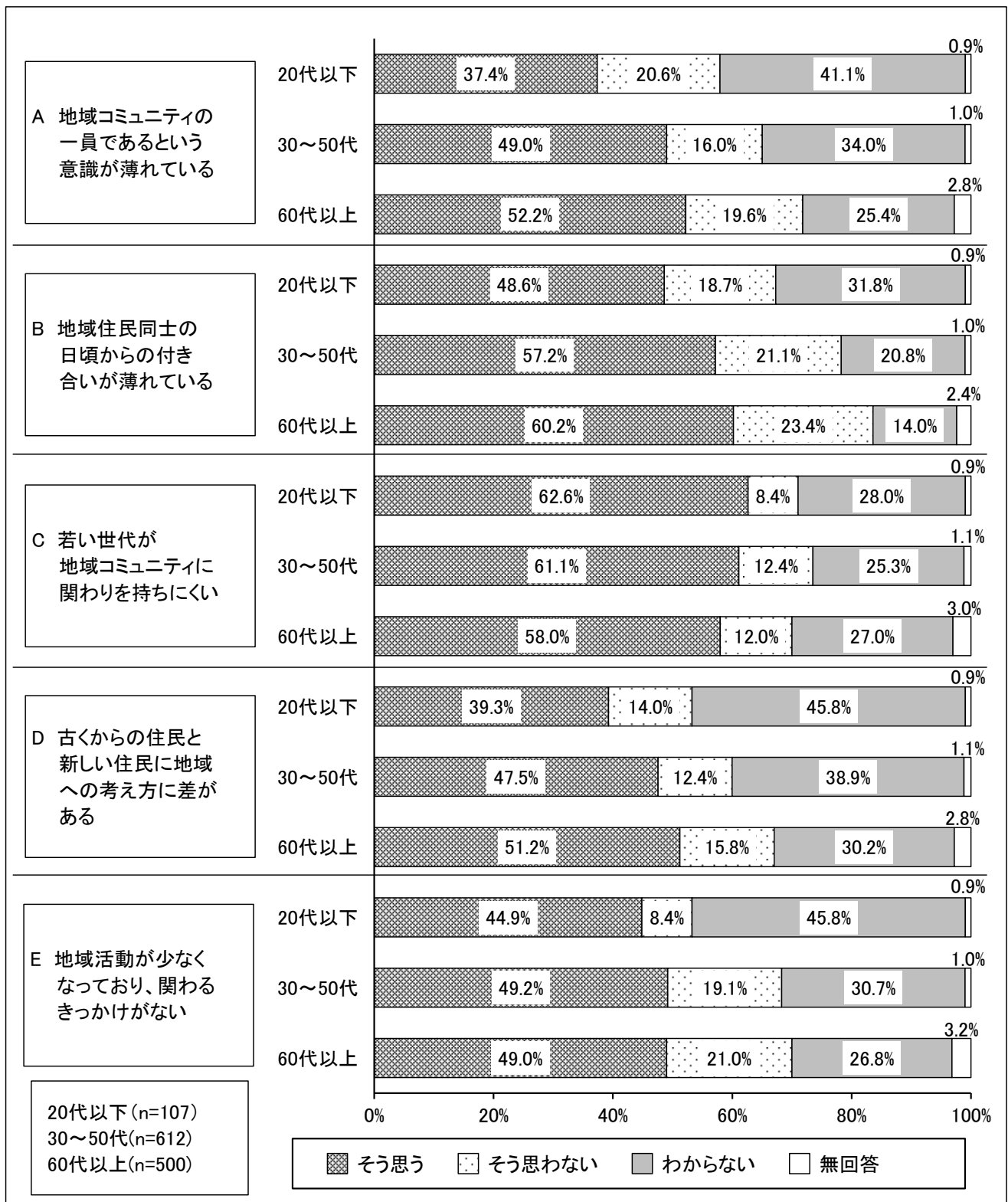
・「そう思わない」の割合は、「B 地域住民同士の日頃からの付き合いが薄れている」(22.1%)で最も高くなっている。

<図表4-3-2 地域コミュニティの現状や課題の認識について> (性別)



- ・「E 地域活動が少なくなっており、関わるきっかけがない」の「そう思う」の割合(約50%)は男女とも同じとなっている。
- ・「A 地域コミュニティの一員であるという意識が薄れている」の「そう思う」の男性(53.4%)と女性(48.4%)の割合の差は5.0ポイントで、他の項目と比べて差が大きくなっている。

<図表4-3-3 地域コミュニティの現状や課題の認識について> (年代別)



- ・「C 若い世代が地域コミュニティに関わりを持ちにくい」を除く各項目(A、B、D、E)の「そう思う」の割合は、年代が高まるほど高くなっている。
- ・「そう思う」の割合が最も高いのは、「20代以下」と「30～50代」で「C 若い世代が地域コミュニティに関わりを持ちにくい」(62.6%と61.1%)、「60代以上」では「B 地域住民同士の日頃からの付き合いが薄れている」(60.2%)となっている。

<地域の自治会、地域団体等の現状について>

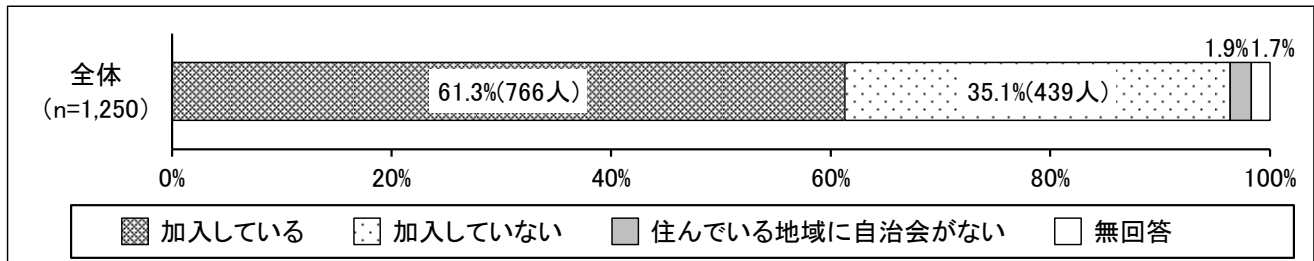
4-4 地域の自治会への加入状況

◇「加入している」は6割

◇「加入していない」は20代以下では6割

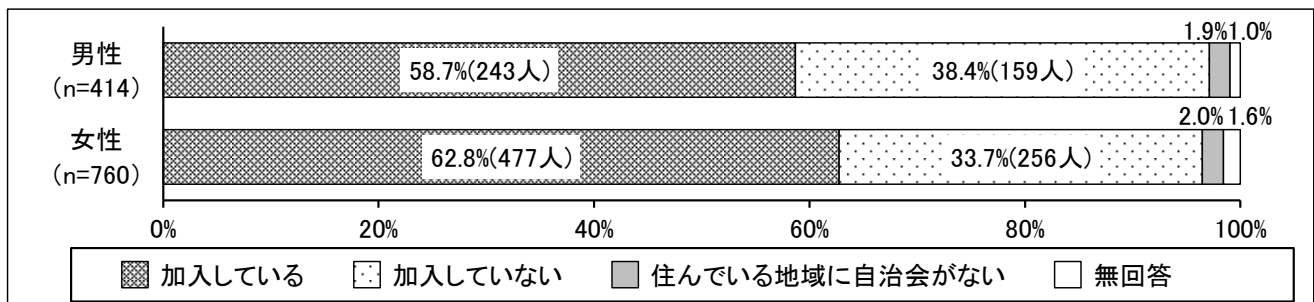
問12 あなた(あなたの世帯)は、自治会に加入していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表4-4-1 地域の自治会への加入状況>(全体)



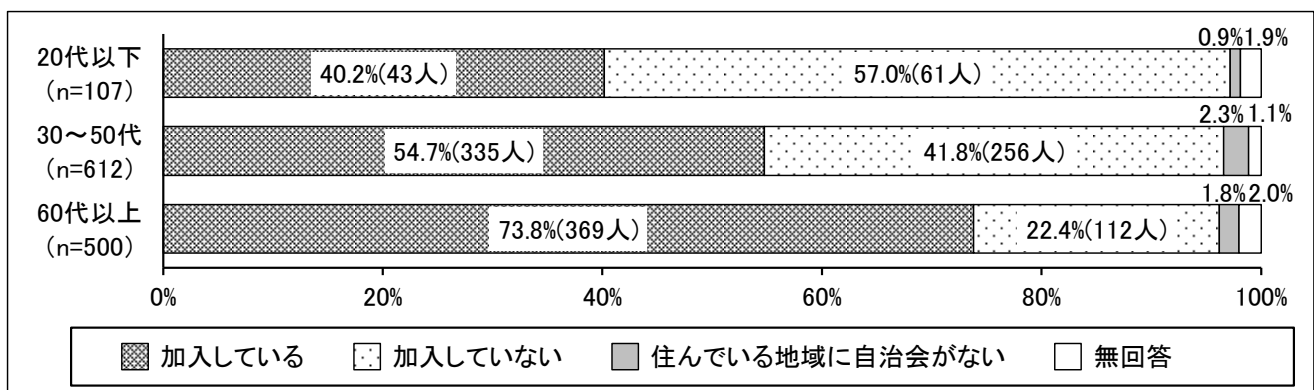
- ・「加入している」は6割となっている。
- ・未加入は1/3程度となっている。

<図表4-4-2 地域の自治会への加入状況>(性別)



- ・加入、未加入の状況について、男女差はほとんどみられない。

<図表4-4-3 地域の自治会への加入状況>(年代別)



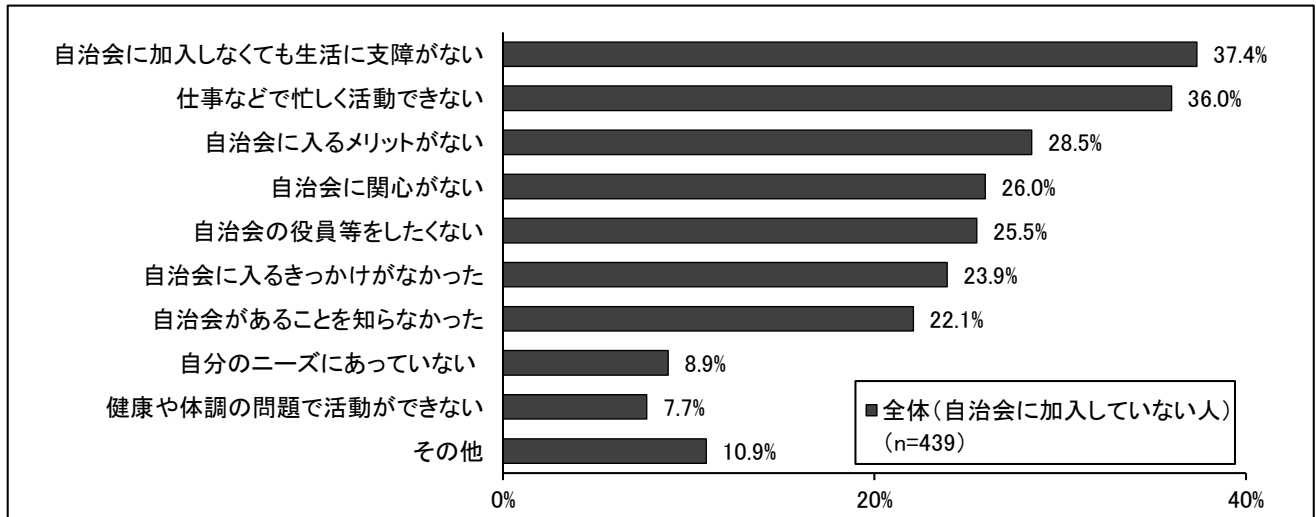
- ・「加入している」の割合は年代が高まるほど高くなっている(「加入していない」の割合は年代が低くなるほど高くなっており、「20代以下」は約6割となっている。)

4-5 自治会に加入していない理由(加入していない人が回答)

◇第1位は「自治会に加入しなくても生活に支障がない」、第2位は「仕事などで忙しく活動できない」
第3位は「自治会に入るメリットがない」

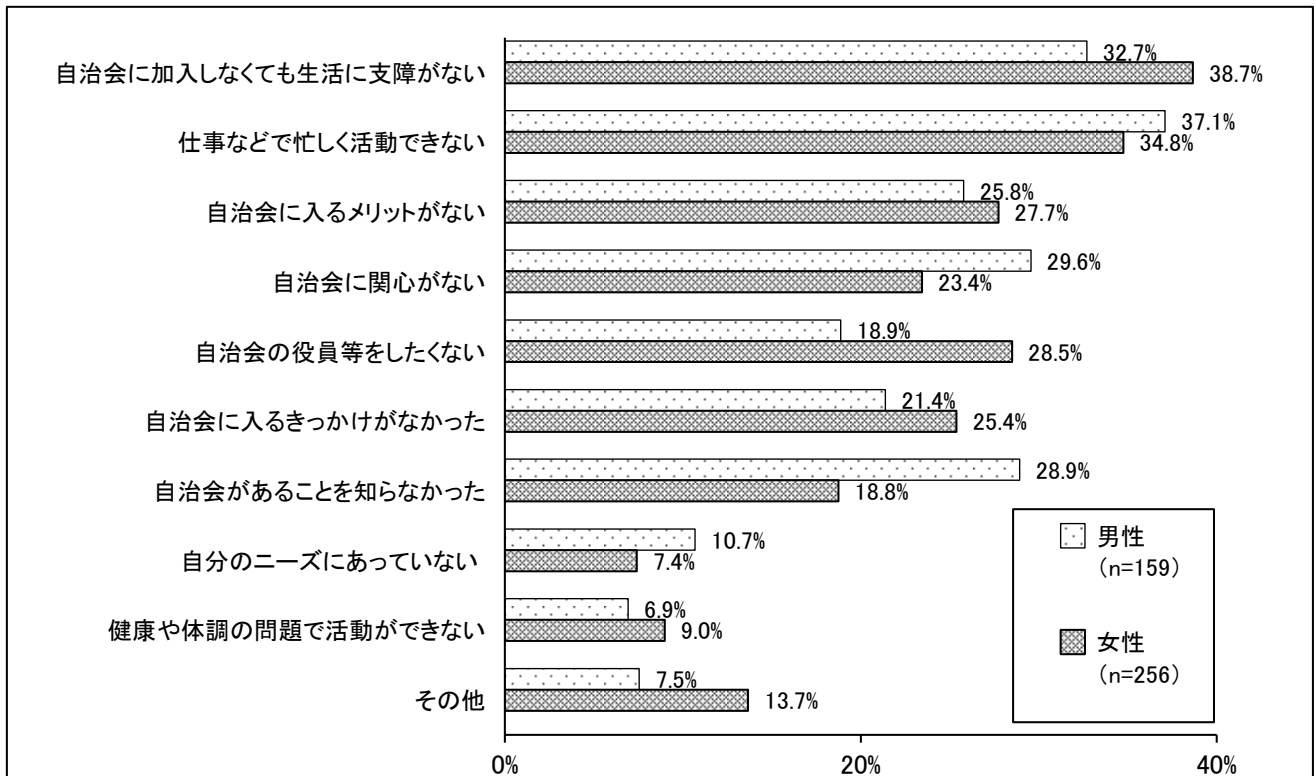
問13 問12で「加入していない」に○をつけた方におうかがいします。
あなた(あなたの世帯)が、自治会に加入していない理由はどのようなことですか。
当てはまる番号全てに○をつけてください。

<図表4-5-1 自治会に加入していない理由>(全体)



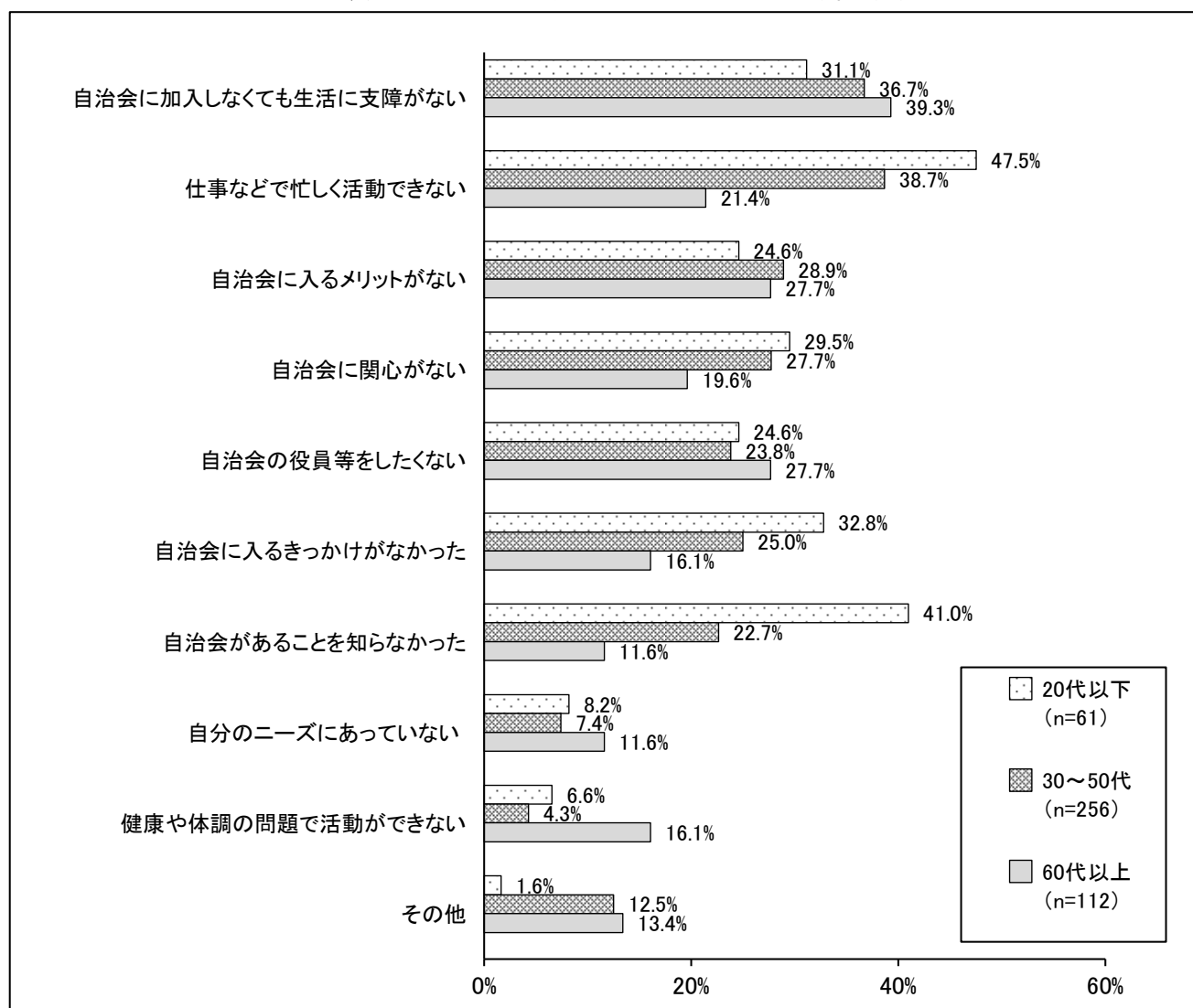
・「自治会に加入しなくても生活に支障がない」の割合が37.4%で最も高く、次いで「仕事などで忙しく活動できない」(36.0%)、「自治会に入るメリットがない」(28.5%)などが続いている。

<図表4-5-2 自治会に加入していない理由>(性別)



・男女とも全体とほぼ同じ傾向を示している。
・その中で、男性は「自治会があることを知らなかった」(28.9%)、女性は「自治会の役員等をしたくない」(28.5%)の割合が高くなっている。

＜図表4-5-3 自治会に加入していない理由＞（年代別）



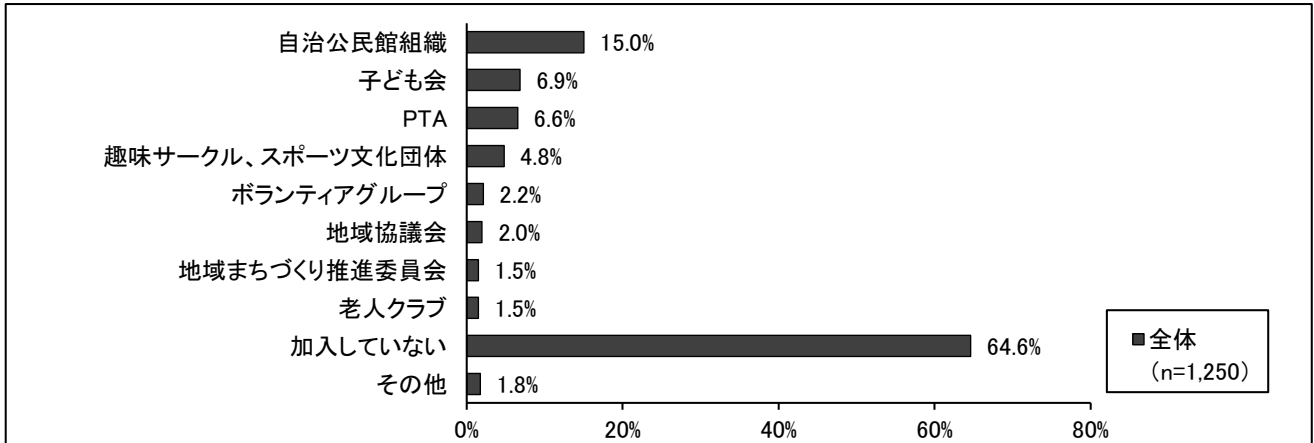
- 各年代とも全体と同じ傾向を示している。
- その中で、「20代以下」は「自治会があることを知らなかった」(41.0%)、「30～50代」は「仕事などで忙しく活動できない」(38.7%)、「60代以上」は「自治会に加入しなくても生活に支障がない」(39.3%)の割合が高くなっている。

4-6 地域で活動する地域団体等への加入状況

- ◇「加入していない」が3人に2人
- ◇加入率は「自治公民館組織」(15.0%)が第1位
- ◇各地域団体等への加入率は10%以下がほとんど

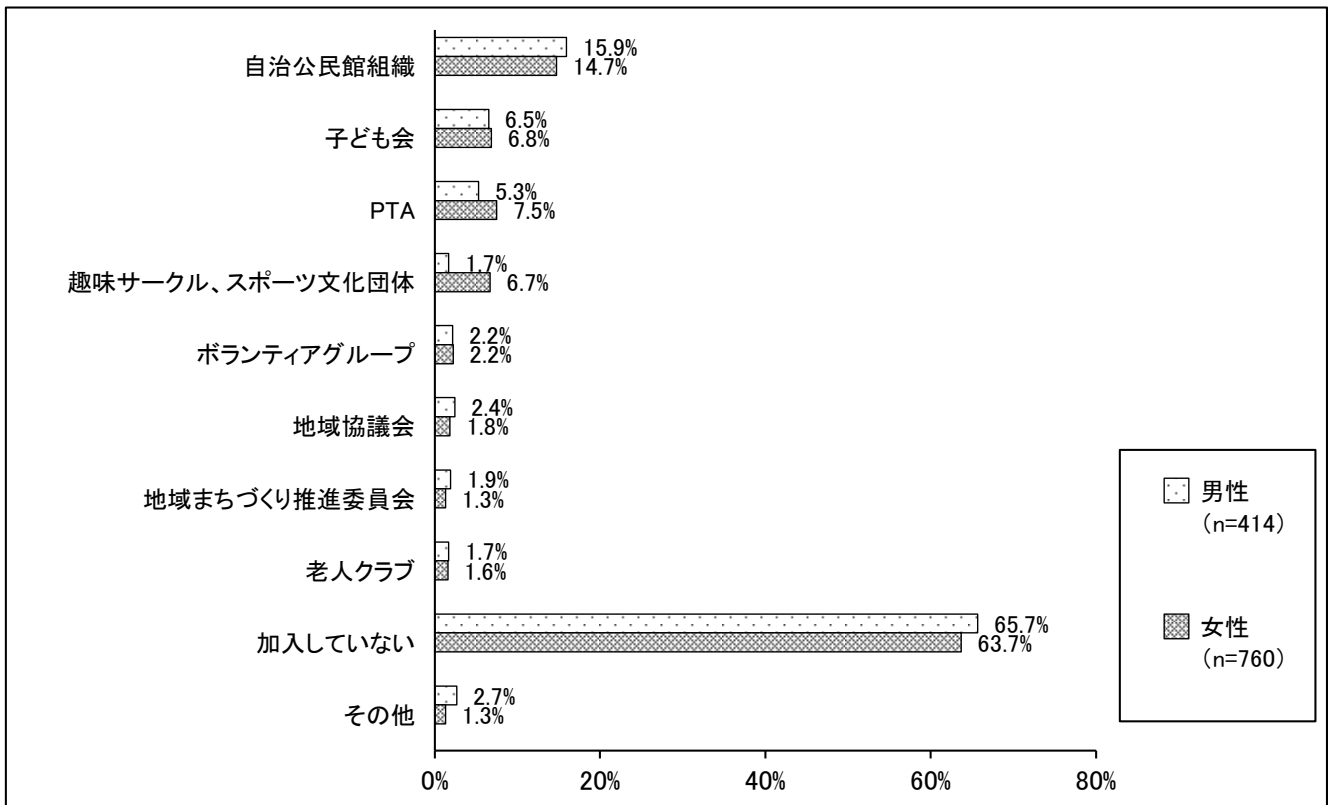
問14 あなたは、地域で活動する地域団体等に参加していますか。
当てはまる番号全てに○をつけてください。(自治会を除く。)

<図表4-6-1 地域で活動する地域団体等への加入状況>(全体) ※複数回答



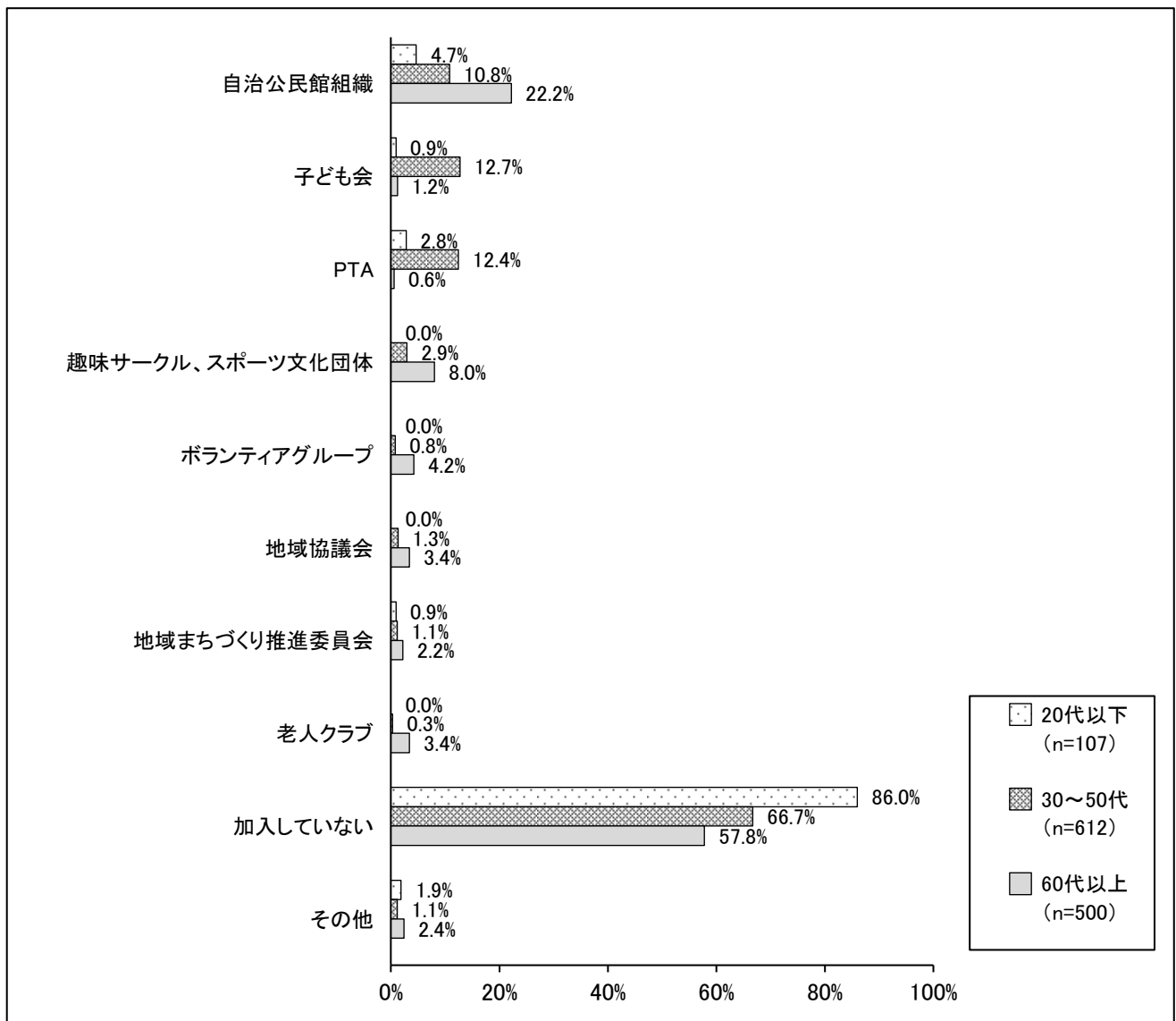
- ・加入は「自治公民館組織」の割合が15.0%で最も高く、他は10%以下となっている。
- ・なお、「加入していない」(64.6%)は3人に2人となっている。

<図表4-6-2 地域で活動する地域団体等への加入状況>(性別) ※複数回答



- ・男女とも全体とほぼ同じ傾向を示している。

<図表4-6-3 地域で活動する地域団体等への加入状況> (年代別) ※複数回答



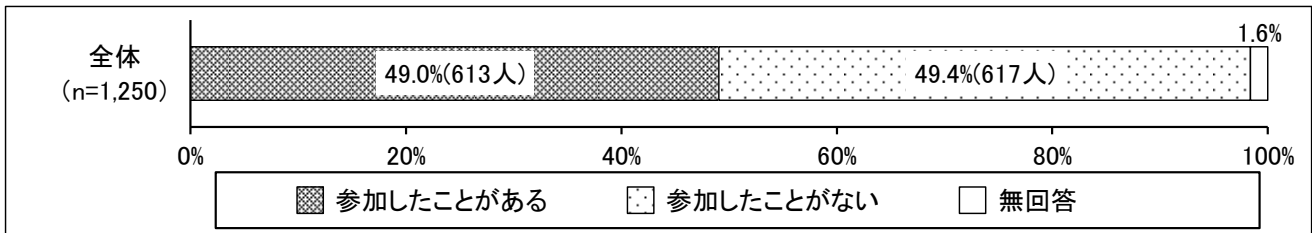
- 各年代とも全体とほぼ同じ傾向を示している。
- その中で「自治公民館組織」への加入割合は、年代が高まるほど高くなっている。

4-7 地域団体等が実施する活動への参加状況

- ◇「参加したことがある」は半数
- ◇参加率は男性より女性が高い
- ◇「20代以下」の不参加は7割

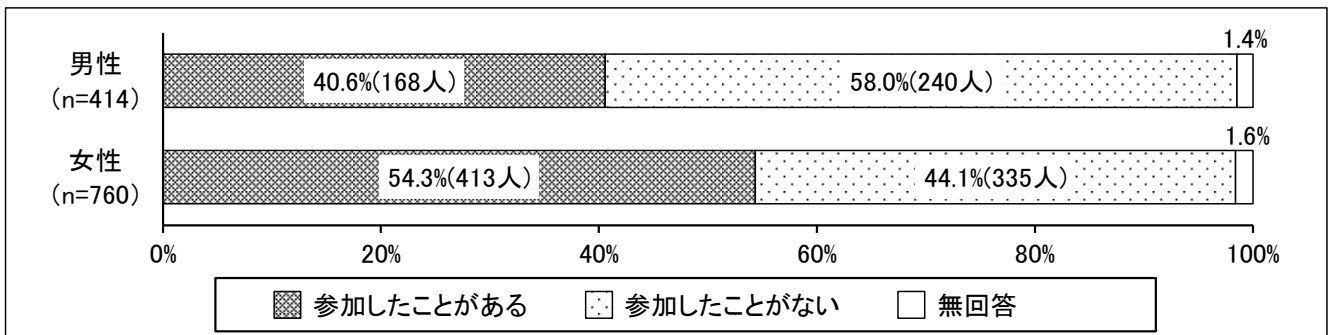
問15 あなたは、自治会や地域まちづくり推進委員会などの各種地域団体等が実施する地域活動に参加したことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

＜図表4-7-1 地域団体等が実施する活動への参加状況＞(全体)



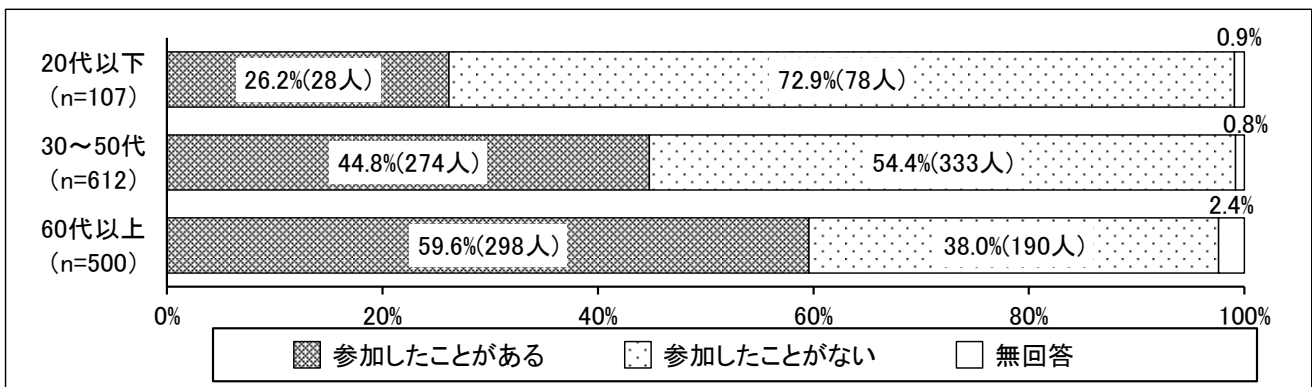
・「参加したことがある」の割合は半数となっている(2人に1人)。

＜図表4-7-2 地域団体等が実施する活動への参加状況＞(性別)



・「参加したことがある」の割合(参加率)は女性(54.3%)が男性(40.6%)を13.7ポイント上回っている。

＜図表4-7-3 地域団体等が実施する活動への参加状況＞(年代別)



- ・「参加したことがある」の割合は年代が高まるほど高くなっている。
- ・20代以下は「参加したことがない」(不参加)が7割となっている。

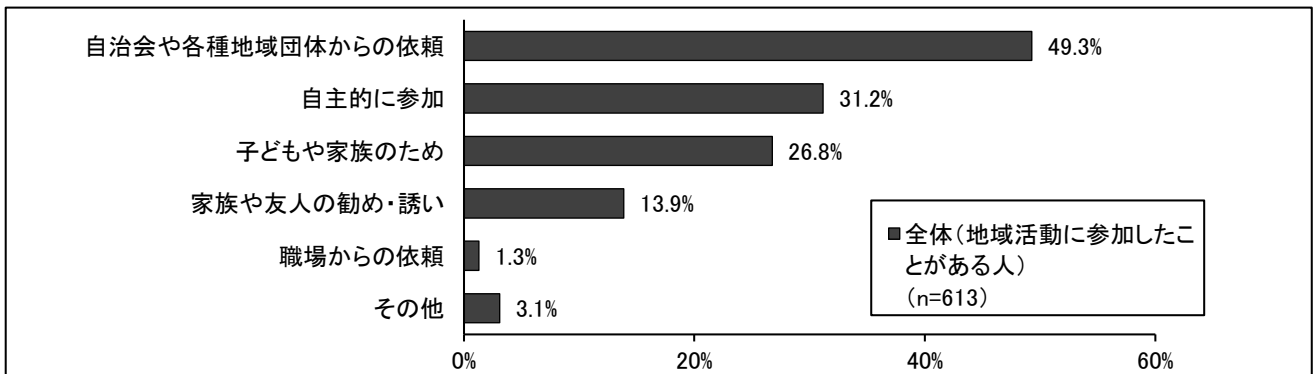
4-8 地域活動に参加した動機やきっかけ(参加したことがある人が回答)

◇「自治会や各種地域団体からの依頼」が5割

◇「20代以下」は「家族や友人の勧め・誘い」が7割

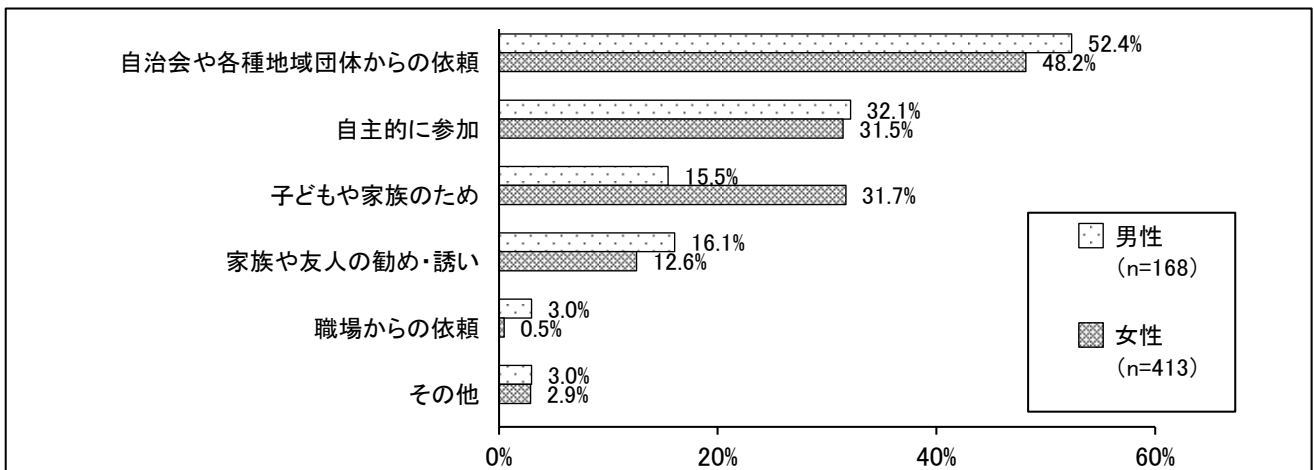
問16 問15で「参加したことがある」に○をつけた方におうかがいします。
あなたが、地域活動に参加したきっかけや動機は何ですか。当てはまる番号全てに○をつけてください。

＜図表4-8-1 地域団体等が実施する活動への参加状況＞(全体) ※複数回答



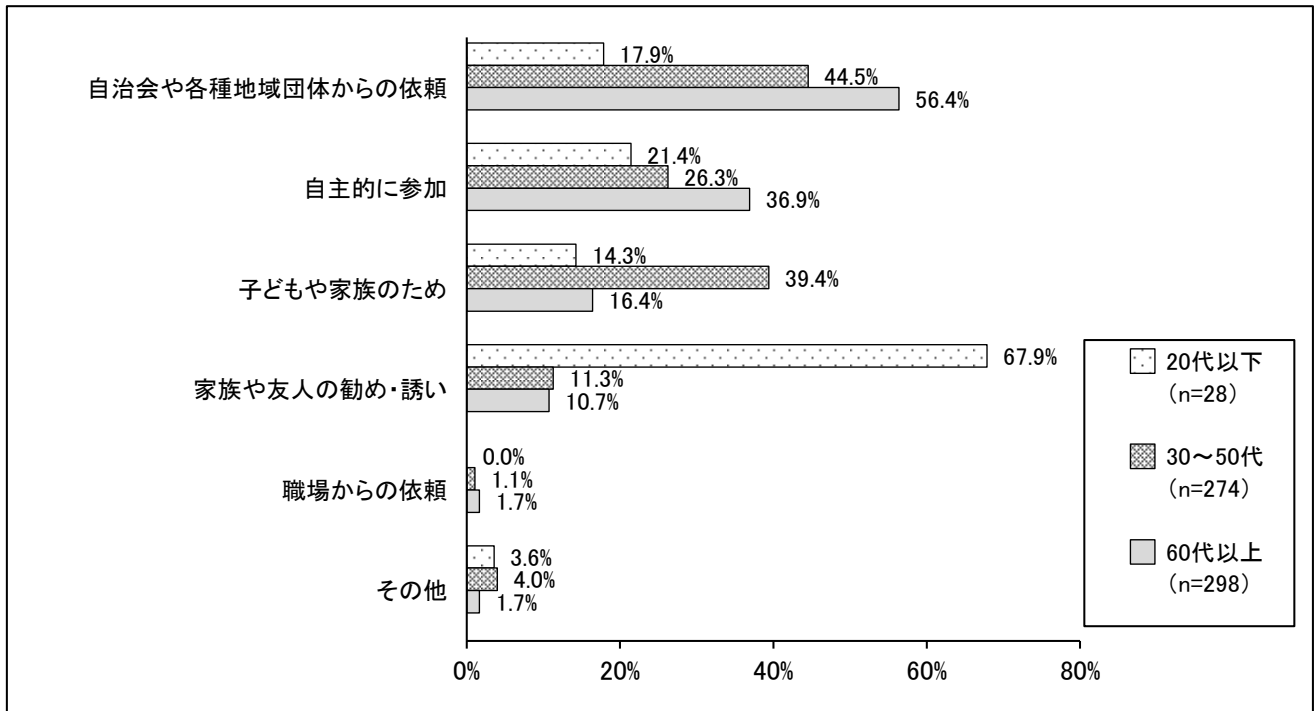
- ・「自治会や各種地域団体からの依頼」の割合が5割となっている。
- ・「自主的に参加」は3割となっている。

＜図表4-8-2 地域団体等が実施する活動への参加状況＞(性別) ※複数回答



- ・男女とも全体とほぼ同じ傾向を示している。

＜図表4-8-3 地域団体等が実施する活動への参加状況＞（年代別） ※複数回答



- ・「30～50代」と「60代以上」は全体とほぼ同じ傾向を示している。その中で、「30～50代」は「子どもや家族のため」の割合(39.4%)が高い。
- ・「20代以下」は「家族や友人の勧め・誘い」が約7割で最も高くなっている。

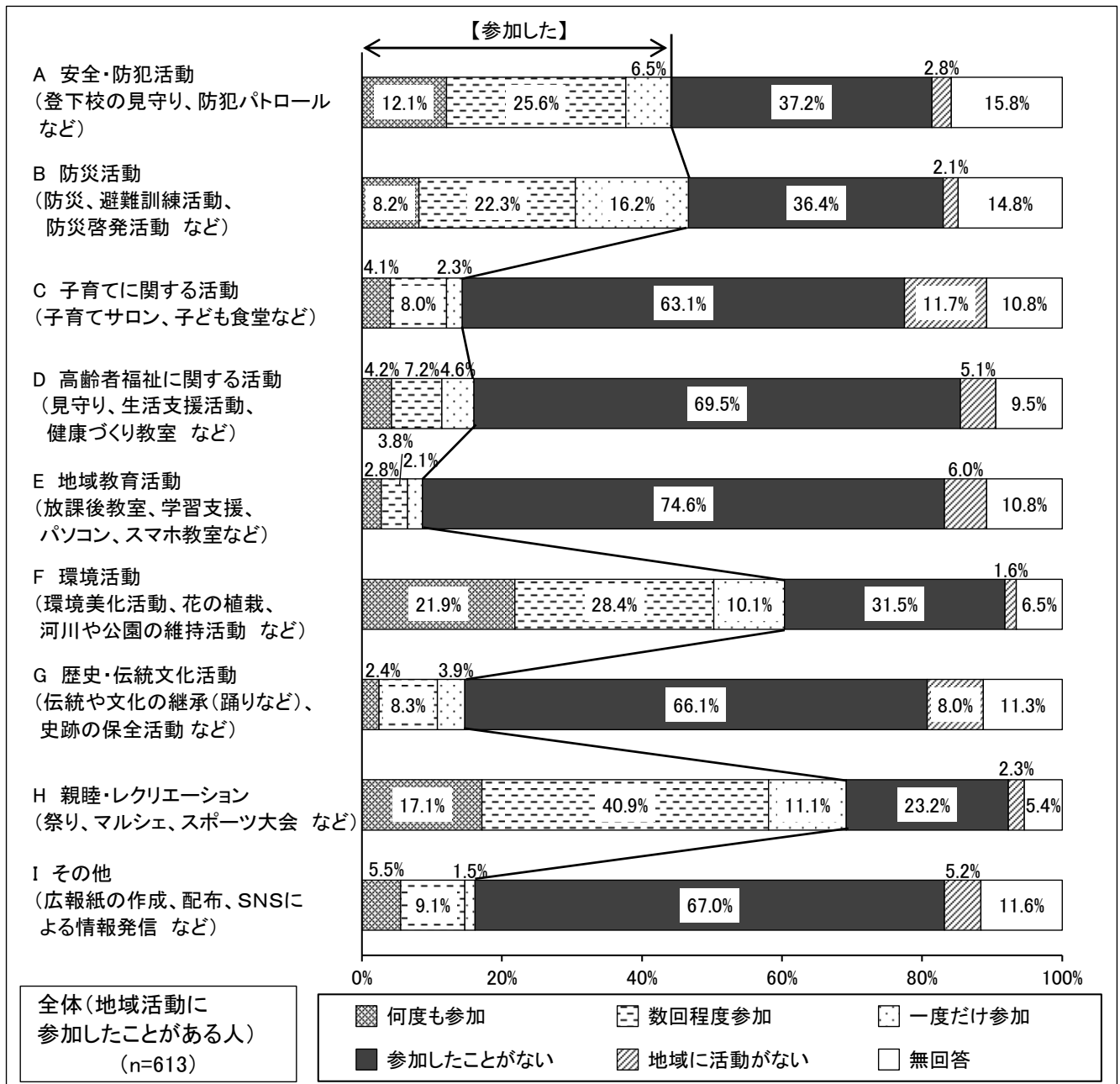
4-9 地域活動への参加の回数(参加したことがある人が回答)

◇「参加した」の割合が最も高い活動は、男女別、年代別でも「H 親睦・レクリエーション」

◇全体的には「数回程度参加」の割合が高い

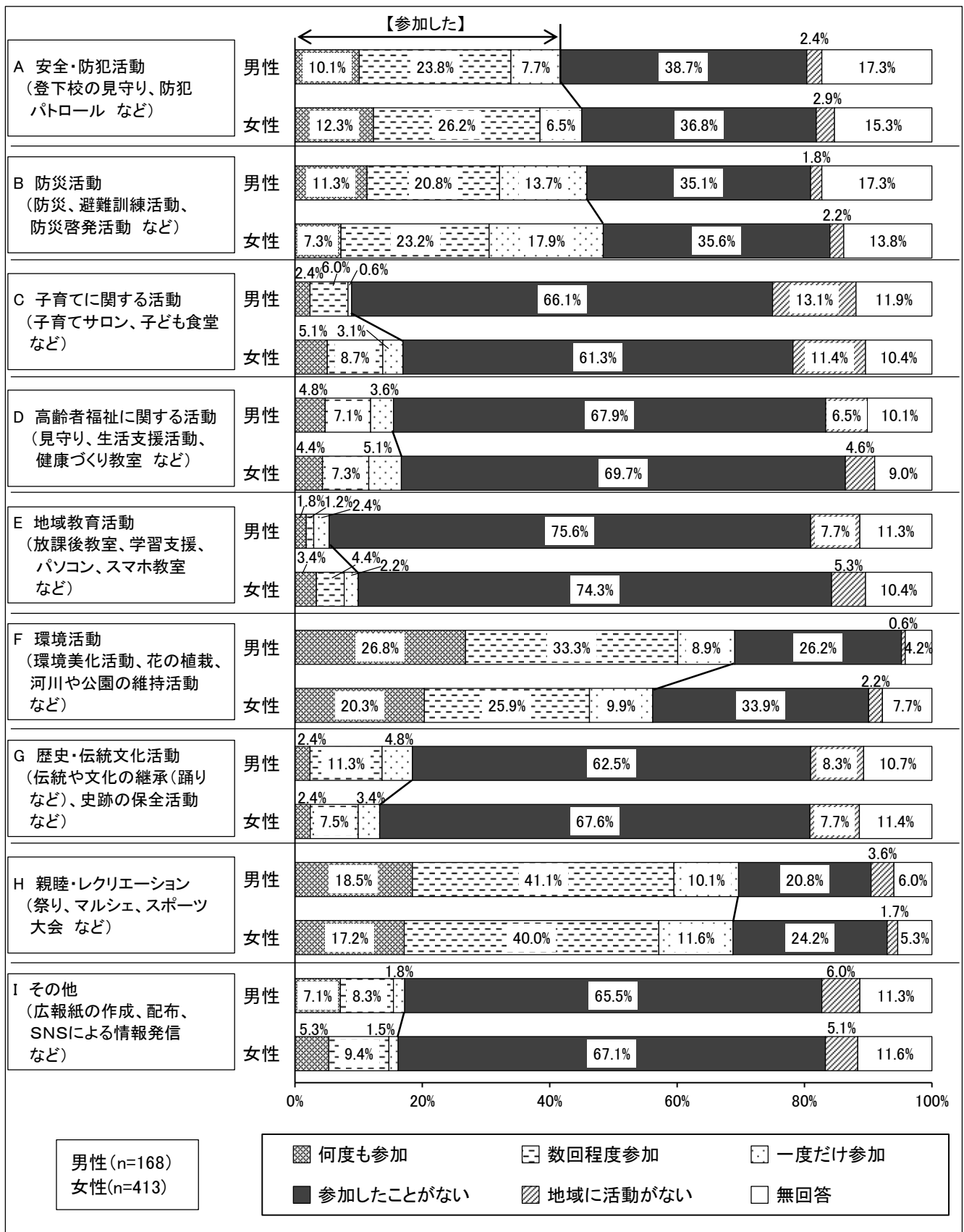
問17 問15で「参加したことがある」に○をつけた方におうかがいします。
あなたの地域活動への参加頻度について、次のそれぞれの項目で当てはまる番号に○をつけてください。

<図表4-9-1 地域活動への参加の回数>(全体)



- ・「参加した」(「何度も参加」「数回程度参加」「一度だけ参加」の計:以下同じ)の割合は、「H 親睦・レクリエーション」(69.1%)が最も高く、次いで「F 環境活動」(60.4%)、「B 防災活動」(46.7%)が続いている。
- ・このような中で「何度も参加」の割合が最も高い活動は「F 環境活動」(21.9%)となっている。
- ・A～Iの活動の参加回数は、全体的には「数回程度参加」の割合が高くなっている。

＜図表4-9-2 地域活動への参加の回数＞（性別）



- ・「参加した」の割合は男女とも全体とほぼ同じ傾向を示している。
- ・その中で男女差が最も大きい活動は「F 環境活動」であり、「参加した」割合は、男性(69.0%)が女性(56.1%)を12.9ポイント上回っている。
- ・また、男女差が最も小さい(差が0.9ポイント…男性:69.7%、女性:68.8%)活動は「H 親睦・レクリエーション」となっている。

<図表4-9-3 地域活動への参加の回数> (年代別)



- ・「参加した」の割合は各年代とも全体とほぼ同じ傾向を示している。
- ・その中で「H 親睦・レクリエーション」の「参加した」の割合は、各年代とも7割で最も高くなっている。
- ・次に、年代別に「参加した」割合が高い活動は「20代以下」(57.2%)と「60代以上」(66.2%)は「F 環境活動」、「30~50代」(59.8%)は「A 安全・防犯活動」となっている。

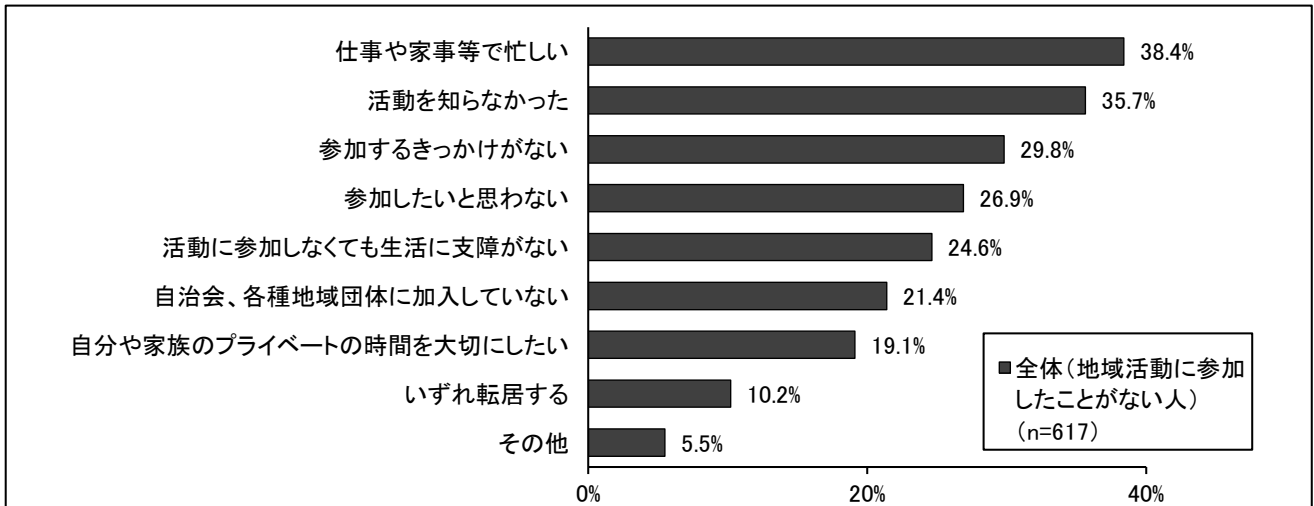
4-10 地域活動に参加しない理由(参加したことがない人が回答)

◇「仕事や家事等で忙しい」が最も多い

◇「60代以上」は「自治会、各種地域団体に加入していない」が4人に1人

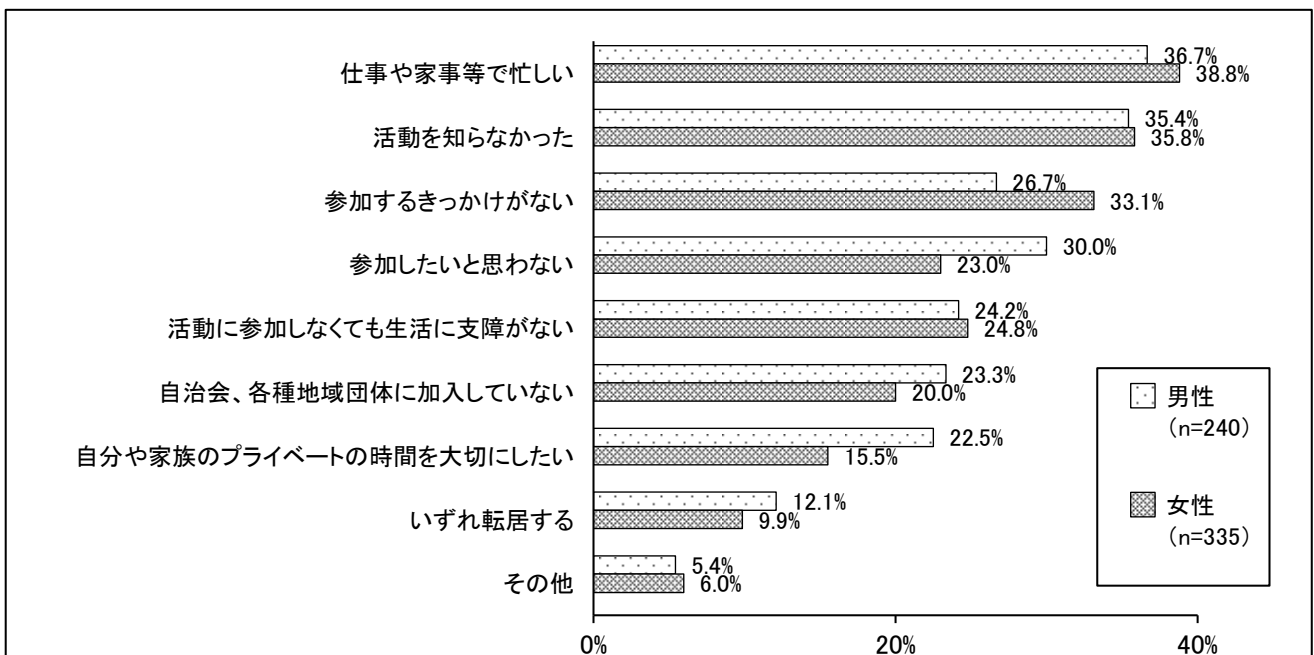
問18 問15で「参加したことがない」に○をつけた方におうかがいします。
あなたが、地域活動に参加しない(できない)理由は何ですか。当てはまる番号全てに○をつけてください。

<図表4-10-1 地域活動に参加しない理由>(全体) ※複数回答



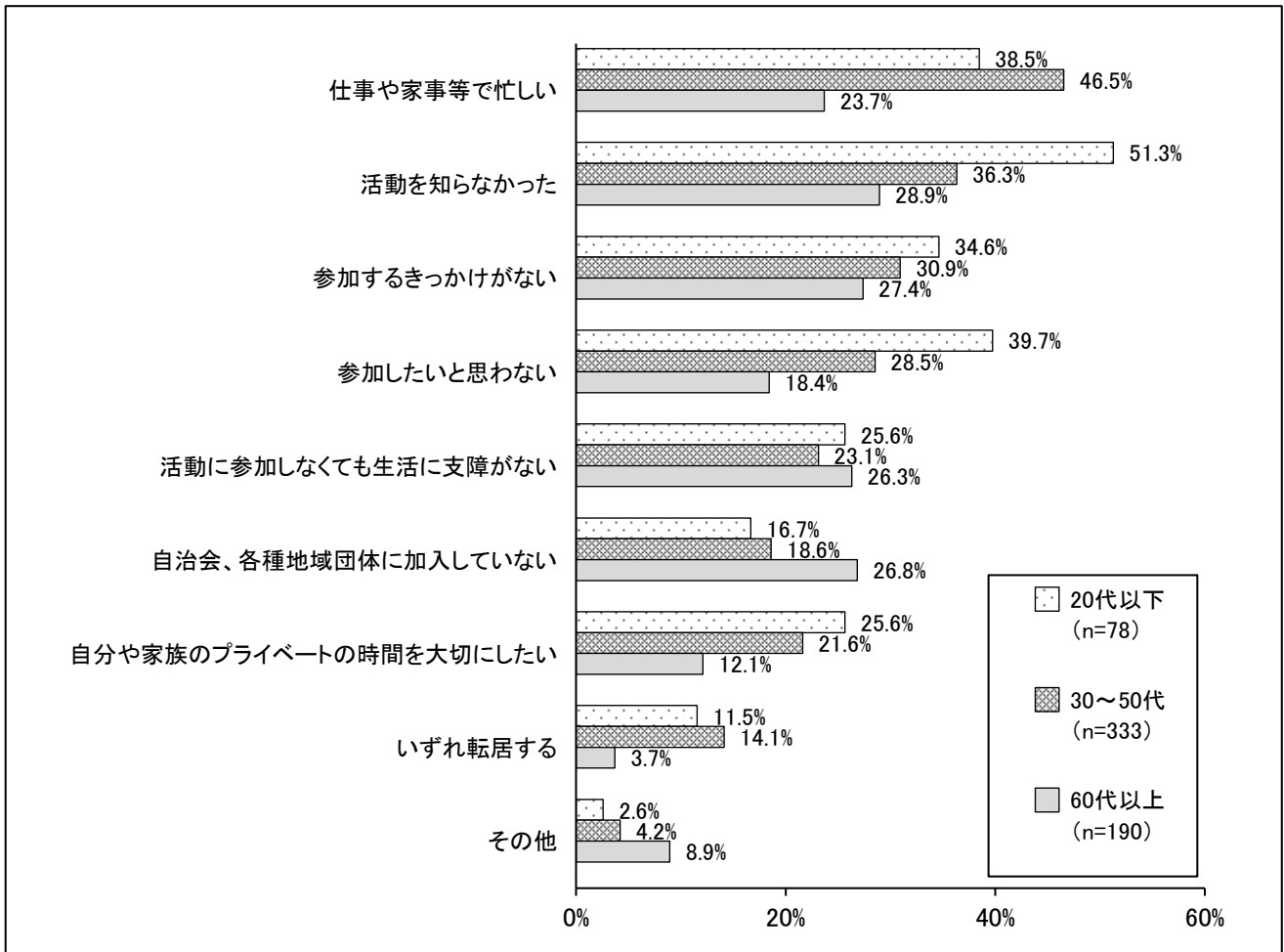
・「仕事や家事等で忙しい」の割合(38.4%)が最も高くなっている。次に「活動を知らなかった」(35.7%)、「参加するきっかけがない」(29.8%)などが続いている。

<図表4-10-2 地域活動に参加しない理由>(性別) ※複数回答



・男女とも全体とほぼ同じ傾向を示している。
・その中で、「参加したいと思わない」が男性(30.0%)は女性(23.0%)を7.0ポイント上回っている。一方、女性は「参加するきっかけがない」で男性を6.4ポイント(女性:33.1%、男性:26.7%)上回っている。

<図表4-10-3 地域活動に参加しない理由>(年代別) ※複数回答



- ・「20代以下」と「30~50代」は全体とほぼ同じ傾向を示している。
- ・「60代以上」は「活動を知らなかった」(28.9%)の割合が最も高く、次に「自治会、各種地域団体に加入していない」(26.8%)が4人に1人となっている。

4-11 自治会、地域まちづくり推進委員会、各種地域団体が行う活動・事業についての重要度、満足度 ～CS分析～

○CS分析とは

①CS分析(顧客満足度分析)とは、「Customer Satisfaction」の略で「顧客満足」という意味で、自治会、地域まちづくり推進委員会、各種地域団体が行う活動・事業に対する「満足度」と「重要度」から優先的改善項目を把握する手法のことである。

「満足度」及び「重要度」を下記に記載する基準で点数化し、項目ごとの平均点を算出し、散布図に整理した。(4つのグループ化)

②CS分析点数化の基準

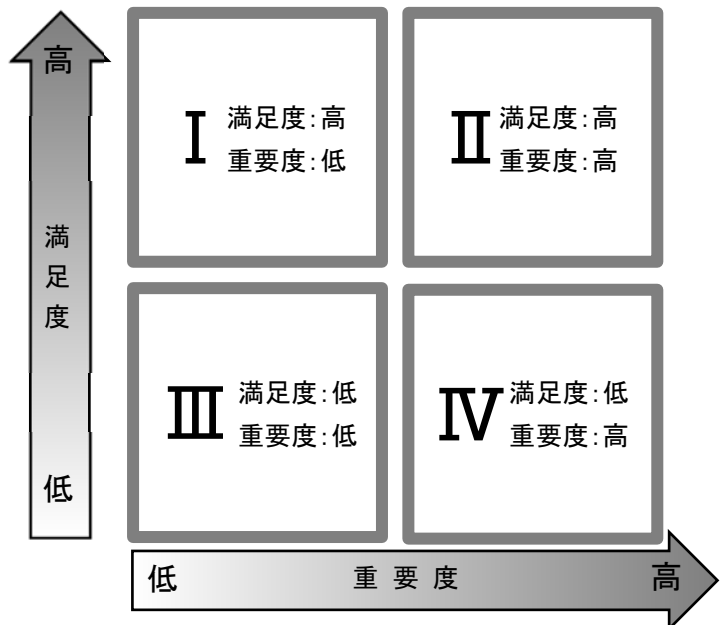
自治会、地域まちづくり推進委員会、 各種地域団体が行う活動・事業の重要度		自治会、地域まちづくり推進委員会、 各種地域団体が行う活動・事業の満足度	
「重要である」・「やや重要である」	100点	「満足・十分である」・「やや満足である」	100点
「あまり重要でない」・「重要でない」	0点	「やや不満である」・「不満・不十分である」	0点

<重要度・満足度の平均点 ※P37より>

	重要度 平均点	満足度 平均点
安全・防犯活動	96.2	78.3
防災活動	97.6	70.8
子育てに関する活動	86.5	60.3
高齢者福祉に関する活動	93.8	68.8
地域教育活動	77.5	66.1
環境活動	89.9	78.3
歴史・伝統文化活動	74.8	70.9
親睦・レクリエーション	71.5	74.4
その他(広報紙の作成、配布、SNSによる情報発信など)	72.6	77.2
全体	84.5	71.8

③4つのグループ

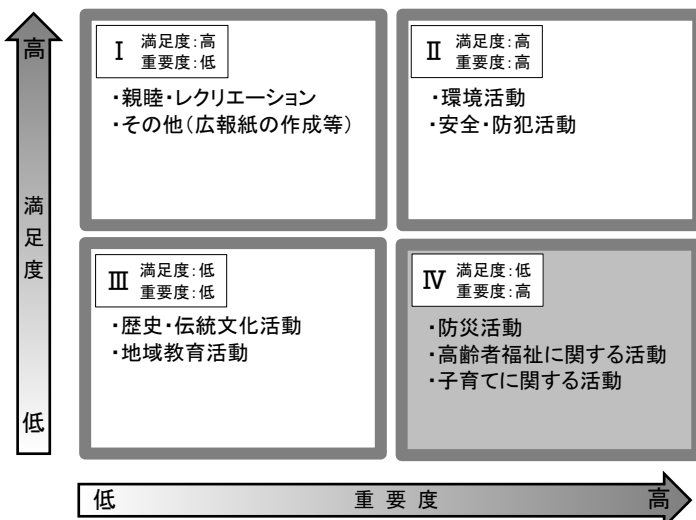
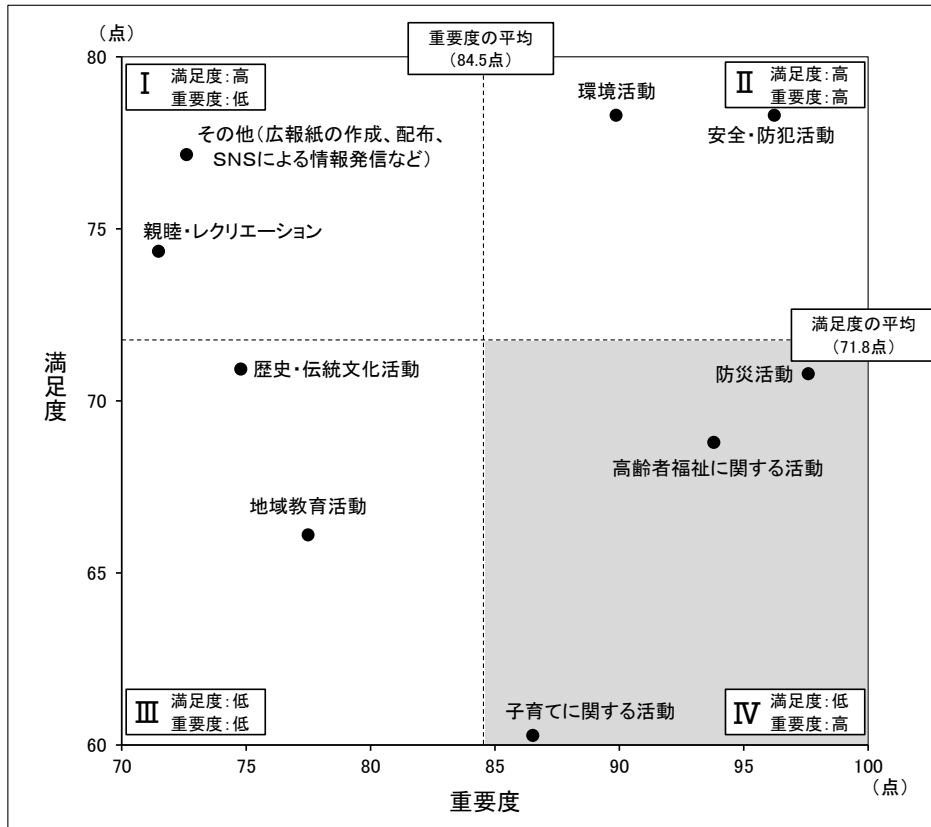
I 満足度が高く、重要度が低い分野(活動)
II 満足度が高く、重要度も高い分野(活動)
III 満足度が低く、重要度も低い分野(活動)
IV 満足度が低く、重要度が高い分野(活動)



◇今後、取組の優先度の高い分野は、全体・性別・年代別ともほぼ共通して「防災活動」「高齢者福祉に関する活動」「子育てに関する活動」

問19 あなたのお住まいの地域の自治会、地域まちづくり推進委員会、各種地域団体が行う活動・事業について、あなたが考える活動等の重要度、満足度をそれぞれの項目で当てはまる番号に○をつけてください。

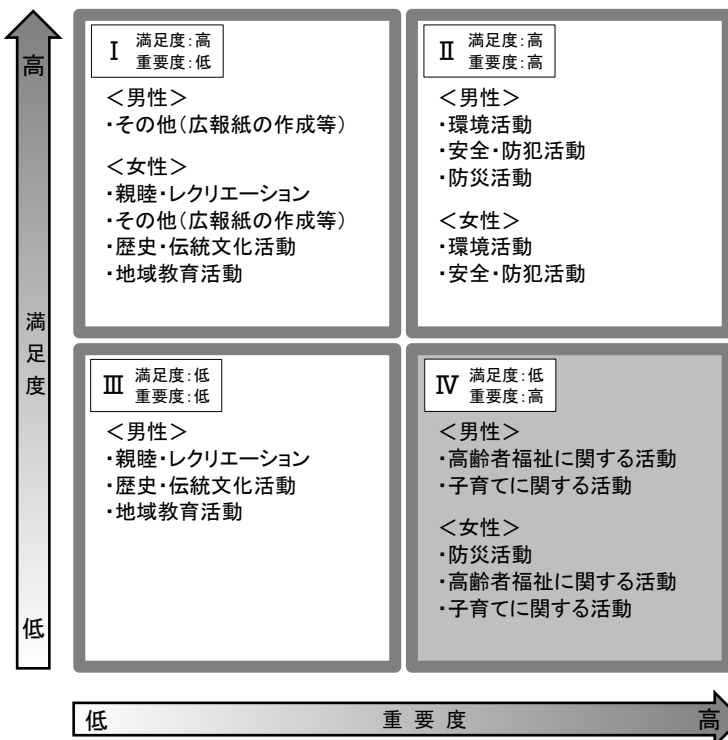
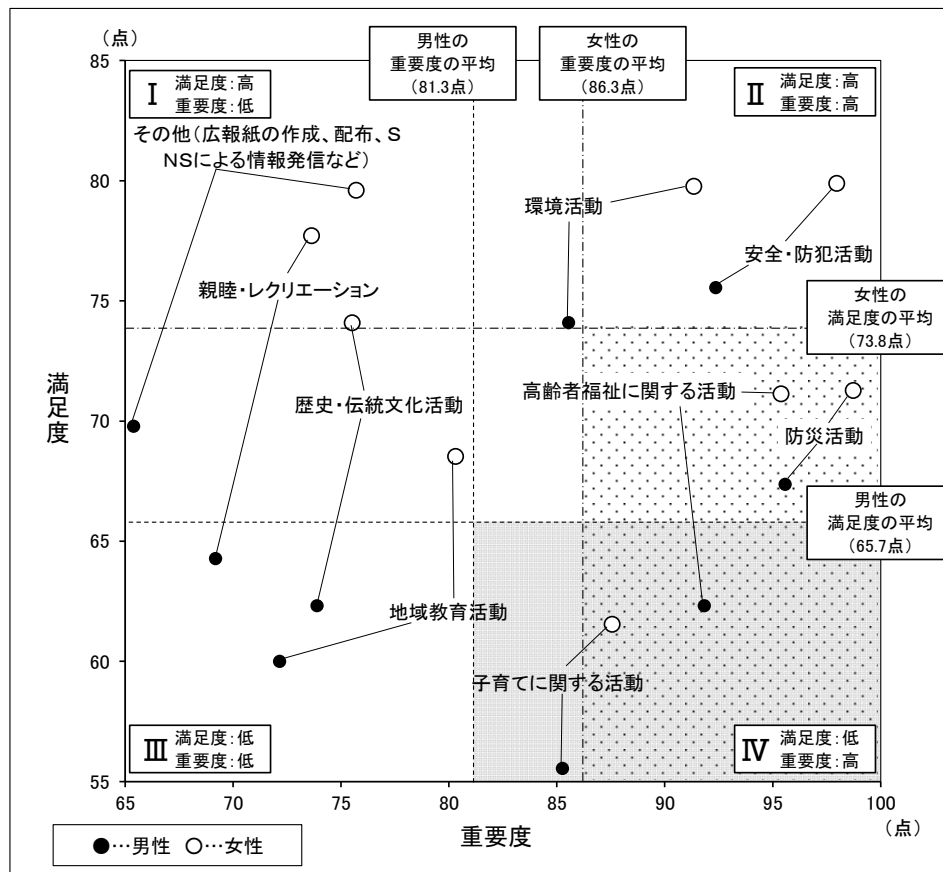
<図表4-11-1 自治会、地域まちづくり推進委員会、各種地域団体が行う活動・事業の重要度、満足度> (全体)



	重要度 平均点	満足度 平均点
安全・防犯活動	96.2	78.3
防災活動	97.6	70.8
子育てに関する活動	86.5	60.3
高齢者福祉に関する活動	93.8	68.8
地域教育活動	77.5	66.1
環境活動	89.9	78.3
歴史・伝統文化活動	74.8	70.9
親睦・レクリエーション	71.5	74.4
その他(広報紙の作成、配布、SNSによる情報発信など)	72.6	77.2
全体	84.5	71.8

- ・満足度の高い分野は「II 環境活動、安全・防犯活動」、「I 親睦・レクリエーション、その他(広報紙の作成、配布、SNSによる情報発信など)」となっている。
- 重要度が高くて満足度が低い分野(IV)は今後、取組の優先度が高い活動であり、<防災活動><高齢者福祉に関する活動><子育てに関する活動>となっている。

<図表4-11-2 自治会、地域まちづくり推進委員会、各種地域団体が行う活動・事業の重要度、満足度> (性別)

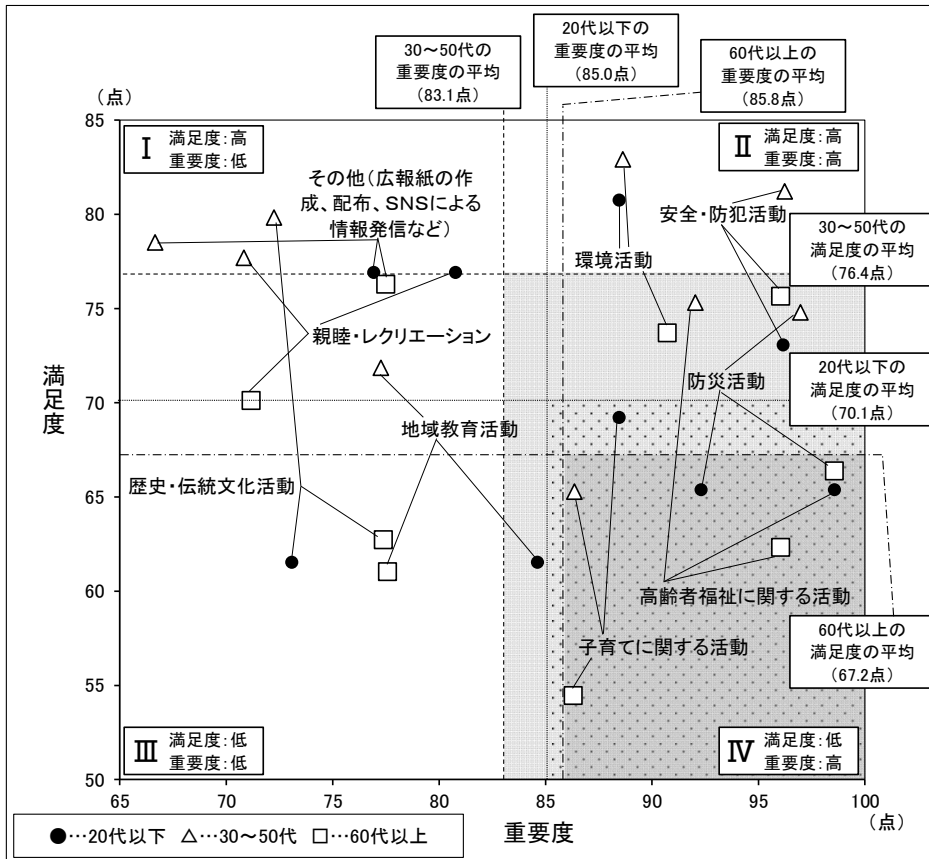


	男性		女性	
	重要度 平均点	満足度 平均点	重要度 平均点	満足度 平均点
安全・防犯活動	92.4	75.6	98.0	79.9
防災活動	95.6	67.4	98.7	71.3
子育てに関する活動	85.3	55.6	87.6	61.5
高齢者福祉に関する活動	91.8	62.3	95.4	71.1
地域教育活動	72.2	60.0	80.3	68.5
環境活動	85.5	74.1	91.3	79.8
歴史・伝統文化活動	73.9	62.3	75.5	74.1
親睦・レクリエーション	69.2	64.3	73.6	77.7
その他(広報紙の作成、配布、SNSによる情報発信など)	65.4	69.8	75.7	79.6
全体	81.3	65.7	86.3	73.8

・満足度の高い分野は男女とも「I 環境活動、安全・防犯活動」「II その他(広報紙の作成、配布、SNSによる情報発信など)」となっている。このほか、男性は「I 防災活動」となっている。

→ 重要度が高く、満足度が低く、今後の取組の優先度高い分野(IV)で「男性」と「女性」が共通するのは、「高齢者福祉に関する活動」「子育てに関する活動」となっている。一方、「男性」と「女性」の違いは「防災活動(女性)」となっている。

<図表4-11-3 自治会、地域まちづくり推進委員会、各種地域団体が行う活動・事業の重要度、満足度> (年代別)



高

満足度

低

低 重要度 高

Ⅰ 満足度:高 重要度:低

<20代以下>

- ・親睦・レクリエーション
- ・その他(広報誌の作成等)

<30~50代>

- ・親睦・レクリエーション
- ・歴史・伝統文化活動
- ・その他(広報誌の作成等)

<60代以上>

- ・親睦・レクリエーション
- ・その他(広報誌の作成等)

Ⅱ 満足度:高 重要度:高

<20代以下>

- ・環境活動
- ・安全・防犯活動

<30~50代>

- ・環境活動
- ・安全・防犯活動

<60代以上>

- ・環境活動
- ・安全・防犯活動

Ⅲ 満足度:低 重要度:低

<20代以下>

- ・歴史・伝統文化活動
- ・地域教育活動

<30~50代>

- ・地域教育活動

<60代以上>

- ・歴史・伝統文化活動
- ・地域教育活動

Ⅳ 満足度:低 重要度:高

<20代以下>

- ・子育てに関する活動
- ・防災活動
- ・高齢者福祉に関する活動

<30~50代>

- ・高齢者福祉に関する活動
- ・防災活動
- ・子育てに関する活動

<60代以上>

- ・高齢者福祉に関する活動
- ・防災活動

	20代以下		30~50代		60代以上	
	重要度 平均点	満足度 平均点	重要度 平均点	満足度 平均点	重要度 平均点	満足度 平均点
安全・防犯活動	96.2	73.1	96.2	81.2	96.0	75.7
防災活動	92.3	65.4	97.0	74.8	98.6	66.4
子育てに関する活動	88.5	69.2	86.4	65.3	86.3	54.5
高齢者福祉に関する活動	98.6	65.4	92.0	75.3	96.0	62.3
地域教育活動	84.6	61.5	77.3	71.8	77.6	61.0
環境活動	88.5	80.8	88.6	82.9	90.7	73.7
歴史・伝統文化活動	73.1	61.5	72.2	79.8	77.4	62.7
親睦・レクリエーション	80.8	76.9	70.8	77.7	71.2	70.1
その他(広報紙の作成、配布、SNSによる情報発信など)	76.9	76.9	66.7	78.5	77.5	76.3
全体	85.0	70.1	83.1	76.4	85.8	67.2

・満足度の高い分野は全ての年代で「Ⅰ 環境活動、安全・防犯活動」「Ⅱ 親睦・レクリエーション、その他(広報紙の作成、配布、SNSによる情報発信など)」となっている。

→ ・重要度が高く、満足度が低く、今後の取組の優先度が高い分野(Ⅳ)は、全ての年代で共通している(「全体」と同じ)。

<地域活動の活性化の方策について>

4-12 身近な地域課題に対応する「地域」と「行政」のあり方

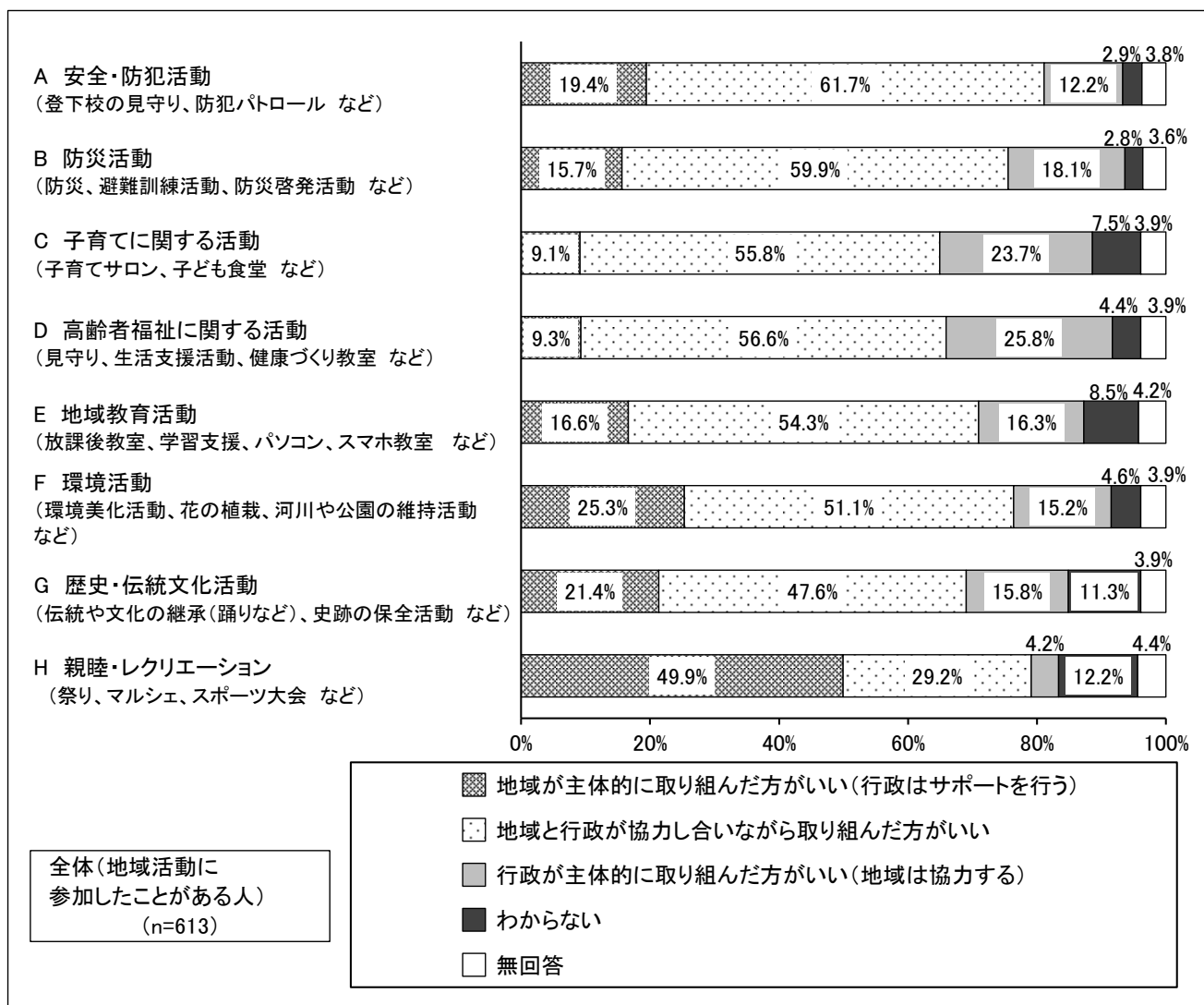
(参加したことがある人が回答)

◇ほとんどの地域活動は「地域と行政が協力」で対応が5割以上

◇「H 親睦・レクリエーション」は性別、年代別とも「地域が主体的」な対応が多い

問20 身近な地域課題について、地域で対応すべきか、地域と行政が協力して対応すべきか、行政が対応すべきか、次の活動について、あなたはどのように対応すべきと考えますか。それぞれ当てはまる番号に○をつけてください。

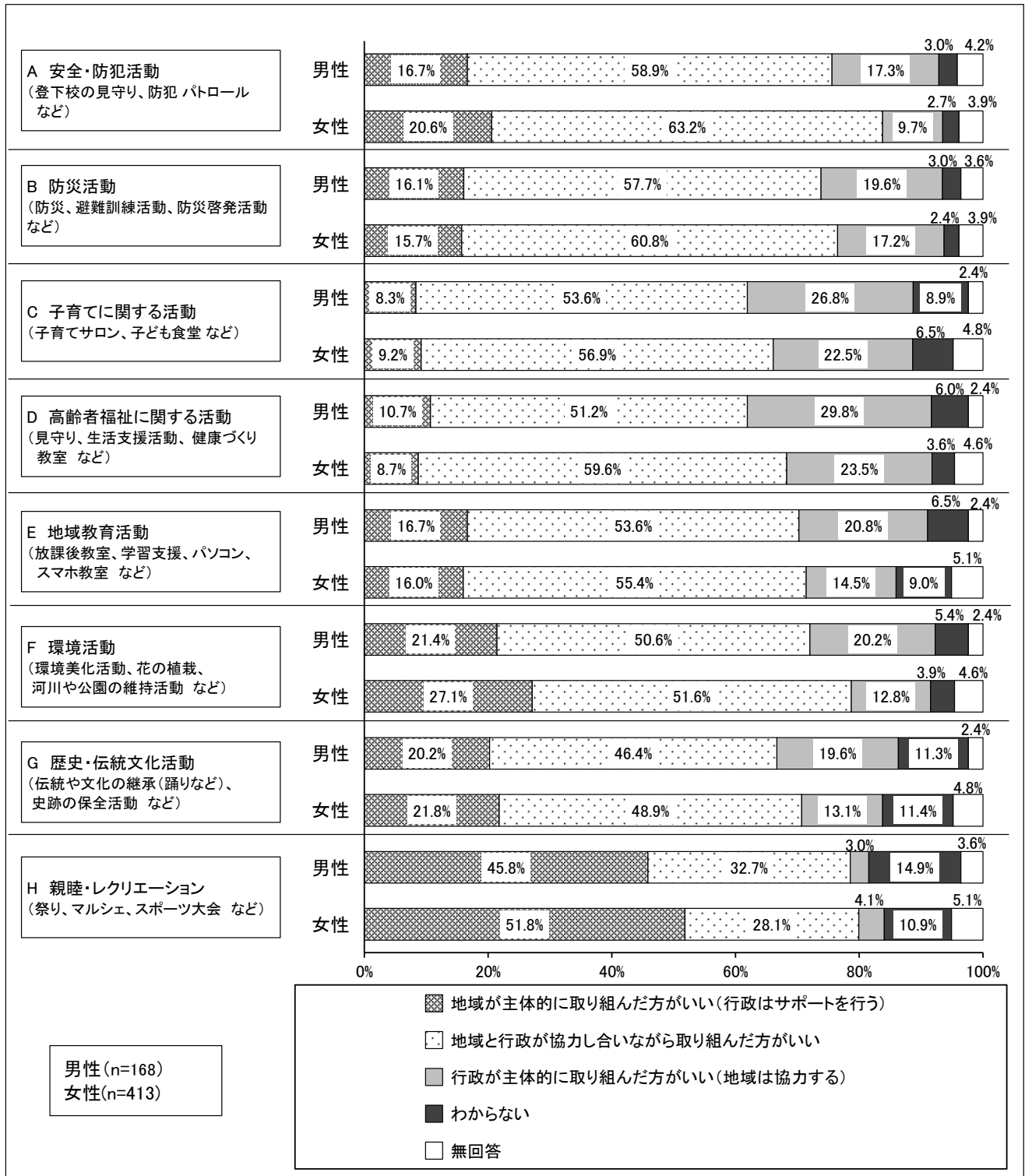
<図表4-12-1 身近な地域課題に対応する「地域」と「行政」のあり方>(全体)



※ ■ 地域が主体的に取り組んだ方がいい(行政はサポートを行う)は、「地域が主体的」
 □ 地域と行政が協力し合いながら取り組んだ方がいいは、「地域と行政が協力」
 ■ 行政が主体的に取り組んだ方がいい(地域は協力する)は、「行政が主体的」と記す

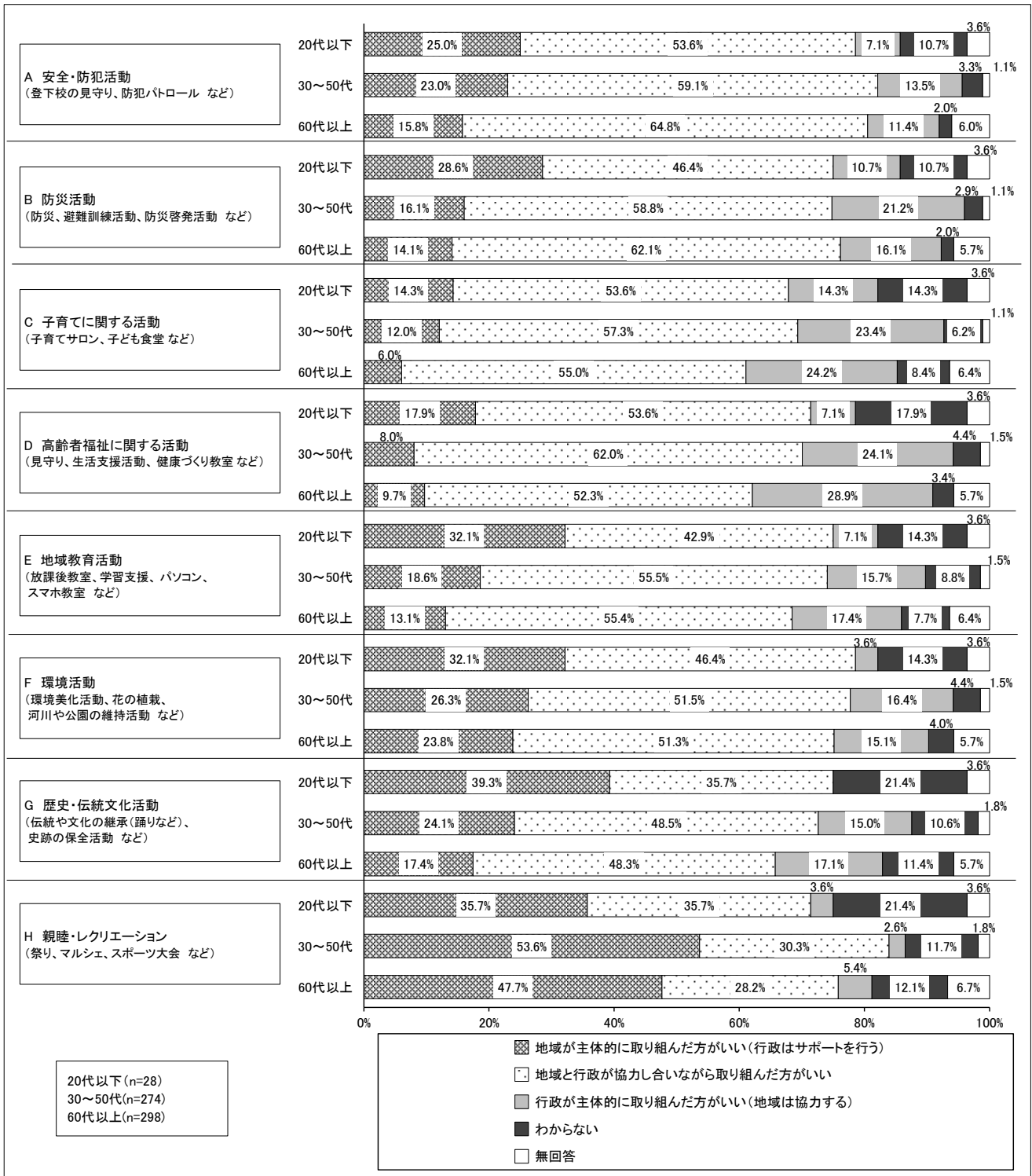
・ほとんどの地域活動は「地域と行政が協力」で対応が5割以上となっている。(ただし、「H 親睦・レクリエーション」を除く)
 ・その中で、「F 環境活動」と「G 歴史・伝統文化活動」については、「地域が主体的」な対応が「行政が主体的」を上回っている。

<図表4-12-2 身近な地域課題に対応する「地域」と「行政」のあり方> (性別)



- ・男女とも全体とほぼ同じ傾向を示している。
- ・その中で、「H 親睦・レクリエーション」については、「地域が主体」の割合(全体:49.9%)が最も高くなっている。特に女性(51.8%)は男性(45.8%)を6.0ポイント上回っており、男女差が最も大きい活動である。

<図表4-12-3 身近な地域課題に対応する「地域」と「行政」のあり方> (年代別)



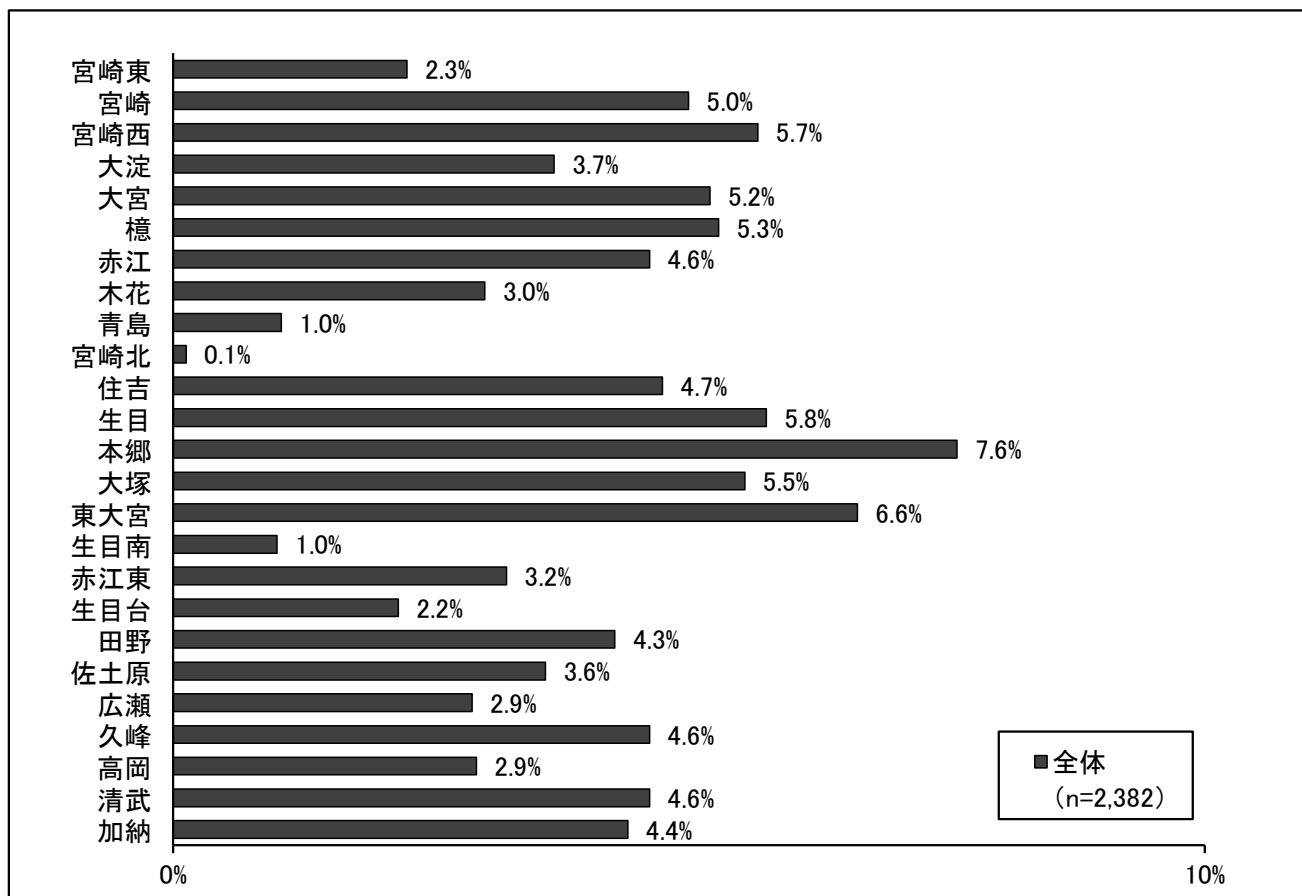
- ・各年代とも全体とほぼ同じ傾向を示している。
- ・その中で、各年代別・対応主体別の第1位は次のとおりとなっている。

年代	対応		地域が主体的		地域と行政		行政が主体的	
	主体	割合	主体	割合	主体	割合	主体	割合
20代以下	G 歴史・伝統文化活動	39.3%	A 安全・防犯活動	53.6%	C 子育てに関する活動	14.3%		
30~50代	H 親睦・レクリエーション	53.6%	D 高齢者福祉に関する活動	62.0%	D 高齢者福祉に関する活動	24.1%		
60代以上	H 親睦・レクリエーション	47.7%	A 安全・防犯活動	64.8%	D 高齢者福祉に関する活動	28.9%		

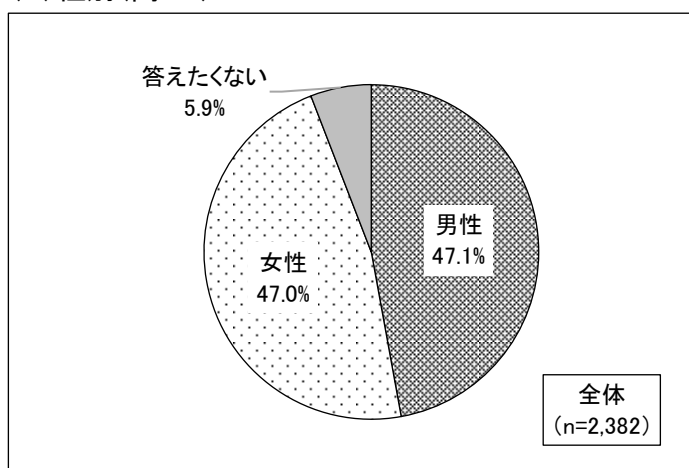
Ⅲ 中学生意識調査の結果

<回答者の属性>

(1) 所属する中学校名(問9)



(2) 性別(問10)



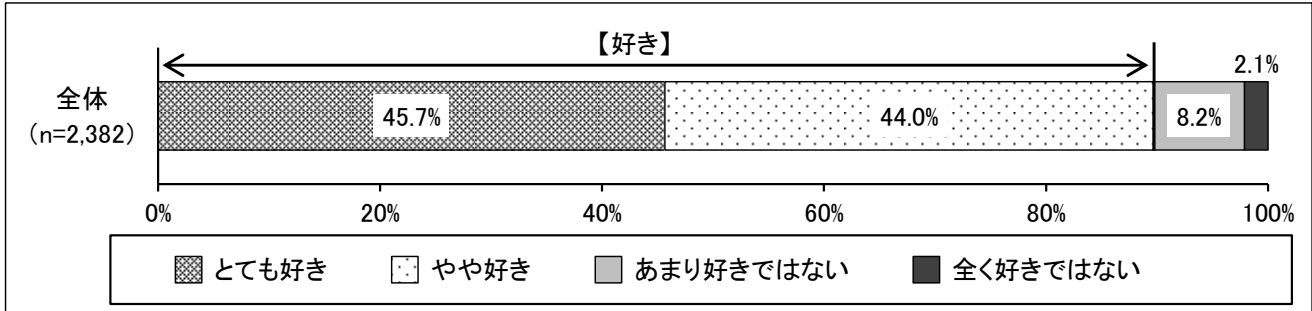
1 住んでいる地域について

1-1 住んでいる地域への愛着

◇「好き」は9割

問1 あなたは、あなたが今住んでいる地域は、好きですか。当てはまる項目を1つ選択してください。

<図表1-1 住んでいる地域への愛着>



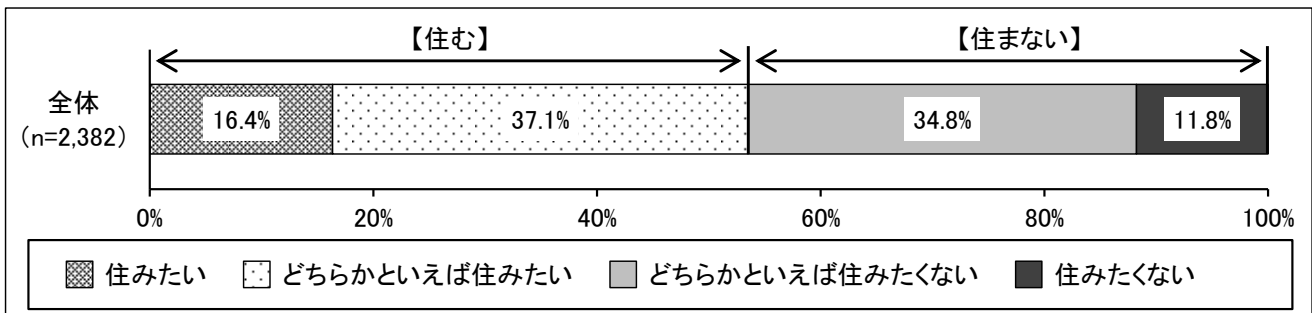
・「好き」（「とても好き」と「やや好き」の計）の割合は9割（89.7%）となっている。その中で「とても好き」は約5割となっている。

1-2 今の居住地に将来も住む希望の有無

◇将来も「住む」は約半数

問2 あなたは、将来、大人になって、住んでいる地域で暮らしたいと思いますか。当てはまる項目を1つ選択してください。

<図表1-2 今の居住地に将来も住む希望の有無>



・「住む」（「住みたい」と「どちらかといえば住みたい」の計）は53.5%で、「住まない」（「どちらかといえば住みたくない」と「住みたくない」の計）の46.6%を6.9ポイント上回っている。

2 住んでいる地域の活動

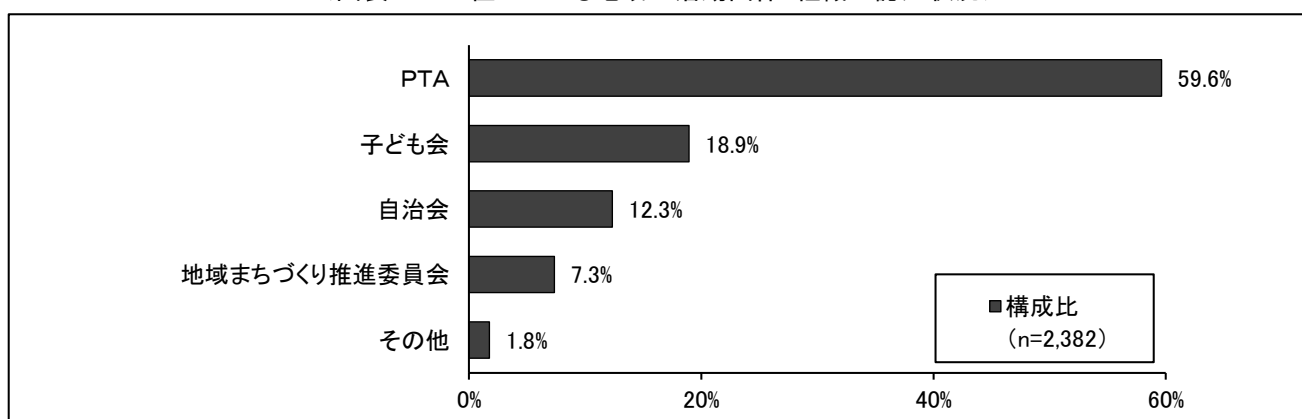
2-1 住んでいる地域の活動団体・組織の認知状況

◇「PTA」の認知度が6割で最も高い

◇「自治会」と「地域まちづくり推進委員会」の認知度は1割前後

問3 地域には、同じ地域に住んでいる人たちが、生活する中で、お互いに助けあったり、支えあったり、交流したりして、よりよい地域をつくるため、たくさんの団体や組織があることを知っていますか。
あなたが知っている団体等について当てはまる項目を1つ選んでください。

<図表2-1 住んでいる地域の活動団体・組織の認知状況>



- ・「PTA」の認知度は6割で最も高く、次が「子ども会」(約2割)となっている。
- ・「自治会」(12.3%)と「地域まちづくり推進委員会」(7.3%)は1割前後となっている。

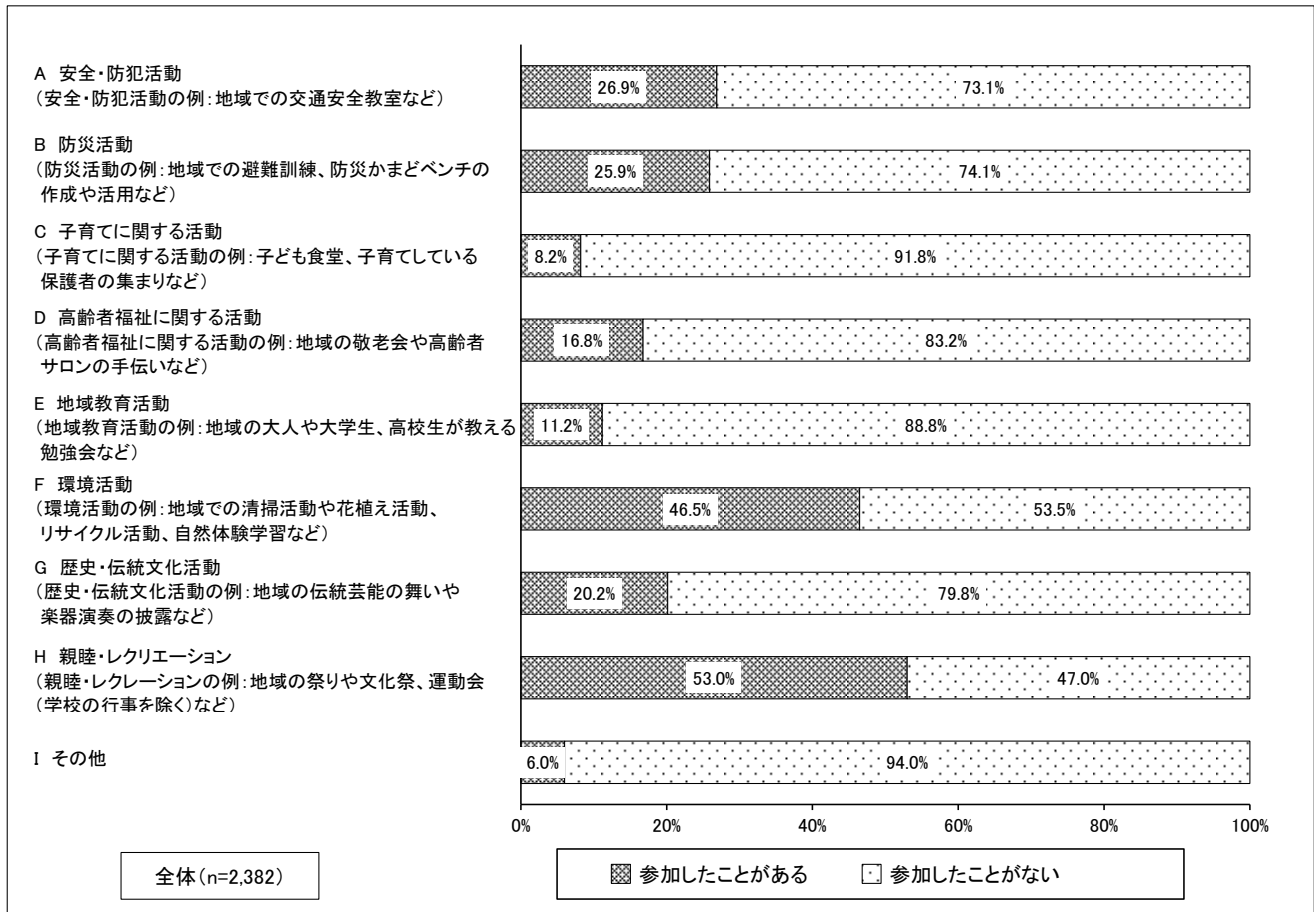
2-2 地域活動への参加状況

◇「H 親睦・レクリエーション」「F 環境活動」への参加は5割前後

◇「C 子育てに関する活動」「E 地域教育活動」への参加は低調

問4 あなたが、これまで参加(ボランティアでの参加も含む)したことがある地域の活動(住んでいる地域で、自治会やPTAなどの方が実施している活動)について、それぞれの項目で当てはまる項目を選択してください。

<図表2-2 地域活動への参加状況>



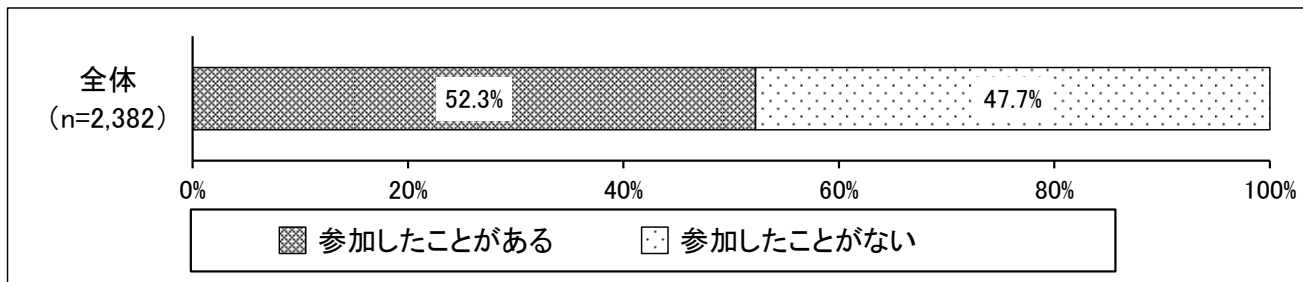
- ・「参加したことがある」の割合は「H 親睦・レクリエーション」(53.0%)が最も高く、次が「F 環境活動」(46.5%)であり、5割前後となっている。
- ・一方、「C 子育てに関する活動」(8.2%)、「E 地域教育活動」(11.2%)は1割前後で参加割合が低くなっている。

2-3 ボランティア活動の運営に参加した経験の有無

◇運営への参加経験が「ある」は約半数(2人に1人)

問5 問4のような地域活動について、参加ではなく、活動を運営する側としてボランティア(お手伝い)として、活動にかかわった経験はありますか。当てはまる項目を1つ選択してください。

<図表2-3 ボランティア活動の運営に参加した経験の有無>



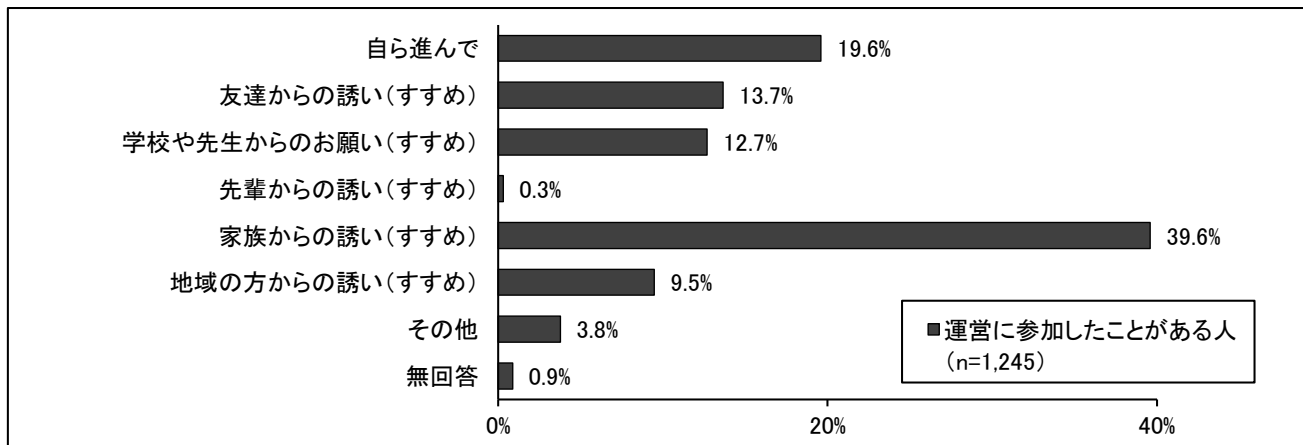
・「参加したことがある」が半数となっている。ただし、「参加したことがない」との差は小さい状況(4.6ポイント)となっている。

2-4 ボランティア活動の運営に参加したきっかけは何か(参加したことがある人が回答)

◇「家族からの誘い(すすめ)」が4割、「自ら進んで」が2割

問6 問5で「1ある」と回答された方は、そのきっかけはどのようなものですか。当てはまる項目を1つ選択してください。

<図表2-4 ボランティア活動の運営に参加したきっかけ>



・「家族からの誘い(すすめ)」の割合(4割)が最も高く、次が「自ら進んで」(2割)となっている。

・「地域の方からの誘い(すすめ)」(9.5%)は低くなっている。

問7 あなたは、どんな地域活動をしてみたいと思いますか。ご自由に記入してください。

問8 あなたは、住んでいる地域の人口が増えたり、賑やかになったり、安心して生活ができるなど、まちがよくなるためのアイデアがあれば、ご自由に書いてください。

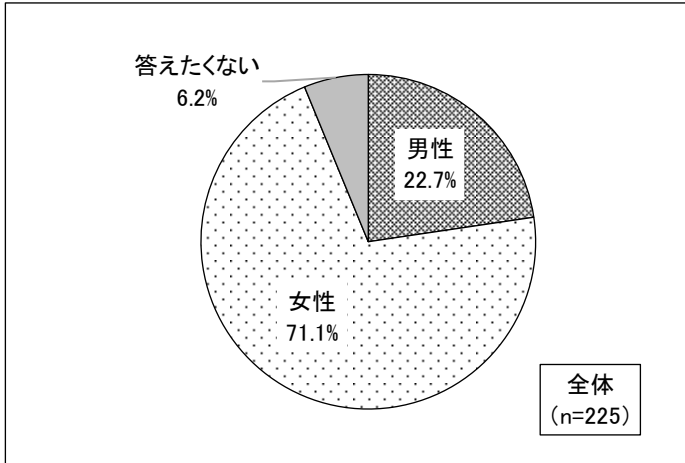
※自由記述

IV 大学生意識調査の結果

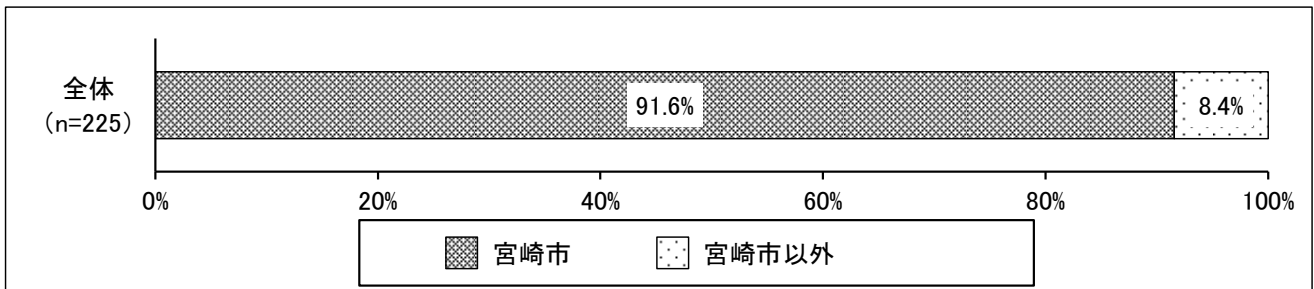
<回答者の属性>

※学年、学部、専攻等は省略(問12、13)

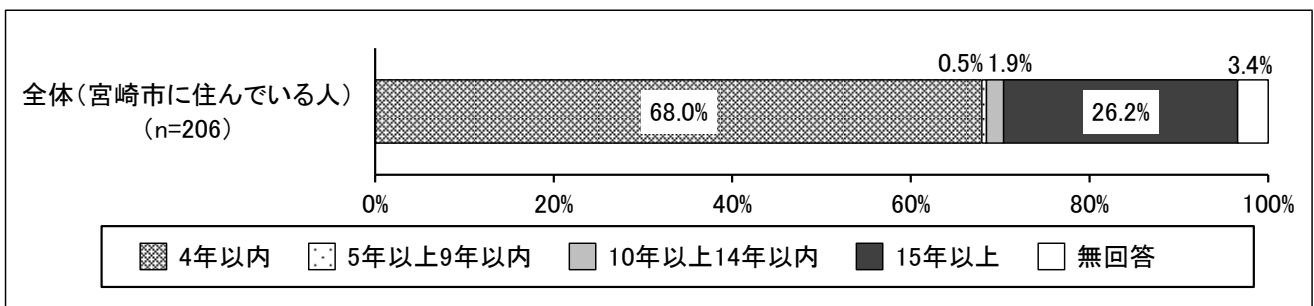
(1) 性別(問14)



(2) 居住地(問1)



(3) 宮崎市の居住年数(問2) ※宮崎市に住んでいる人

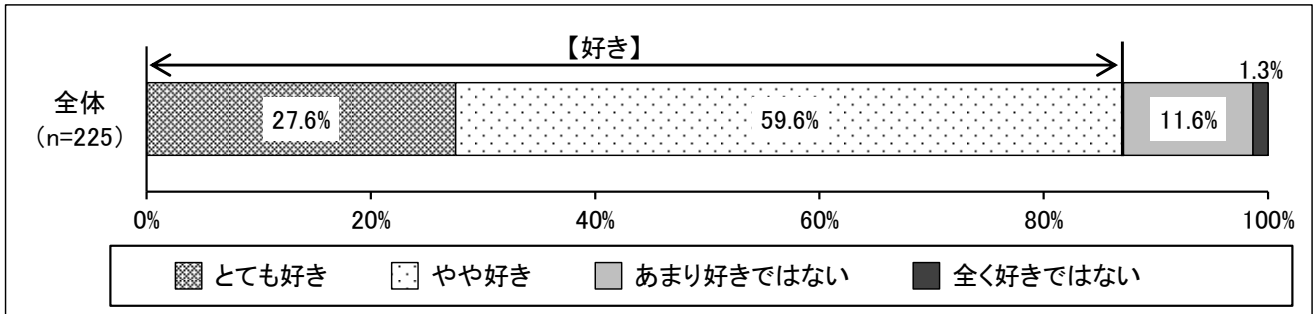


1 宮崎市への愛着の程度について

◇「やや好き」が6割で最も多い

問3 あなたは、宮崎市に対してどの程度愛着を感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表1 宮崎市への愛着の程度について>



・「好き」（「とても好き」と「やや好き」の計）の割合は約9割となっている。その中で「やや好き」が6割となっている。

問4 あなたが思う、宮崎市の好きなところ、嫌いなところを自由に記入してください。

※自由記述

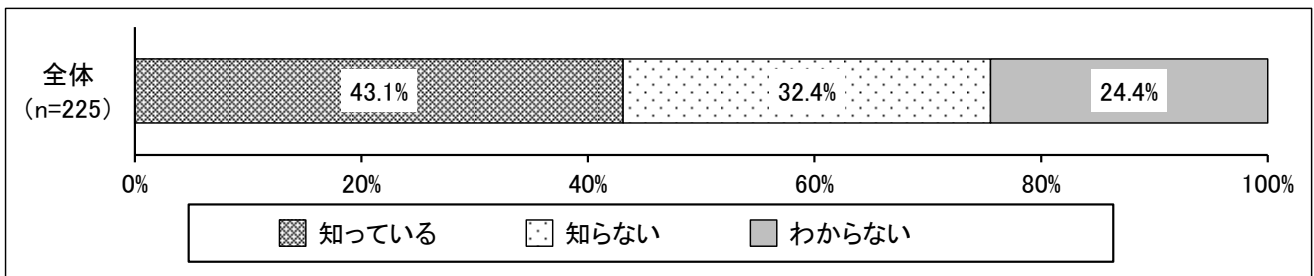
2 地域の活動について

2-1 地域の自治会の認知状況

◇「知っている」が4割以上

問5 現在、住んでいる地域に自治会があることは知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表2-1 地域の自治会の認知状況>



・「知っている」の割合が43.1%で最も高く、「知らない」（32.4%）を10.7ポイント上回っている。

問6 あなたが思う自治会のイメージを自由に記入してください。

※自由記述

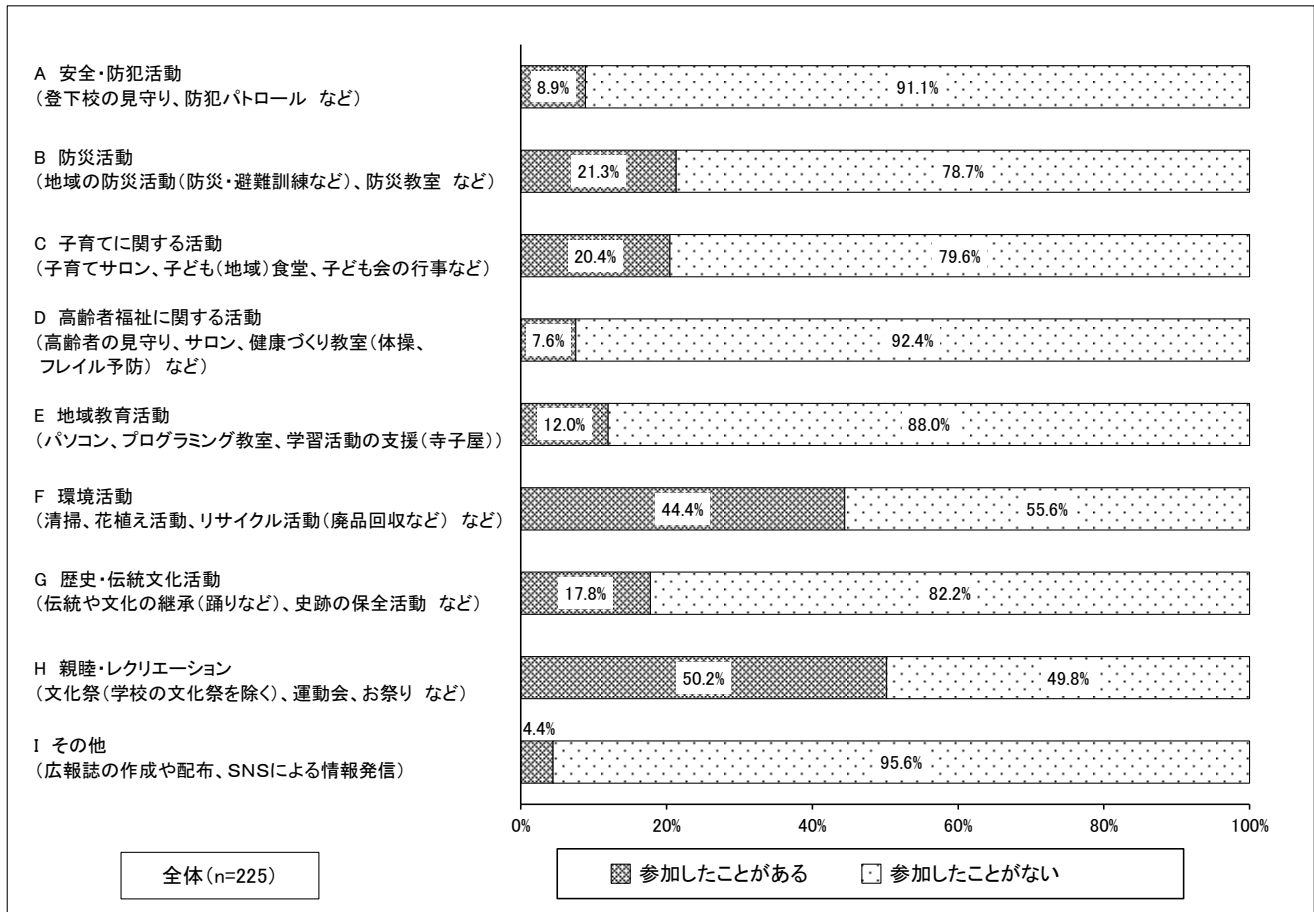
2-2 地域活動への参加状況

◇「H 親睦・レクリエーション」への参加が5割で最も高い

◇参加率が2割以下の活動が多い

問7 あなたが、これまで参加(ボランティアでの参加も含む)したことがある地域活動について、それぞれの項目で当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表2-2 地域活動への参加状況>



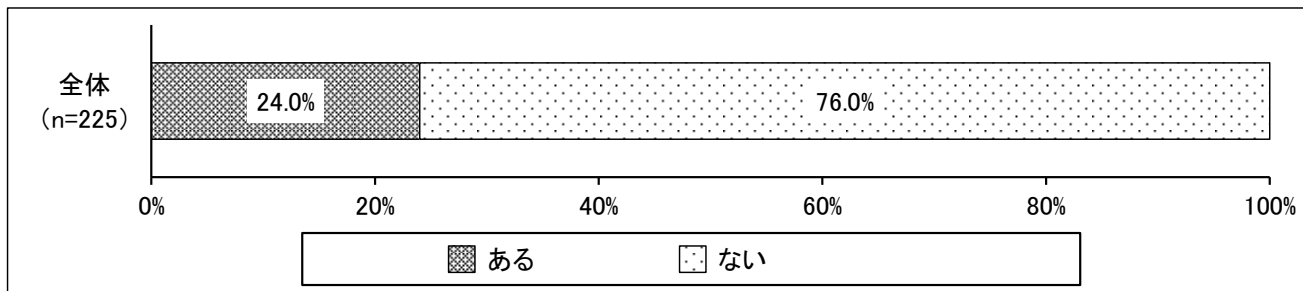
- ・「参加したことがある」は「H 親睦・レクリエーション」の割合(50.2%)が最も高く、次が「F 環境活動」(44.4%)となっている。
- ・このほかの活動への参加は2割以下であり、そのうち「E 地域教育活動」「A 安全・防犯活動」「D 高齢者福祉に関する活動」は1割前後となっている。

2-3 ボランティア活動の運営に参加した経験の有無

◇運営への参加経験が「ある」は4人に1人

問8 問7のような地域活動について、参加ではなく、活動を運営する側としてボランティア(お手伝い)の経験は、ありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表2-3 ボランティア活動の運営に参加した経験の有無>



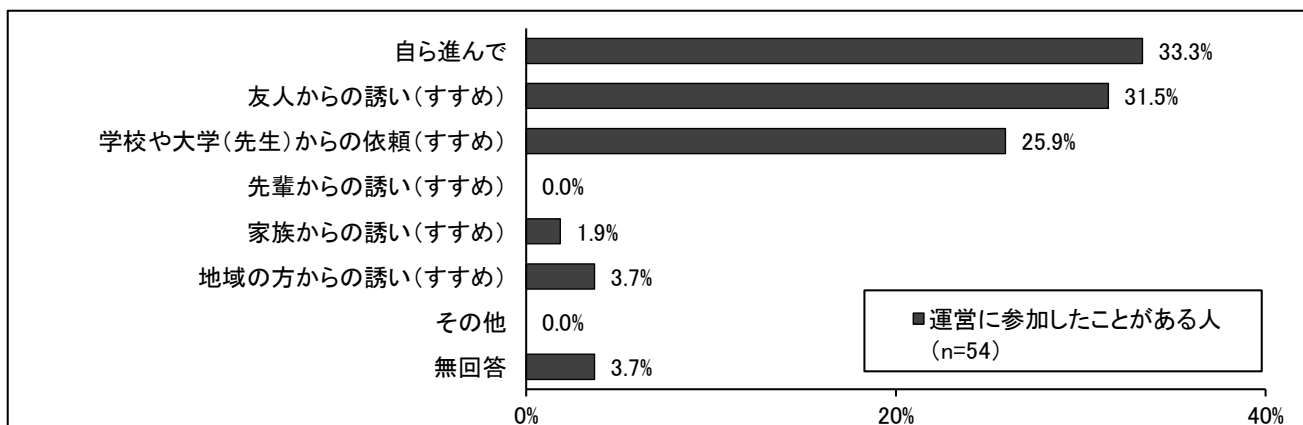
- ・経験が「ある」の割合は4人に1人程度となっている。
- ・「ない」の割合は「ある」の3倍となっている。

2-4 ボランティア活動の運営に参加したきっかけは何か(参加したことがある人が回答)

◇「自ら進んで」が3人に1人で最も多い

問9 問8で「ある」と回答された方は、そのきっかけはどのようなものですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表2-4 ボランティア活動の運営に参加したきっかけは何か>



- ・「自ら進んで」の割合(33.3%)が最も高く、3人に1人となっている。次に「友人からの誘い(すすめ)」(31.5%)、「学校や大学(先生)からの依頼(すすめ)」(25.9%)などが続いている。

問10 あなたは、どんな地域活動であれば、参加したり、携わったりしたいと思いますか。ご自由に記入してください。

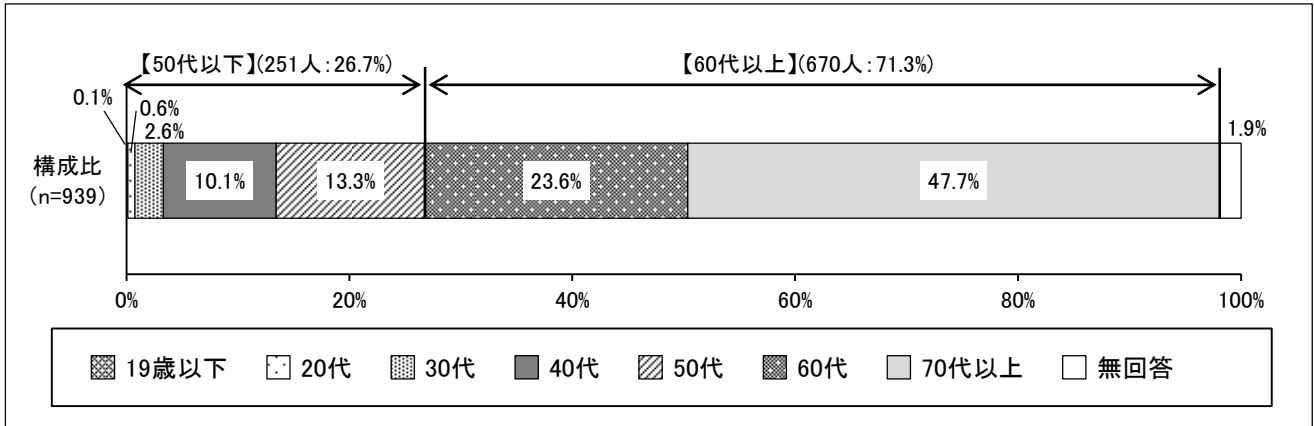
問11 あなたは、地域を活性化するためには、どのような取組が必要と考えますか。ご意見がございましたら、ご自由に記入ください。

※自由記述

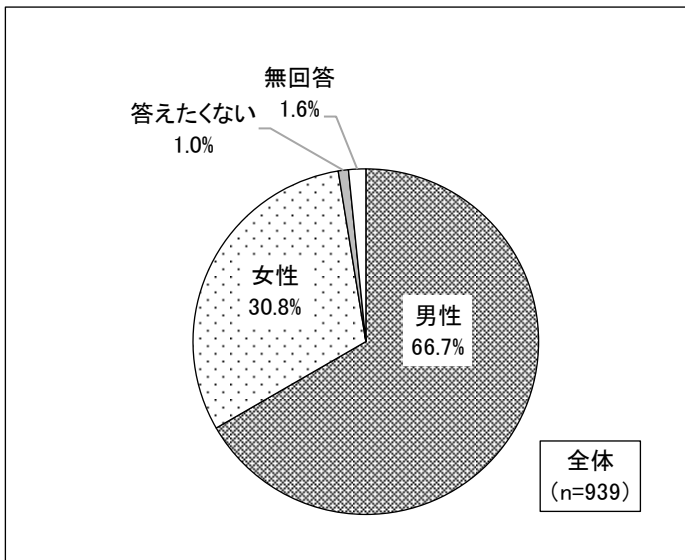
V 地域まちづくり推進委員会意識調査の結果

<回答者の属性>

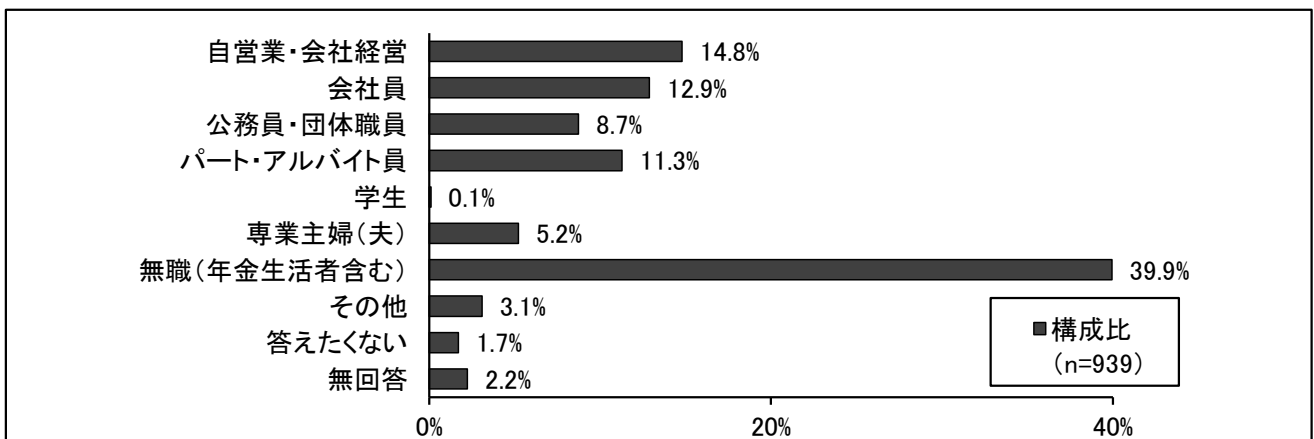
(1)年代(問19)



(2)性別(問20)



(3)職業(問21)

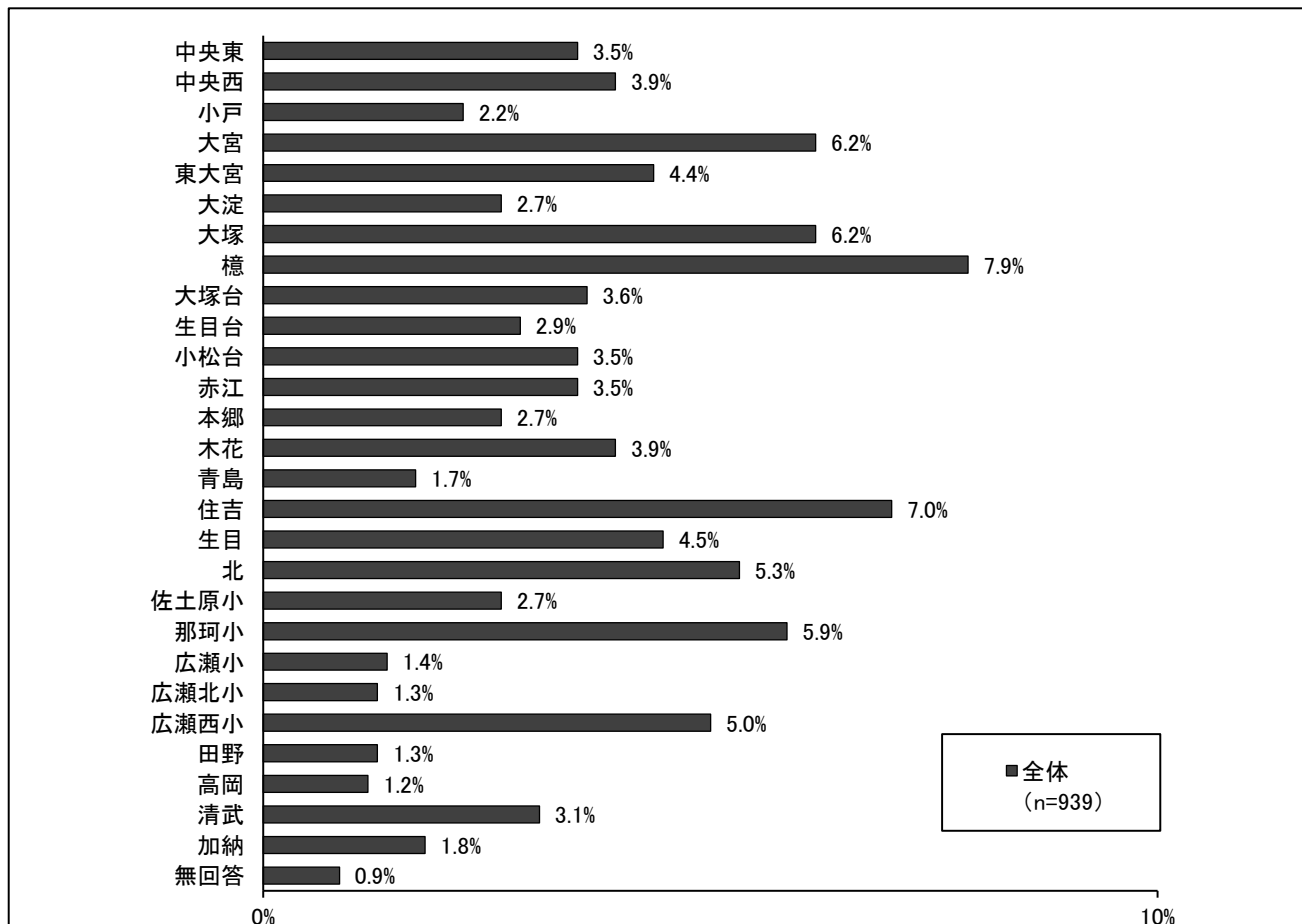


1 地域まちづくり推進委員会の活動等について

1-1 所属する地区

問1 あなたが所属する地域まちづくり推進委員会は、どちらになりますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表1-1 所属する地区>



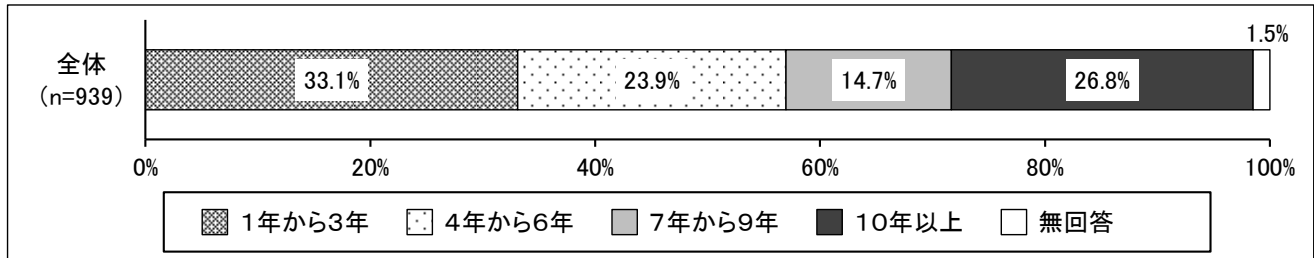
・全27地区から1地区平均34人の回答があった。

1-2 地域づくり推進委員会に所属している年数

◇「1年から3年」が最も多く3人に1人

問9 問8で「ある」と回答された方は、そのきっかけはどのようなものですか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

＜図表1-2 地域づくり推進委員会に所属している年数＞



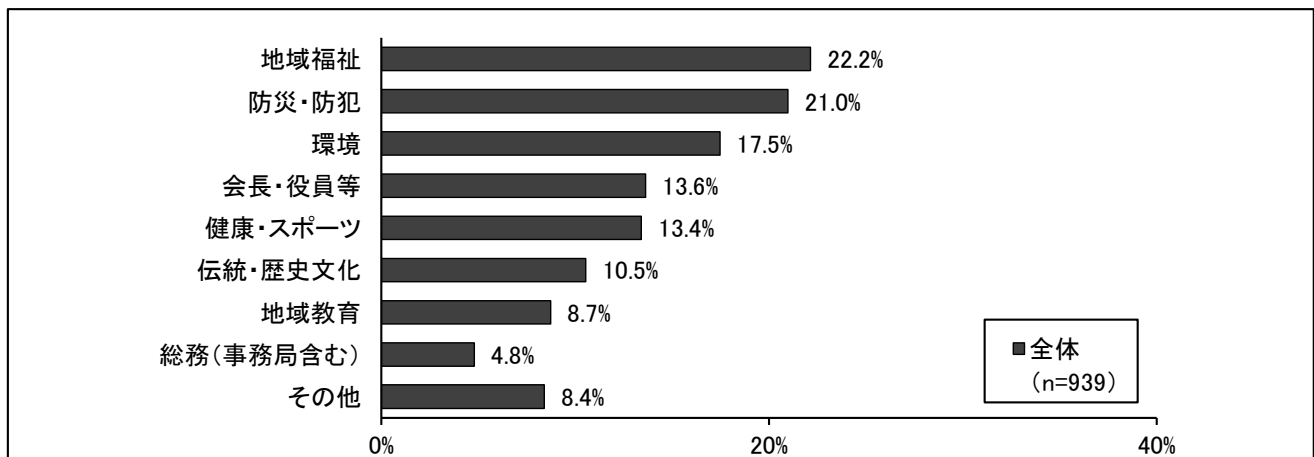
・「1年から3年」の割合(33.1%)が3人に1人で最も高く、次が「10年以上」(26.8%)となっている。

1-3 所属している部会等

◇「地域福祉」「防災・防犯」「環境」の上位3分野で6割

問3 あなたが所属する部会等は、どのような分野になりますか。当てはまる番号全てに○をつけてください。

＜図表1-3 所属している部会等＞ ※複数回答



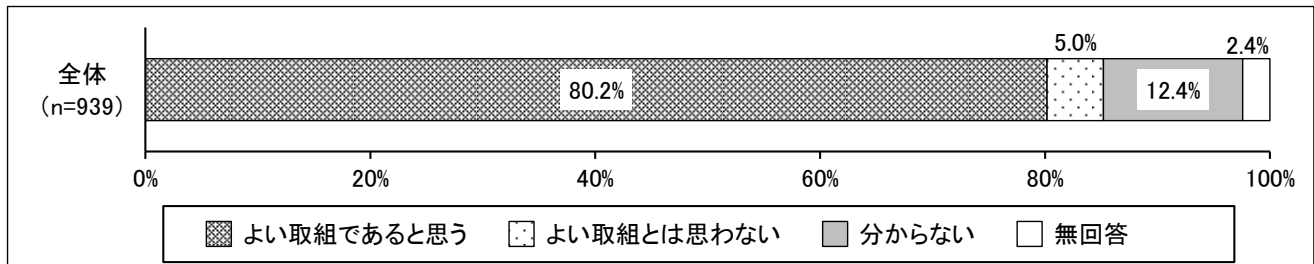
・「地域福祉」(22.2%)、「防災・防犯」(21.0%)、「環境」(17.5%)の上位3分野で6割となっている。

1-4 地域自治区制度についての認識

◇「よい取組であると思う」と考えるのが8割

問4 あなたは、宮崎市の地域自治区制度（地域まちづくり推進委員会や地域協議会による住民主体のまちづくり）をどのようにお考えですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表1-4 地域自治区制度についての認識>



・8割が「よい取組であると思う」と考えている。

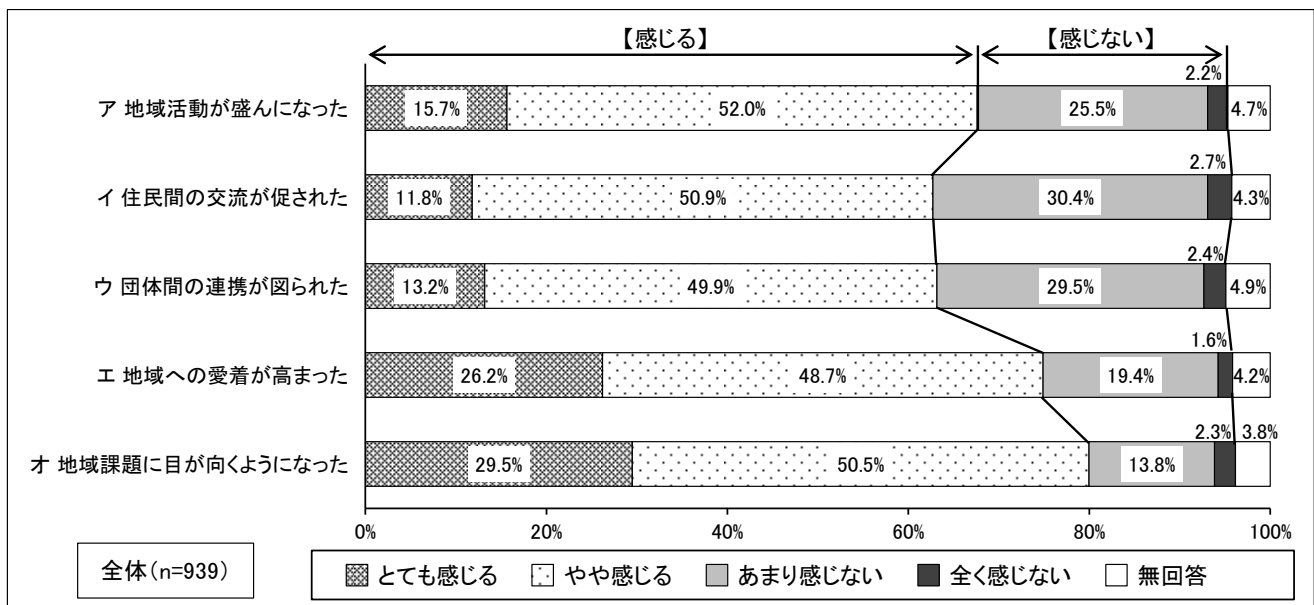
1-5 地域自治区制度が地域に及ぼした効果

◇全項目で効果を「感じる」が6割以上

◇効果を「感じない」が最も高い項目は「イ 住民間の交流が促された」

問5 あなたは、地域自治区制度導入から17年が経過した地域の状況について、どのように感じていますか。下記のア～オのそれぞれの項目について、当てはまるものに1つずつ○をつけてください。（※単位自治会の活動を除きます。）

<図表1-5 地域自治区制度が地域に及ぼした効果>



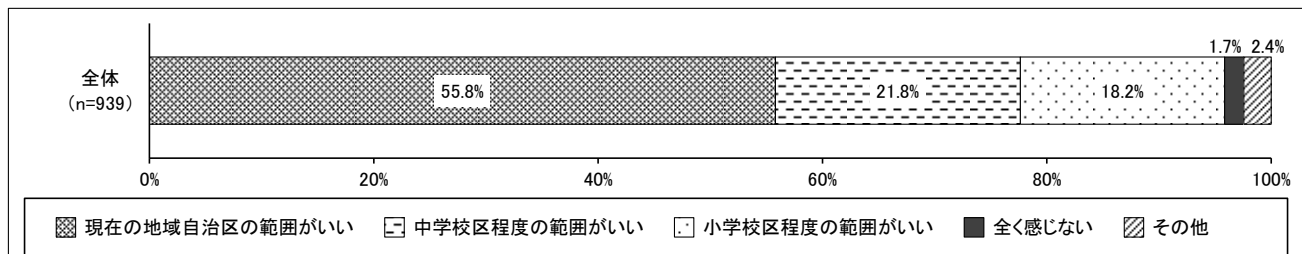
- ・「感じる」（「とても感じる」と「やや感じる」の計：以下同じ）は全項目で6割を上回っている。特に「オ 地域課題に目が向くようになった」は8割となっている。
- ・一方、「感じない」（「全く感じない」と「あまり感じない」の計：以下同じ）は、「イ 住民間の交流が促された」（33.1%）が3分の1で最も高くなっている。

1-6 地域まちづくり推進委員会の適切な活動範囲

◇「現在の地域自治体の範囲」が半数以上

問6 あなたは、地域まちづくり推進委員会の活動範囲は、どのような範囲がいいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

<図表1-6 地域まちづくり推進委員会の適切な活動範囲>



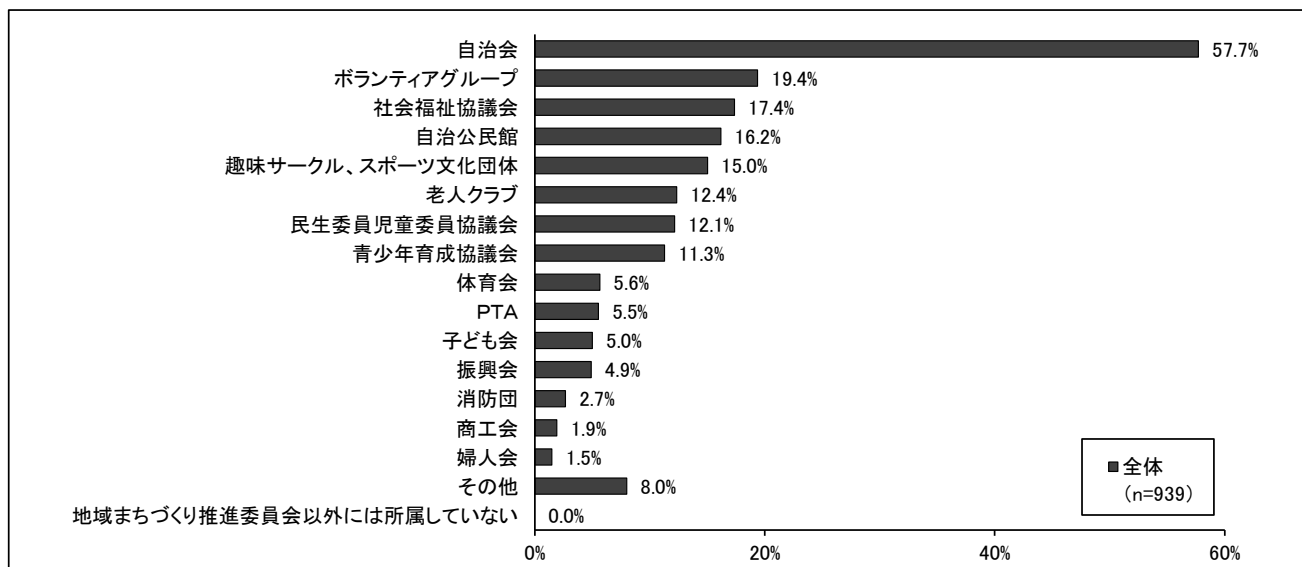
- ・「現在の地域自治体の範囲」の割合(55.8%)が最も高く、次いで「中学校程度の範囲」(21.8%)、「小学校区の程度の範囲」(18.2%)が続いている。

1-7 地域まちづくり推進委員会以外の地域団体等への所属の有無

◇全員が他の地域団体等に所属している中で、「自治会」が最も多い

問7 あなたは、地域まちづくり推進委員会以外の地域団体等に所属していますか。所属している場合、当てはまる番号全てに○をつけてください。

<1-7 地域まちづくり推進委員会以外の地域団体等への所属の有無> ※複数回答



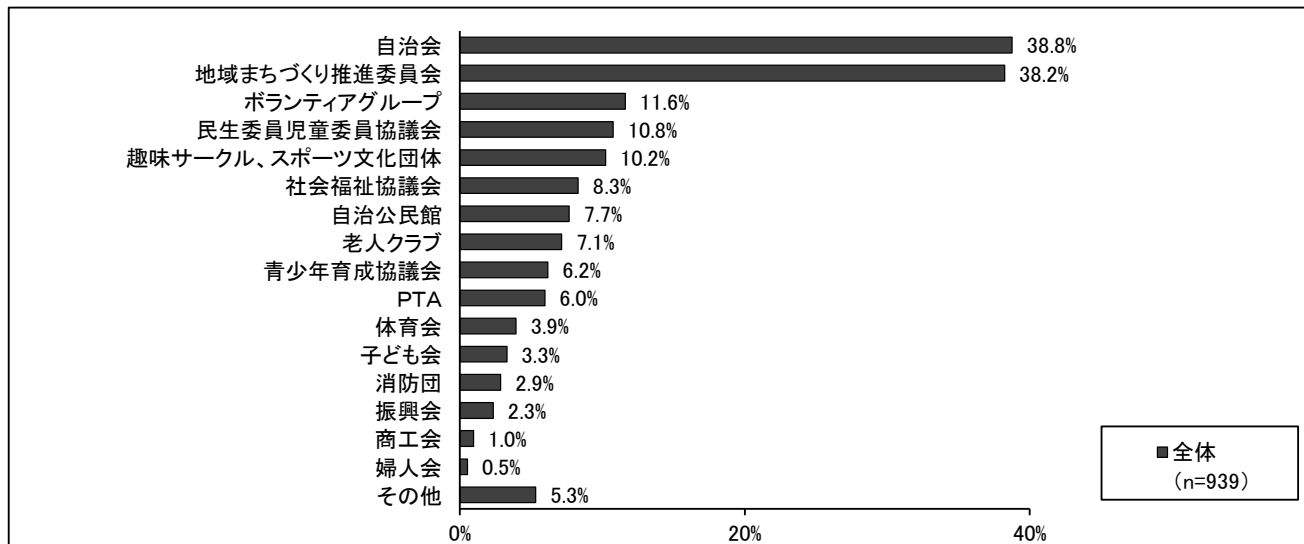
- ・「自治会」が約6割で最も多くなっている。
- ・「地域まちづくり推進委員会以外には所属していない」はゼロとなっている(=全員が他にどこかの地域団体等に所属している。)

1-8 積極的に関わっている団体

◇「自治会」と「地域まちづくり推進委員会」の2つが最も多い

問8 問7の団体のうち、あなたが積極的に関わっている団体を最大2つ記入してください。

<1-8 積極的に関わっている団体> ※2つ以内回答



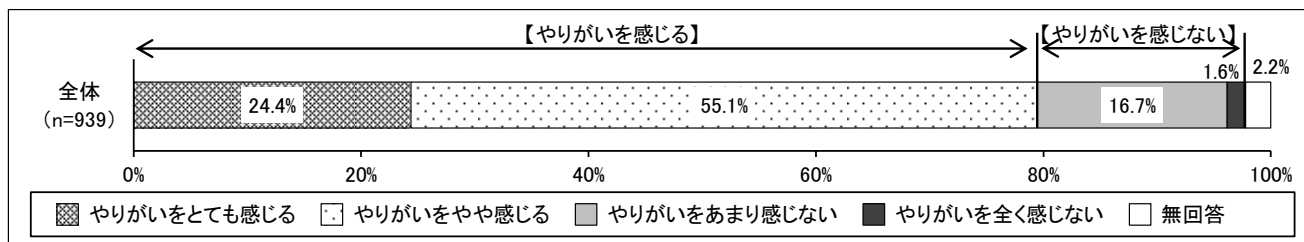
- ・「自治会」と「地域まちづくり推進委員会」の2つが最も多くなっている。
- ・「ボランティアグループ」(11.6%)、「民生委員児童委員協議会」(10.8%)、「趣味サークル、スポーツ文化団体」(10.2%)は約1割となっている。
- ・上記以外の団体等は10%以下となっている。

1-9 地域まちづくり推進委員会の活動に関するやりがいの程度

◇「やりがいを感じる」は8割

問9 あなたは地域まちづくり推進委員会の活動について、どの程度やりがいを感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

<1-9 地域まちづくり推進委員会の活動に関するやりがいの程度>



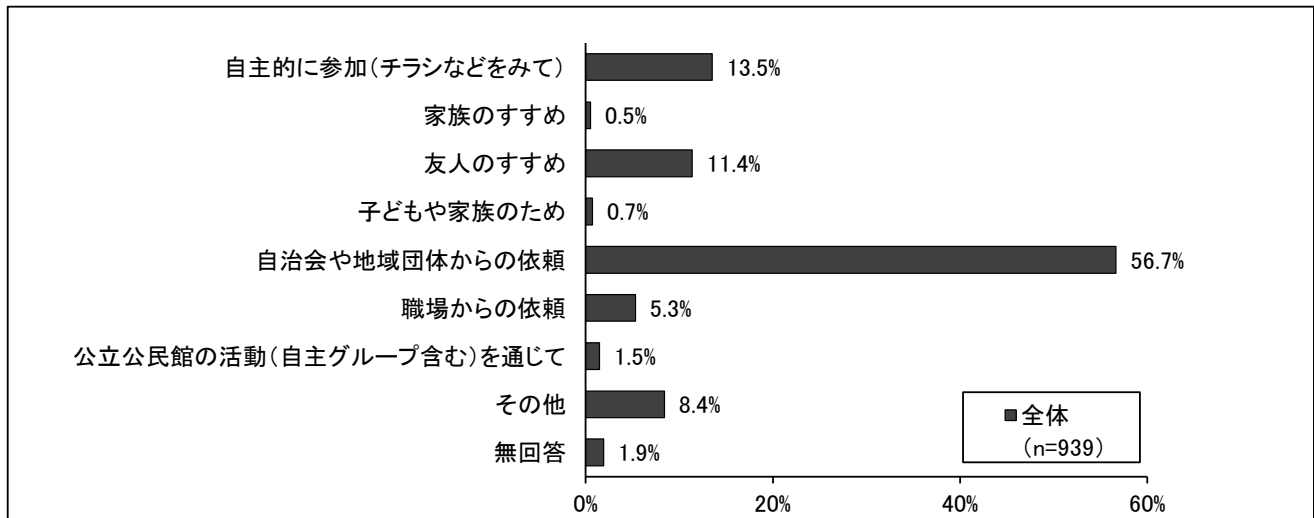
- ・「やりがいを感じる」(「やりがいをとても感じる」と「やりがいをやや感じる」の計: 以下同じ)は8割となっている。
- ・一方、「やりがいを感じない」(「やりがいをあまり感じない」と「やりがいを全く感じない」の計: 以下同じ)は18.3%となっている。

1-10 地域まちづくり推進委員会に加入したきっかけは何か

◇「自治会や地域団体からの依頼」が5割以上

問10 あなたが地域まちづくり推進委員会に加入したきっかけを教えてください。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

<1-10 地域まちづくり推進委員会に加入したきっかけは何か>



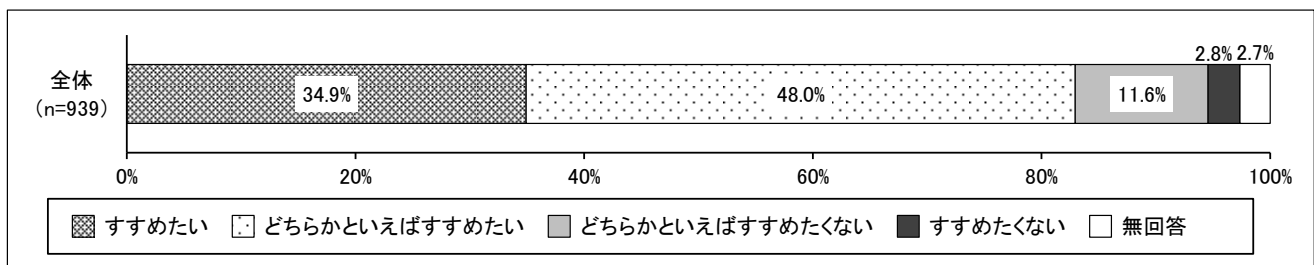
- ・「自治会や地域団体からの依頼」の割合が5割以上で最も高くなっている。
- ・次いで1割以上は「自主的に参加(チラシなどをみて)」と「友人のすすめ」となっている。

1-11 地域の友人に地域まちづくり推進委員会の活動を促すか否か

◇「すすめたい」と思うは3人に1人

問11 あなたは、地域の人や友人などに地域まちづくり推進委員会の活動をすすめたいと思いますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

<1-11 地域の友人に地域まちづくり推進委員会の活動を促すか否か>



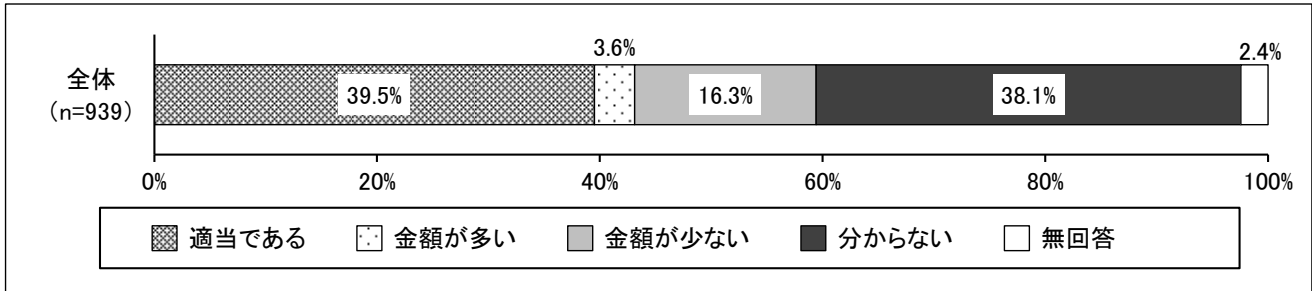
- ・「どちらかといえばすすめたい」という消極的賛成派(約5割)が最も多く、「すすめたい」という積極的賛成派は34.9% (3人に1人)となっている。
- ・一方、否定派(「すすめたくない」と「どちらかといえばすすめたくない」の計)は14.4%となっている。

1-12 地域コミュニティ活動交付金の金額について

◇「適当である」が4割で最も多い

問12 地域自治区の特徴を生かしたまちづくりを展開するため、その財源として、地域コミュニティ活動交付金が、地域自治区ごとに均等に配分される「均等割(3割)」と人口に応じて配分される「人口割(7割)」を基準に、地域まちづくり推進委員会に交付されていますが、あなたはその金額について、どのように感じますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

<1-12 地域コミュニティ活動交付金の金額について>



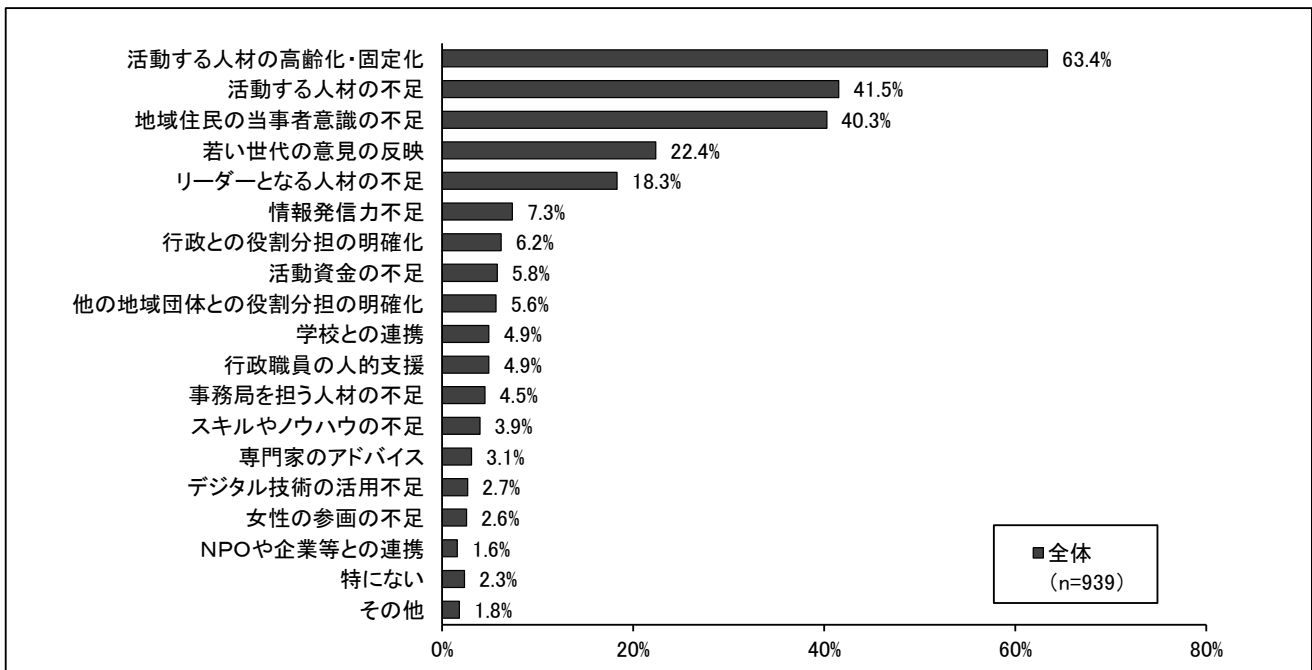
・「適当である」の割合が4割で最も高くなっている。次に「分からない」(38.1%)となっている。

1-13 地域まちづくり推進委員会の活動の課題

◇課題は「活動する人材の高齢化・固定化」が6割以上

問13 あなたが、地域まちづくり推進委員会の活動を行ううえで課題と感じていることはどのようなことですか。当てはまる番号に○(3つまで)をつけてください。

<1-13 地域まちづくり推進委員会の活動の課題>



・「活動する人材の高齢化・固定化」の割合が63.4%で最も高くなっている。次いで「活動する人材の不足」(41.5%)、「地域住民の当事者意識の不足」(40.3%)などが続いている。

問14 問13について、選択した課題を解決するには、どのような対応を行うべきと思いますか。
ご意見があればご記入ください。(自由記述)

問15 あなたは、地域まちづくり推進委員会の活動に携わっている以外の方(シニア世代、現役世代、子ども達など)が、まちづくりの活動に関わってもらうためには、何が必要と考えますか。(自由記述)

※自由記述

2 地域活動の全般について

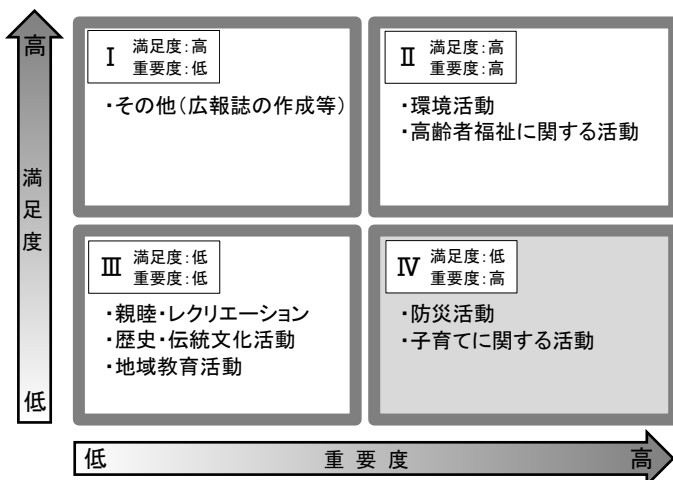
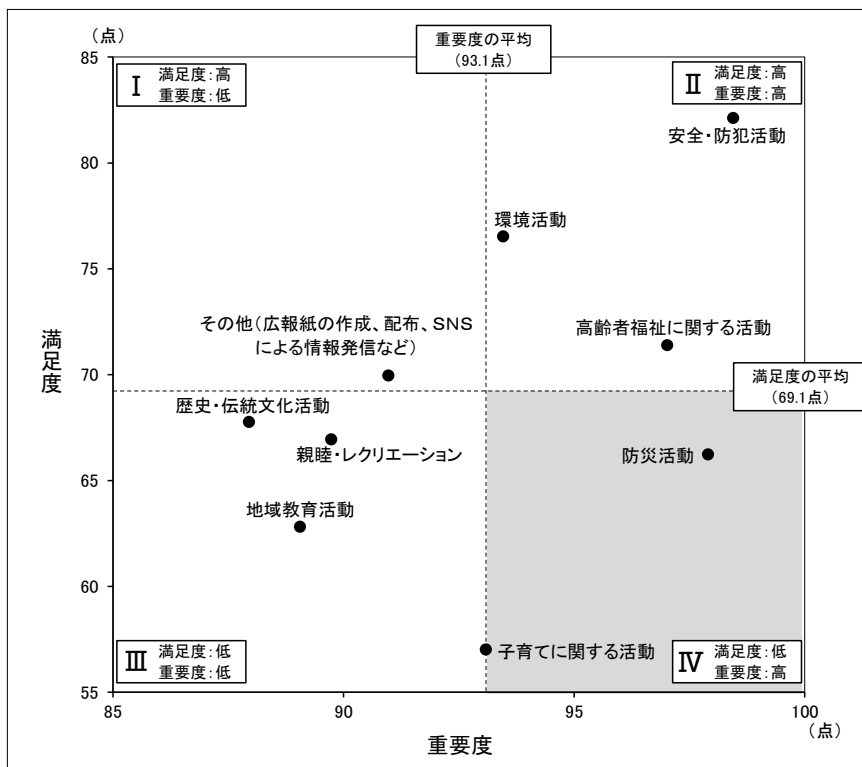
2-1 地域まちづくり推進委員会、地域の各種団体が行う活動・事業についての重要度、満足度 ～CS分析～

◇今後の取組の優先度の高い分野は「防災活動」「子育てに関する活動」

※CS分析法の説明はP36参照

問16 あなたがお住まいの地域では、地域まちづくり推進委員会や地域の各種団体が、次のような活動や事業が行われていると思いますが、あなたが考える活動等のあなたが考える活動等の重要度、満足度をそれぞれの項目で当てはまるところに○をつけてください。

<図表2-1 地域まちづくり推進委員会、地域の各種団体が行う活動・事業の重要度、満足度>



	重要度 平均点	満足度 平均点
安全・防犯活動	98.4	82.1
防災活動	97.9	66.2
子育てに関する活動	93.1	57.0
高齢者福祉に関する活動	97.0	71.4
地域教育活動	89.1	62.8
環境活動	93.5	76.5
歴史・伝統文化活動	88.0	67.8
親睦・レクリエーション	89.7	66.9
その他(広報紙の作成、配布、SNSによる情報発信など)	91.0	70.0
全体	93.1	69.1

・活動・事業のこれまでの取組で満足度の高い分野は「II 環境活動、高齢者福祉に関する活動」「I その他(広報紙の作成、配布、SNSによる情報発信など)」となっている。

→ ・今後の取組の優先度の高い分野(IV)は「防災活動」「子育てに関する活動」となっている。

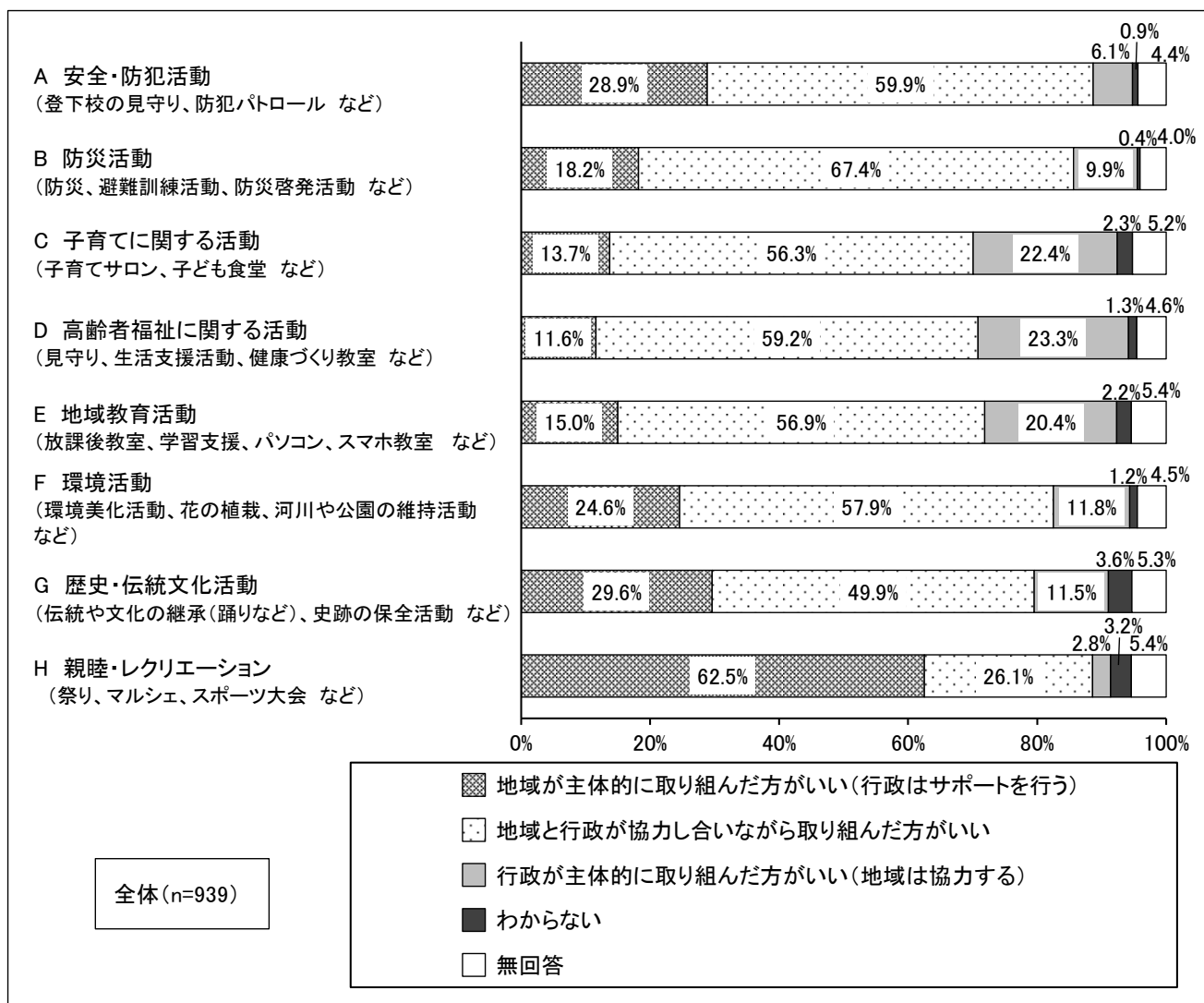
2-2 身近な地域課題に対応する「地域」と「行政」のあり方

◇ほとんどの地域活動は「地域と行政が協力」で対応が5割以上

◇「地域が主体的」に対応の割合が高い活動は「H 親睦・レクリエーション」

問17 身近な地域課題について、地域で対応すべきか、地域と行政が協力して対応すべきか、行政が対応すべきか、次の活動について、あなたはどのように対応すべきと考えますか。それぞれ当てはまるところに○をつけてください。

<2-2 身近な地域課題に対応する「地域」と「行政」のあり方>



※ ■ 地域が主体的に取り組んだ方がいい(行政はサポートを行う)は、「地域が主体的」
 □ 地域と行政が協力し合いながら取り組んだ方がいいは、「地域と行政が協力」
 ■ 行政が主体的に取り組んだ方がいい(地域は協力する)は、「行政が主体的」と記す

- ・ほとんどの地域活動(「H 親睦・レクリエーション」を除く)は、「地域と行政が協力」で対応が5割以上となっている。
- ・「地域が主体的に対応」の割合が高い活動は「H 親睦・レクリエーション」(62.5%)だけとなっている。
- ・「行政が主体的」が2割以上は「C 子育てに関する活動」「D 高齢者福祉に関する活動」「E 地域教育活動」となっている。

問18 あなたは、地域のあるべき姿(どのようなまちにしたいか等)について、ご意見があればご記入ください。(自由記述)

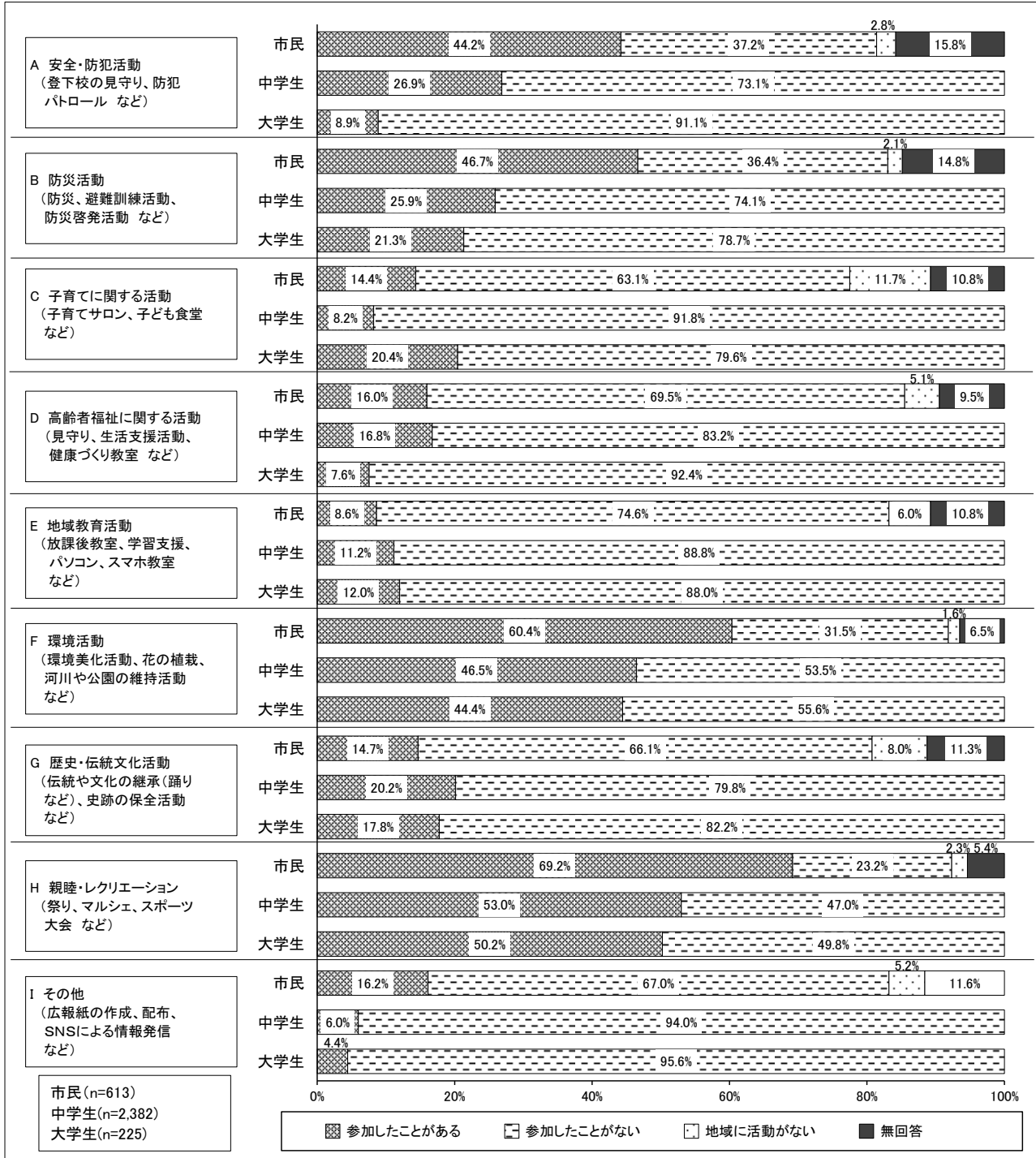
※自由記述

VI クロス集計・分析

1 地域活動への「参加」と「不参加」 <市民 P31、中学生 P46、高校生 P50 のクロス>

◇「参加」の割合は、ほとんどの分野で「市民」が「中学生」・「大学生」より高い

<1 地域活動への「参加」と「不参加」>

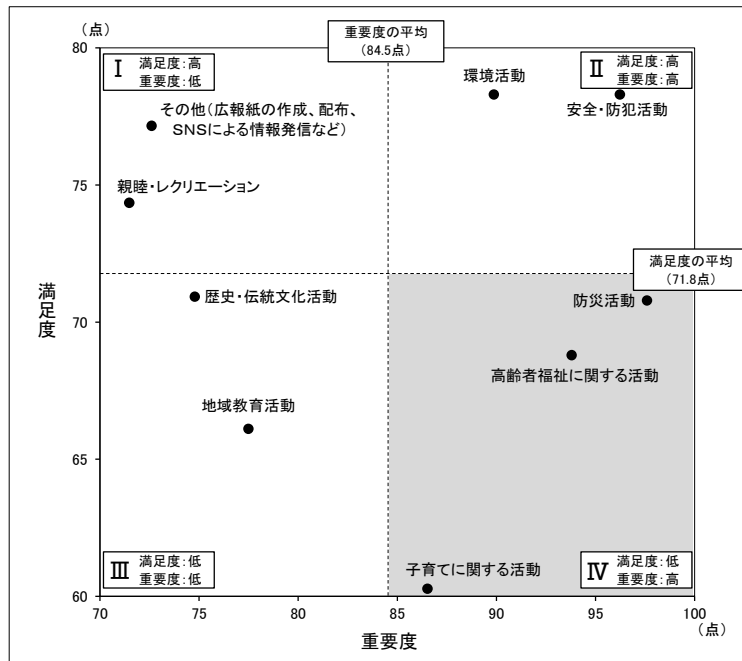


- ・「参加」の割合は、ほとんどの分野の活動で「市民」が「中学生」・「大学生」を上回っている。
- ・「中学生」と「大学生」を比較すると「中学生」の「参加」は「C 子育てに関する活動」「E 地域教育活動」を多くの分野で「大学生」を上回っている。
- ・「市民」「中学生」「大学生」が共通して「参加」の割合が最も高い分野は「H 親睦・レクリエーション」(5割以上)で、次が「F 環境活動」となっている。
- ・「市民」「中学生」「大学生」が共通して「参加」が2割以下の分野は「C 子育てに関する活動」「D 高齢者福祉に関する活動」「G 歴史・伝統文化活動」「I その他」となっている。

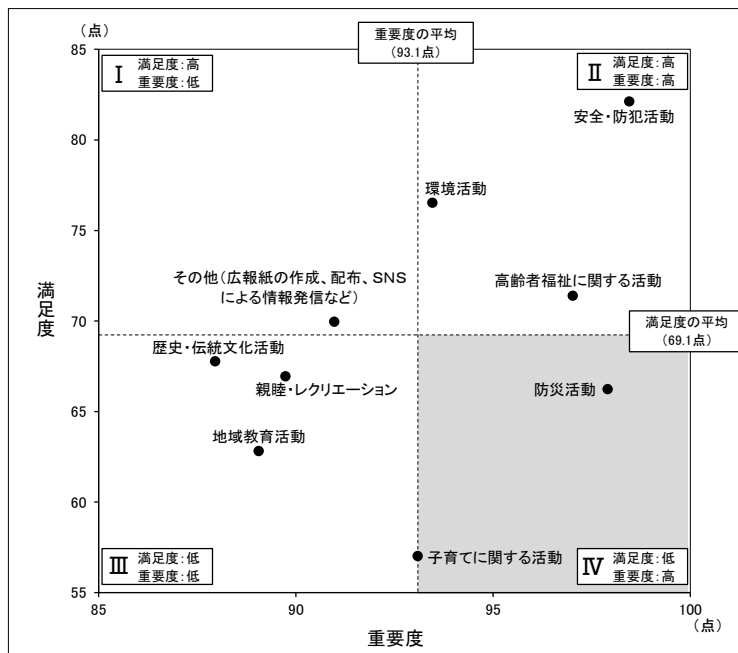
2 地域活動の重要度、満足度の比較 <市民 P37、地域まちづくり推進委員会 P61>

◇「市民」と「地域まちづくり推進委員会」が地域活動において、今後優先して取り組む共通分野は「防災活動」と「子育てに関する活動」

<2-1 地域活動の重要度、満足度の比較>(市民 再掲:P37)



<2-1 地域活動の重要度、満足度の比較>(地域まちづくり推進委員会 再掲:P61)

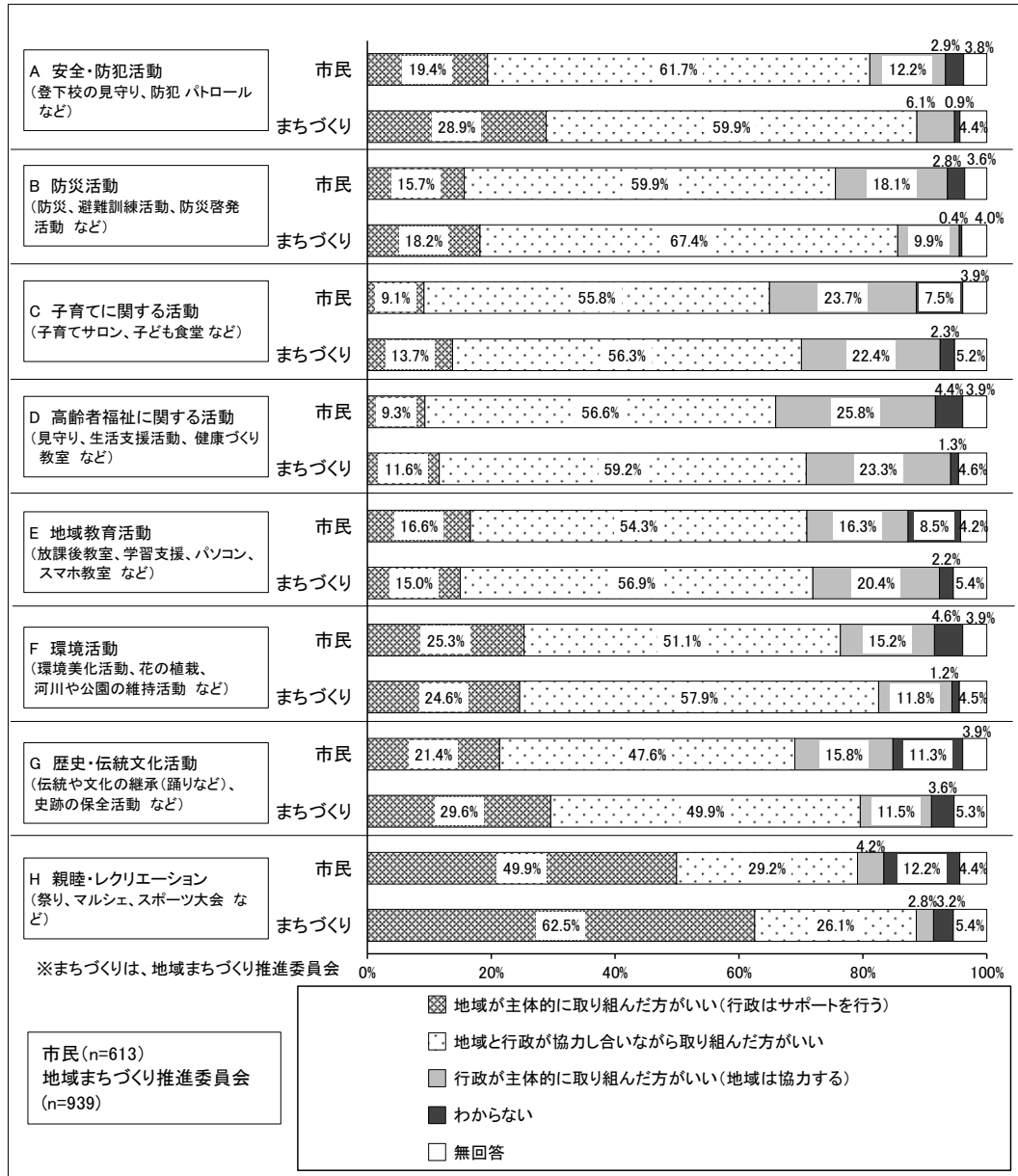


- ・「市民」と「地域まちづくり推進委員会」が共通して満足度の高い分野は「環境活動」と「その他(広報紙の作成、配布、SNSによる情報発信など)」となっている。
- ・「市民」の地域活動における取組の優先度の高い分野は「防災活動」「高齢者福祉に関する活動」「子育てに関する活動」となっている。一方、「地域まちづくり推進委員会」は「防災活動」「子育てに関する活動」となっている。
- ・このようなことから、「市民」と「地域まちづくり推進委員会」が優先して取り組む共通分野は「防災活動」「子育てに関する活動」となる。

3 身近な地域課題への地域・行政の対応のあり方 <市民 P40、地域まちづくり推進委員会 P62>

- ◇ほとんどの地域活動は「市民」、「地域まちづくり推進委員会」とも「地域と行政が協力」の割合が最も高い
- ◇「地域が主体的」対応の分野は「市民」、「地域まちづくり推進委員会」とも「H 親睦・レクリエーション」の割合が最も高い
- ◇「行政が主体的」対応が「市民」、「地域まちづくり推進委員会」とも2割以上の分野は2つ

<3 身近な地域課題への地域・行政の対応のあり方>



- ・ほとんどの分野の地域活動(「H 親睦・レクリエーション」を除く)は、「市民」「地域まちづくり推進委員会」とも「地域と行政が協力」の割合(5割以上)が最も高くなっている。
- ・「H 親睦・レクリエーション」は、「市民」「地域まちづくり推進委員会」とも「地域が主体的」の割合が5割以上で最も高くなっている。
- ・「市民」と「地域まちづくり推進委員会」で「地域が主体的」の分野を比較すると、「E 地域教育活動」「F 環境活動」を除く多くの分野で「地域まちづくり推進委員会」の割合が高くなっている。
- ・「行政が主体的」な対応が2割以上は「市民」「地域まちづくり推進委員会」とも「C 子育てに関する活動」「D 高齢者福祉に関する活動」となっている。(「地域まちづくり推進委員会」は「E 地域教育活動」も2割)